

藤岡町立御作保育園改築工事
設計図

株式会社 サンウラノ設計

建築工事特記仕様書 No. 1

1 一般事項

- ① 本工事施工にあたり隣接の建築物等に損傷を与えた場合には請負者の責任に於いて復旧補償する。
尚それに要する費用は全て請負者の負担とし事前事後に監督員に報告する事
- ② 本工事敷地内の工事障害物件の内埋設物件においては関係官公庁の指示を受けて措置する事。尚費用については請負者の負担とする。
- ③ 工事表示板
工事中係員の指示に従い、工事名称、設計監理者、施工業者名を記入した木製鉄板張り工事表示板を7ヶ所取付けること（大きさは900×1500）尚その他に透視図（色付）入り表示板に上記工事名称等を記入の上1ヶ所取付ける事（大きさは900×1500）又高所に工事名称を木製鉄板張りにて表示する事、文字の大きさは900角内外とする。
- ④ 施工計画書その他
請負契約締結後1週間以内に仮設計図書、工程表、着工届、代理人届、を各3部建築主館事務所経由で提出する事。
- ⑤ 現場代理人等
本工事現場監督として1級建築士1名（現場代理人又は主任技術者）2級建築士1名、以上を現場に常駐させ絶えず現場の管理安全整頓進捗に専念せしめる事。（兼務は認めず）
- ⑥ 下請業者
各工事下請業者予定簿（会社名、代表者名、住所、電話番号等記載）を提出し系員の承認を受けた後に決定する事。
- ⑦ 工事写真
工事写真を係員の指示に従い撮影し工事記録アルバム（説明書付）として3冊提出の事。
イ. 工事着工前の敷地状況（白黒手札版）
ロ. 施工中
根切完了時、栗石貼り時、基礎地中梁配筋時、各階壁柱床版、梁配筋時、各階コンクリート打時、鉄骨建築時、その他内装工事中の指定ヶ所及電気、衛生、配管、冷暖房配管ダクト、その他主要な部分、以上各時ヶ所程度（白黒名刺版）竣工時、外観面、室内要所ヶ所程度、カラーキャビネ版
- ⑧ マイクロフィルム
・工事設計図をマイクロフィルムとし提出する事。
・竣工図を提出と同時にマイクロフィルムとし提出する事。
尚マイクロフィルムを引き出し原版（A3）を作製し3部焼付製本の上原版と同時に提出の事。
- ⑨ 支給図面
~~工事用設計図は3部無償支給~~、その他必要なる設計図は全て有償支給とする。請負者は契約書3部を製本する事。（尚契約用設計図は無償支給）
- ⑩ 官公署への手続き
官公署への諸手続は滞りなく行う。それに必要な費用は全て請負者の負担とする。（確認申請手数料も含む）
- ⑪ 検査
配管検査等係員に検査を受け補強又は変更の指示のあった場合又は、現場係員が図示なき箇所でも補強又は変更の必要を認めた場合は請負金額の増減なく係員の指示に従うこと。

- ⑫ 材料試験
鉄筋、コンクリートその他係員が必要と認めた材料の試験は全て独立の試験場で行う事。
- ⑬ 施工中の検査
本工事は予め係員の指示する工程に達した時に検査を受け合格承認を受けた後に次の工程に移るものとする。
- ⑭ 施工図面
請負者は工事期間中指示する施工図面を作製し万全を期する事。
- ⑮ 材料その他の指定
材料については次項に示す製品又は施工者を使用しなければならない。
- ⑯ 工事に関する報告
工事の進捗労働者の就業、材料搬入の状況、天候等を示す日報を本とめ1週間毎に提出の事。
- ⑰ 祭典費
下記祭典費は請負者の負担にて一切行う事。
・地鎮祭 ・定礎式 ・上棟式
- ⑱ 設計図書の優先順位
1. 質疑回答書 2. 現場説明書 3. 特記仕様書
4. 共通仕様書 5. 設計図
- ⑲ 見本品
係員の指示するものは全て見本品を提出し承認を受ける事。
- 2. 仮工事
① 仮設建物
仮設建物及其位置は係員の承認を受ける事。
但し労働者の宿泊所は敷地内に仮設してはならない。
- ② 監督員詰所
大きさは2700×3600程度とし、~~鉄骨製入り付とし~~、その他は事務室とする。屋根及外壁は亜鉛鍍鉄板張り程度とし、内部は合板張りOP、床、フローリング張り程度とし、見本品照、図面棚、ロッカーを設け、電灯コンセント、手洗い器、湯沸し等の設備をする事。事務机ヶ、打合せ用机ヶ、椅子、脚、寒暖計、時計、設計用机ヶ、黒板900×1800、ストーブ、扇風機、電話、消火器、雨具、防寒具、ゴム長靴（以上1人分）、保安帽（1人分）を貸与する事。
- ③ 工事用道路
周辺道路の工事用使用については、搬出入ルート等を係員と協議の上決定し、防塵対策と良好な維持管理を行い、使用後は請負者の責任に於いて速やかに原形復旧する事。
- ④ 仮囲、養生
工事期間中は建築基準法施工令、建設業法、労働基準法、労働安全衛生規則、その他関係法規に従い、工事関係者及第三者への安全衛生規則、その他関係法規に従い、工事関係者及第三者への危害のない様充分なる仮囲、防護棚、防護網、防護シート等を取付ける事。

3 土工事

- ① 残土処分
残土は掘削後、推積する事なく、他の工事に支障をきたさぬ様、速やかに処理する。尚整地整理後の残土処分は除外処分とする。
- ② 埋戻し盛土
埋戻し及盛土は良土を使用して、突き固め用具で突き固める。余剰の土質は土質に応じて係員の指示に依る。
- 4. 地業工事（杭打工事）
① 掘削の地業は、割築地業とする。土間その他についても割築地業とする。
JIS表示許可工場にて製造後4週間以上経過したものとす。尚搬入直ちに係員の検査を受ける事。
2. 杭打
本杭の打込みと同じ方法で係員立会いの上行う位置は係員の指示により決定し、本杭長さより+としヶ所行う。尚試験杭は本杭としてもよい。
3. 杭頭の切揃え
杭頭を切揃えるときは、ノミ切りとし周囲から平等に打撃を加えて上端は平にする様に切取る。
4. 打込み結果報告
打込み結果の資料は係員の指示により整理して提出する事。

5 鉄筋型枠工事

- ① 異形鉄筋はSD-30SD-35~~等~~とす。SR-24とする。
- ② 柱、梁の柱筋の継手は径16以上のものはガス圧接する。
- ③ 設備工事の配管等が受壁を貫通する箇所、消火栓分電盤等で耐力壁等へ突込み断面欠損する箇所は補強を行うものとする。
- ④ 型枠
打放し型枠は材巾90~100にて割付図を作製して加工のこと。本実加工する。又セパレーターはフォームタイとする。
- 6. コンクリート工事
① コンクリート強度については設計図に依る。
2. 乾置
発泡コンクリートを使用する場合は、仕様はメーカーの仕様書に依る。乾燥比重は0.7~0.8とする。
尚アースボルト等取付金物等のある部分はその部分のみ豆砂利コンクリートとする。

7 鉄骨工事

- ① 現寸検査
設計図に基き現寸図を作製し、係員の検査を受け加工する事。
現寸検査に於いて、納りその他に依り、変更及補強等の指示ある場合は請負金額の増減なく指示に従う事。
- ② 鋼材
鋼材については設計図に依る。
- ③ 溶接
工作については仕様とする。

4 防錆塗料

錆落し、油その他附着物を除きJIS-K 5622 1種の規格品を使用し塗装を行う事。

8 防水工事

- ① アスファルト防水
施工は建築請負業者及防水施工業者の連帯責任として15年間の保証書、提出の事。
- 2. 化学防水モルタル、モルタル防水
施工は建築請負業者及防水施工業者の連帯責任として10年間の保証書提出の事。
- 3. シート防水・塗布防水施工は建築請負業者及防水施工業者の連帯責任として10年間保証書提出の事。

9 組積工事

- 1. コンクリートブロック
設計図に依り厚100mmを使用する種別はC種とする。
配筋は9たてよこ共~@400とする。
- 2. ALC
設計図に依りALC板を使用する。
仕様はメーカーの仕様書に依る。同メーカーの釘はオースチン系、鉛板使用の事。
- 3. 煉瓦
歪み及び割れ傷等のないものとし、あらかじめ見本品を提出して係員の承認を受ける。普通煉瓦 並焼 1等 見え掛り
" 2等 見え掛り
上焼 1等 特に湿気の多い所
" 2等 煙道、突煙道の表
以上JIS-R 2150によるもの、その他、かまど、煙突、煙道には耐火度、ワーザルコーン30番以上JIS-R 2601によるものを使用。

4 施工図

施工に必要、ブロック割（埋込ボルト、木煉瓦、埋込配管の位置を示す）配筋詳細図、窓出入口枠廻り、欄、コンクリートブロックと埋込はラーメン構造との取合、その他必要な図面を作製し係員の承認を受ける。

5 開口部

窓出入口、その他開口部の上部は必ず鉄筋コンクリート製帽を施工する事。配筋は係員の指示によるものとするが、原則として上下筋1-10、スカーラップ9@200とする。

10 タイル工事

- ① 施工図
割付図（非割付図等）及び、取付工作図を加工図に作製し係員の承認を受ける事。
- ② 目地
目地に於いて目地防水セメントを使用する事。
- ③ 清掃
タイルの清掃は目地込み完了後1週間以上経過して行いが水洗いを原則とする。汚れがひどく止むを得ず塩酸を使用する時は、係員の指示に従って20倍以上の稀釈液とし直ちに酸の残らない様水洗いをする事。

記事

設計番号	8416	図面番号	49 枚の内 2	株式会社 サンウラボ設計
縮尺		図名	No. 1	
担当者		建築工事特記仕様書		代表取締役 部長 一級建築士 11700号 副代表取締役 部長 一級建築士 浦野 勤

建築工事特記仕様書 No. 2

1. 石工事 庭園産石カグとす

- ① 施工図
割付図(石割図、目地割図)及取付工作図を提出し係員の承認を受ける事。
- ② 養生
表面の汚染を防ぐ為、施工後に強いハトロン紙等をセロテープ等にて袋貼りし必要に応じて適当な保護をなす事。

2. 木工事

- ① 施工図
施工に先立ち施工図(矩計図、間仕切図、天井造作、加工等)及木材明細書を提出し係員の承認を受ける事。
- ② 材料
使用材料は係員の検査を受け承認を得て使用する事。
図示及特記なき場合は下記の仕様に依る。

一般 土台	檜、米檜	1等以上
柱(見え掛り)	檜、米檜	上小節以上
柱及間柱(見え隠れ)	杉、米檜、米樺	1等以上
野縁、吊木、胴縁	杉、米樺、米ひば	1等以上
造作材(内法材共)	檜、米檜	上小節以上
堅木	塩地、ナラ、タモ	
板材	造作材は芯去り材とする	
巾木	C.L 塗り下地は 堅木	
	O.P 塗り下地は 檜上小	

和室 柱(見え掛り)	杉赤根無地(化粧単板貼り集成材)
内法材、天井材	" (")
敷居	板 (")
落掛	杉赤根無地 (")
床樞	面皮ウレシ塗り、ケヤキ春塵塗り
床柱	北山杉絞丸太、赤松皮付磨丸太
床板	ヤニ松ローベキ仕上(化粧単板貼り集成材)
	ケヤキ春塵塗り (")
	" (")

③ 合板
合板は日本農林規格に依り日本合板検査会の合格品とする。
図示なき限りラワン合板耐水合板タイプII(難燃)厚5.5とする。

④ 防蟻剤塗り
塗装箇所は下記に依る
・床組みでコンクリート、ブロック、レンガ、石等に接する部分
・浴室、洗面所、便所等で水掛りの恐れのある部分及木間仕切壁で床面より1000以内の軸組及下地材全面

⑤ 寸法
設計図に記入された部材寸法は原則として下記による。
・造作材、内法材は仕上寸法
・構造材は挽立寸法とする

⑥ 埋込電灯その他の補強
電灯埋込箱は建築工事に含み、内部は白ペンキ2回塗り以上とする。
尚、衛生、電気、空調等に依る開口部は全て建築工事に含み充分な補強をなす。

⑦ 養生
工事中に汚染損傷の恐れのある部分及材料は、適当な方法に依り充分保護するものとする。特に養生に関しては係員の指示に依り速かにこれを行うものとする。

13. 金属工事

- ① 施工図
施工前に必ず現寸図、施工図を提出し係員の承認を受ける。
- ② 防錆塗料
錆落し、油その他附着物を取除きJIS-K5622、1種の規格品を使用し塗装を行う事。
- ③ 軽量鉄骨天井地下地及壁下地
天井及壁に使用する軽量鉄骨下地の仕様は、メーカーの仕様書によるものとし、割付図等作製の上係員の承認を得る事。
尚、特記なき限り天井下地は軽量鉄骨下地を使用する事。
- ④ 天井改め口
天井改め口は45°角アルミ型材による市販品とし、原則として天井材と同材仕上とし、オパールハイハッチ(中博光商店)又は同等以上とする。

14. 左官工事

- ① 施工図
施工前に必ず施工図及施工計画図を提出し、係員の承認を受ける事。
- ② 色合、特殊表面仕上など、見本を要するものは、あらかじめの見本を提出するか見本塗りを行なって係員の承認を受ける事。
- ③ スキン吹付
設計図に依りスキン吹付をなす、仕様はメーカーの仕様による。メーカーは下記とする。
エマルスキン 明研化工KK
カラーナイト 共立窯業原料KK

15. 金属製建具工事

- A. 鋼製建具
 - ① 外部コーキングピース
外部廻りサッシの両側及上端部にはコーキング用ピースを取付ける事。
 - ② 塗装工事
ボンデライト処理の上ジクロメート1回塗りとし現場搬入後ジクロメートプライマー2回塗り以上とする。
 - ③ 金物
金物はすべて一流メーカーの最高級品を原則として使用する。

B. アルミ製建具

- ① 塗装
塗装は全て電解交流発色とする。
- ② 金物
金物は鋼製建具に依る。
- ③ 強度、その他
特記なき限り強度 200 kg/m² (56.6 m/sec) 以上
気密性 4 m³/hrm 以上、水密性 25 kg/m² 以上とする。
カーテンウォールは特記なき限り、強度 225 kg/m² 以上、気密性 0.25 m³/hrm、水密性 65 kg/m² 以上、断熱性 0.8 kcal/m²hc 以上とする。

ステンレス製建具

- ① 仕上
仕上は特記なき限りヘアライン仕上とする。
折曲げ箇所は外部は角出し、内部は丸面とする。

D. 自動扉

- ① 図示ある箇所には自動扉を取付ける事。仕様はメーカーの仕様による。
メーカーは下記とする。
ナブコ自動扉 日本エヤーブレーキKK
ドリームドア-オペレーター 東電電気KK
オートドア-エンジン 寺岡オートドア-エンジン
ニュースター 日本ドア-チェック製造KK

F. 鋼製建具

- ① 材料
特記なき限り檜官材無節乾燥材の欠点なきものを使用する。
フラッシュ戸は耐水合板タイプII 45°とし、水使用の箇所はタイプIとする。
扉は堅木又は松とし、ラワン材は使用してはならない。
- ② 金物
鋼製建具に依る。特記なき限りドアチェックはストップ付とする。
開き戸には特記なき限り戸当り止め付きとする。
- ③ 製作
製作に先立ち現場寸法調整の上、製作にかかるものとし、硝子は敷きパテ止めとし現寸実測に依り堅固に製作する。

G. 防煙垂れ壁装置

- ① 設計図に依り防煙垂れ壁装置を設ける事。
本装置は煙感知器と連動し閉鎖する装置である。

16. 硝子工事 JIS規格品

- ① 硝子工事 JIS規格品

17. 塗装工事

- ① 化粧合板の内難燃、準不燃、不燃に該当するものは不燃塗装仕上とする。
- ② 木部 OP 塗り
目止め1回、仕上3回塗り
- ③ 鉄部 OP 塗り
錆止め2回塗りの上仕上3回塗り、外部に接する部分の錆止めは、工場にて2回塗り現場にて1回塗りとする。
- ④ モルタル合板ボード面 EP 及 VP 吹付
目止め1回、仕上3回塗り(下中塗りは刷毛塗りとし仕上は吹付とする)
- ⑤ 木部クリラッカー塗り
7回塗りとする

18. 内装工事

- ① 塩ビ系タイル貼り
・割付図を作成し、色合いは見本品提出の上、係員に依り決定する。
・下地は施工前に不陸、こてむらをグラインダー等で直し係員の検査を受ける事。
・塩ビ系タイルの等級は下記に依る。
A-アムチコプロムナード又は全等品
B-マチコDタイル 東洋リリウム) 又は全等品
テラリスタ 田島応用加工
C-マチコSテラビニール 東洋リリウム) 又は全等品
三星ピサロン 田島応用加工
D-マチコSフレッシュ 東洋リリウム) 又は全等品
Mタイル 田島応用加工
E-マチコA 東洋リリウム) 又は全等品
Pタイル 田島応用加工

② たたみ敷き

たたみ表、たたみ床はA種とする。防虫処理品とする。

3. 化粧合板

張り付けは目地の通り良く、下地に不陸、目違いなどのない様に板裏面に依り張り付ける事。
化粧合板の等級は下記に依る。
A-ローズウッド、ウォールナット、チーク、ケヤキ、カリン
B-ダオ、レオ征、サクラ、松、ムテニ
C-タモ根、ニレ、白ラワン
D-プリント合板

難燃表示部分はオカサン難燃化粧パネル使用
準不燃 " OS 不燃化粧パネル使用
不燃 " "

特記なき部分は下地は普通合板
上記に依り該当室の壁、天井の仕上をそれぞれ難燃材準不燃材、不燃材を使用する。

④メラミン化粧板

メラミン化粧板は厚1.2としメーカーは下記とする。
デコラ : 住友化学
ヒッターライと : 日立化成
パネライト : 松下電工

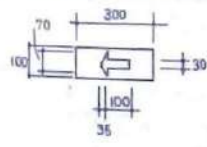
19. 雑工事

- ① 室名札
各室にはアクリライト製市販品とし、文字エッチングエナメル着色、亜鉛ダイキャストメッキ仕上、落し込み式とした室名札を取付ける。持出し式正面付の区分は係員の指定に依る事。
- ② ドア表示板
開き戸には全て"押す" "引く"の表示板(市販品)を取付ける事。
- ③ 旗竿受金物
ステンレス製旗竿受金物(市販品)1対を係員の指示する箇所へ取付ける事。

設計番号	8416	図面番号	49 枚の内
縮尺		図名 No. 2	
建築工事特記仕様書		株式会社 サンウラノ設計	
一般建築士事務所	代表	一般建築士 117000号	
代表者	代表者	代表者	代表者

建築工事特記仕様書 No. 3

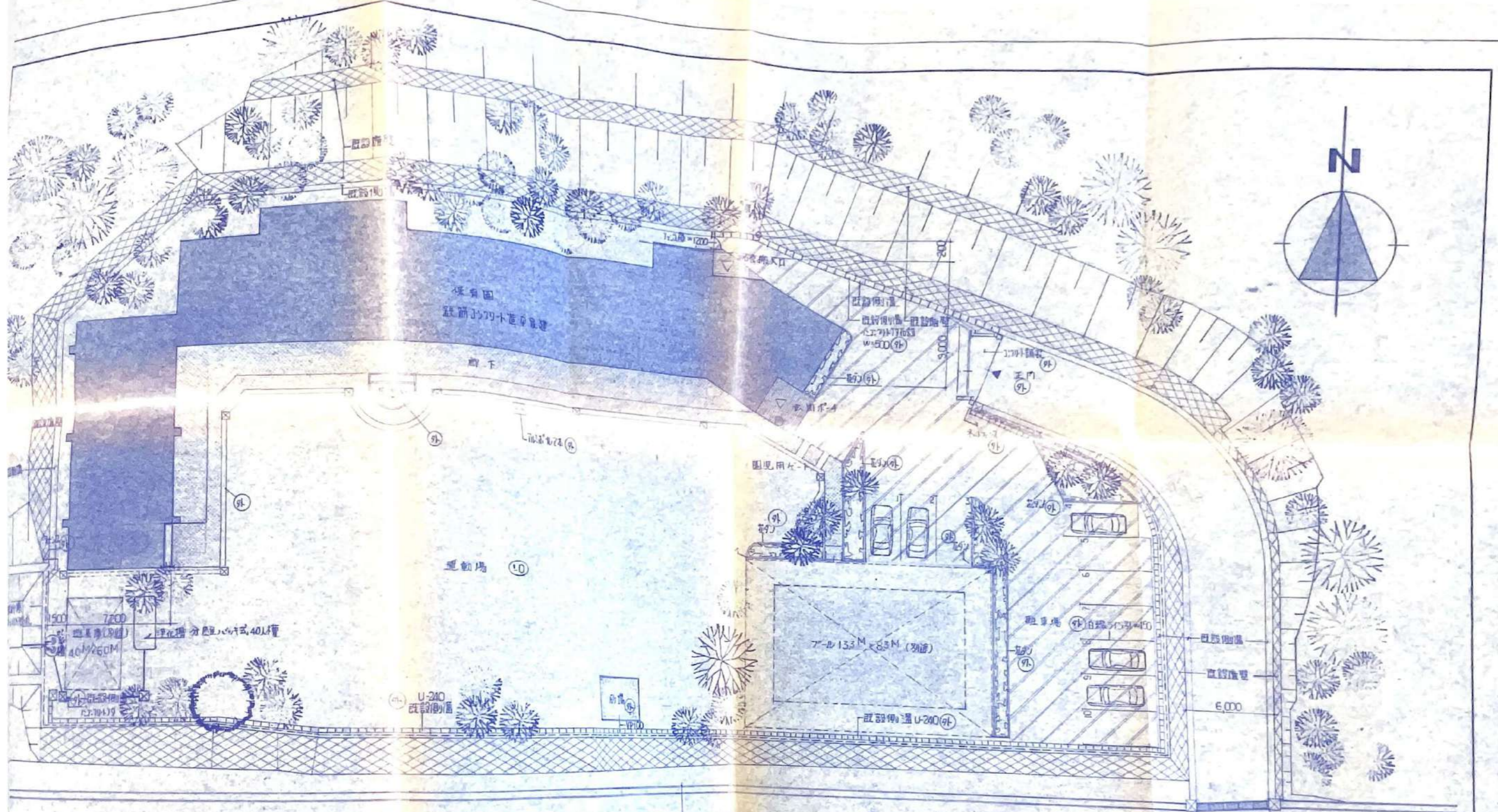
- 天井見切縁
特記なき限り天井材とモルタルタイル等壁仕上との見切には硬質プラスチック製見切縁を取付ける事。
- 注意書
出来上り建築物の使用注意書き及び危険防止表示書きは係員の指示に依り表示する。
アコーディオンドア、スライドウォール
設計図に依り、アコーディオンドア、スライドウォールを取付ける事。
仕様はメーカーの仕様によるものとする。
- 階数表示板
各階、階段室にはアクリライト板'12に依る切抜文字に依る表示板取付の事。文字の大きさは 180×110 程度とする。取付は係員の指示に依る事。
- 案内板
各階 \square ヶ所づつ係員の指示する位置へ取付ける事。
案内板は、アクリライト板'12へ平面図記入の事。大きさは 450×600 程度とし板は白、平面図等記入事項は黒とする。
- 壁紙・壁面その他
設計図に依り、陶板、壁紙、その他をなす。色は \square に示す。
- 建築模型
製作者は、建築模型を作製の上提出の事。
製作所は愛知模型とする。
- 地盤札の設置
係員の指示する位置に黒御影石に依り、必要文字を彫込み取付ける事。大きさは 450×600 程度とする。
- 定礎
定礎は下記の要領にて指定の箇所へ取設ける事。
定礎石 外国産花崗石本磨き 450×600 程度
桐箱 桐板製 450×450 〃
鉛箱 鉛板'3桐箱の入り大きさとし、当日又は指定日に封印する。
保管品 設計図書、新聞、通貨、工事関係書類等指示品一式。
- 旗竿
設計図に依り旗竿(ポール)を本を取付けるメーカーは丸一鋼管KK(マルイチポール)又は同等品以上とする。
- 敷地境界石
敷地出隅、入隅には、敷地境界石を設ける標石はコンクリート製120角とし境界石中央に十付きとする。
- 救助袋
席へ避難器具(救助袋)を各 \square ヶ所、平面図に示す位置へ設置する事。尚救助袋は \square 型とし、メーカーは斉田工業KK又は同等以上とする。
- 誘導標識
下記に示す誘導標識を平面図に示す位置へ設置する事。 \square ヶ所



仕様
 表面板：透明アクリライト板'4
 中板：乳白色アクリライト板'2
 (矢印部分切抜)
 底板：緑色アクリライト板'2

藤岡町 物件保管費 担当者	工事設計図 設計番号 8416	図面番号 49 枚の内 4	株式会社 サンウラノ設計 一般建築士事務所 監理 一般建築士第117800号 〒465-0801 愛知県豊田市長瀬 1-1-1 豊野 勉
	図名 No. 3 建築工事特記仕様書	縮尺	

記事



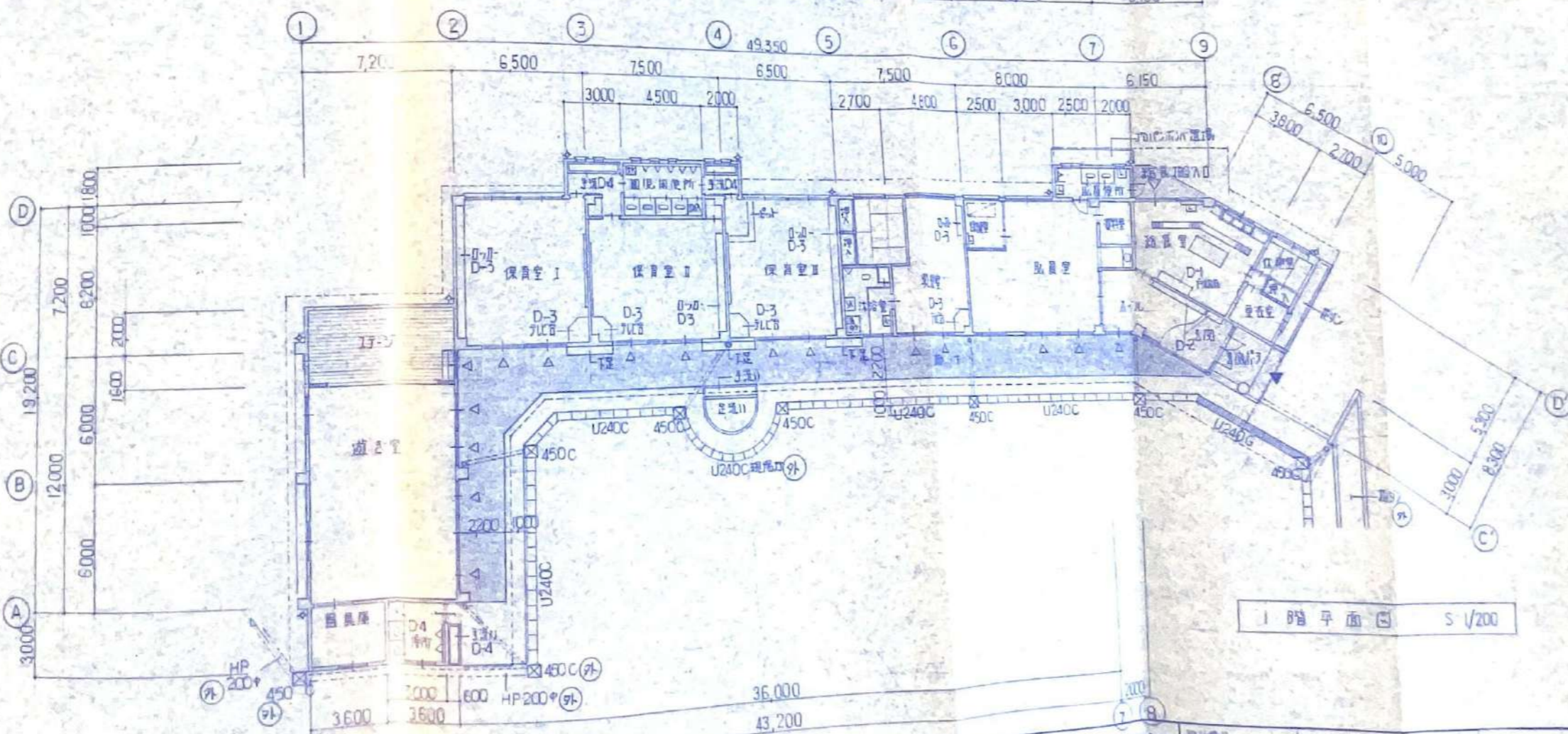
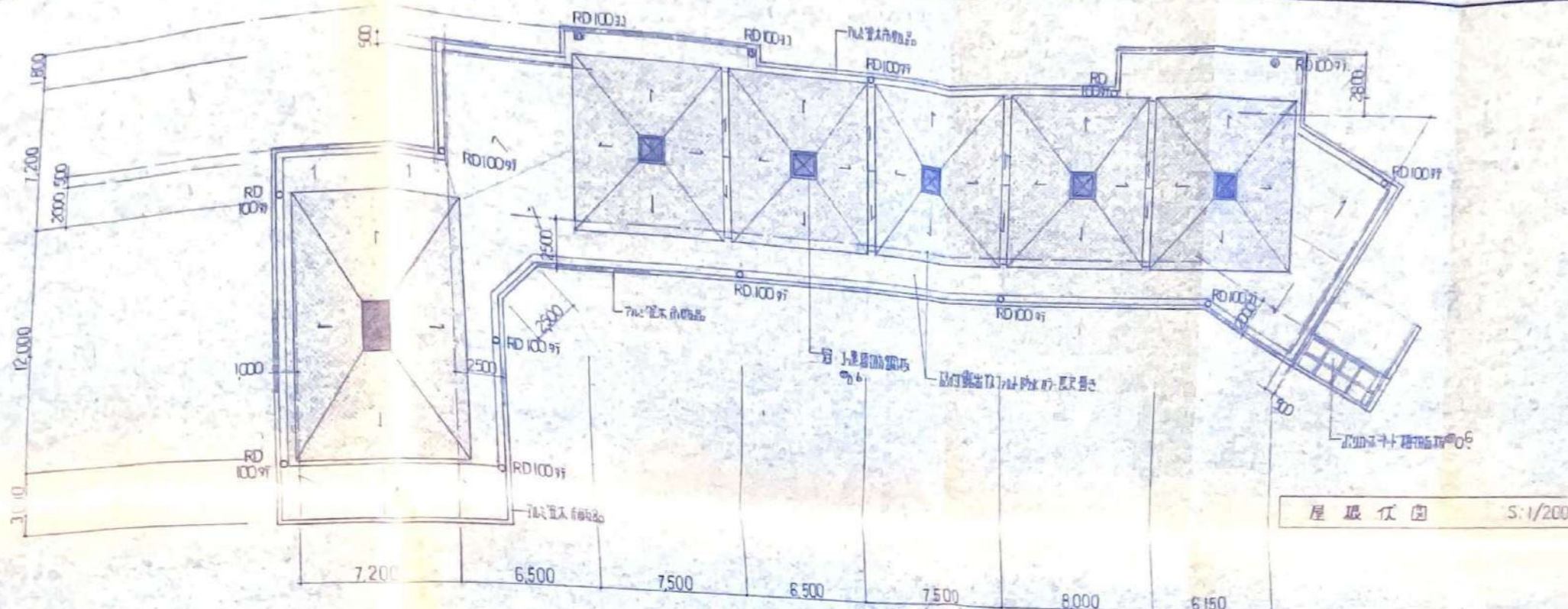
- 外構工事内容
1. TDm仕様舗装 (勾配 7.1% x 50 x 植草型舗装 7.1%)
 2. 8mm 50 x 50 x 150
 3. 圧入 450 8mm 50 x 50 x 150 x 100 x 900
 4. 砂層 3500, 6000 VP100 1.2 排水
 5. 建物南側の排水工 (平面図 1:25)
 6. 土間工 - 瓦
 7. 土間工の壁下既設埋込排水管に 3.7 x 3.7 x 3.7 布設 W500
 8. 敷地面面 既設埋込 U-240 に 3.7 x 3.7 x 3.7 布設
 9. 敷地面面に 3.7 x 3.7 x 3.7 H4200 VB型 既設埋込排水管に 3.7 x 3.7 x 3.7 布設
 10. 埋込排水管の位置を示す。

記号 (外) ----- 外構工事を示す。

配置図 1/200

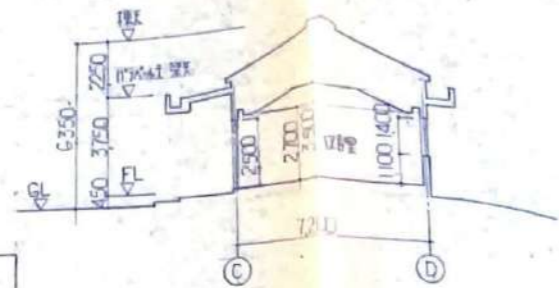


株式会社 保国改築 工事設計図 設計番号 8416 縮尺 1/200		図面番号 49 枚の内 5 図名 配置図	株式会社 サンウラノ設計 一級建築士事務所 登録番号 第 2636 号 監理 藤野 勉 建築士
--	--	-------------------------	---

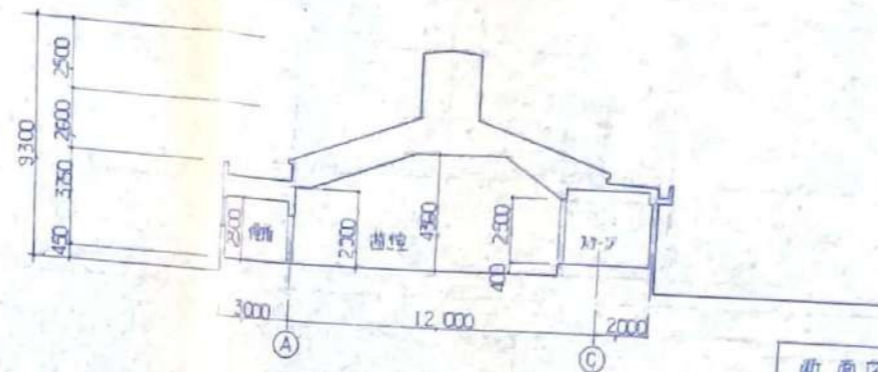


→	二重コンクリート壁	450G・450C	450角鋼束材 60x60x79. C70 2ヶ所 (2ヶ所トコトコ)
→	木間仕切壁	U240C	U字鋼束 U-240 2ヶ所トコトコ
→	木間仕切壁 + 1/2インチ厚板使用	U240G	U字鋼束 U-240 7ヶ所トコトコ
→	9x18貼リ 100角鋼束 94kg	VP 100	

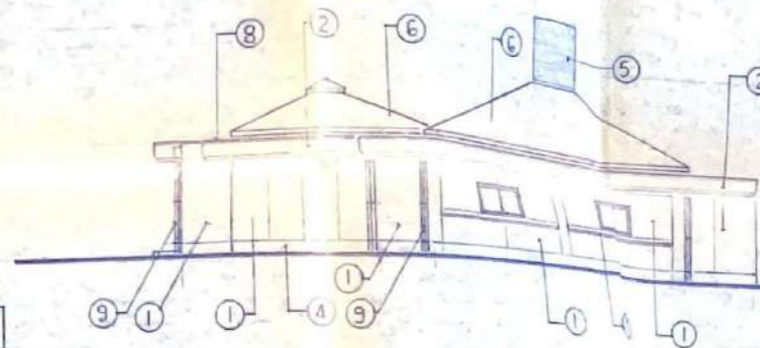
高岡市役所保育園改築 工事設計図
 設計番号 8416
 縮尺 1/200
 図名 1階平面図
 株式会社 サンウラボ設計
 一般建築士事務所 高岡市 高岡区 高岡 7000-11
 登録番号 高岡 7000 号 建築士 藤野 勉



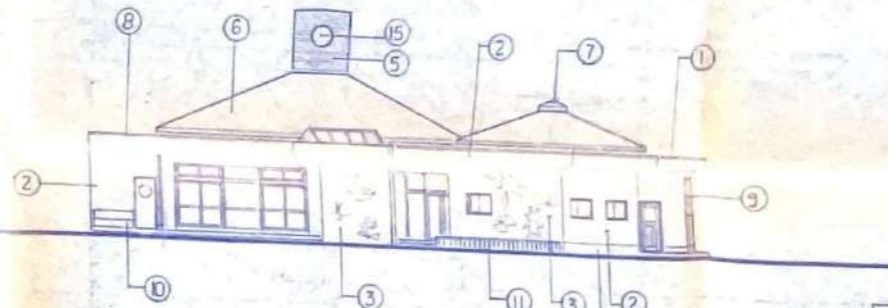
断面図 1/200



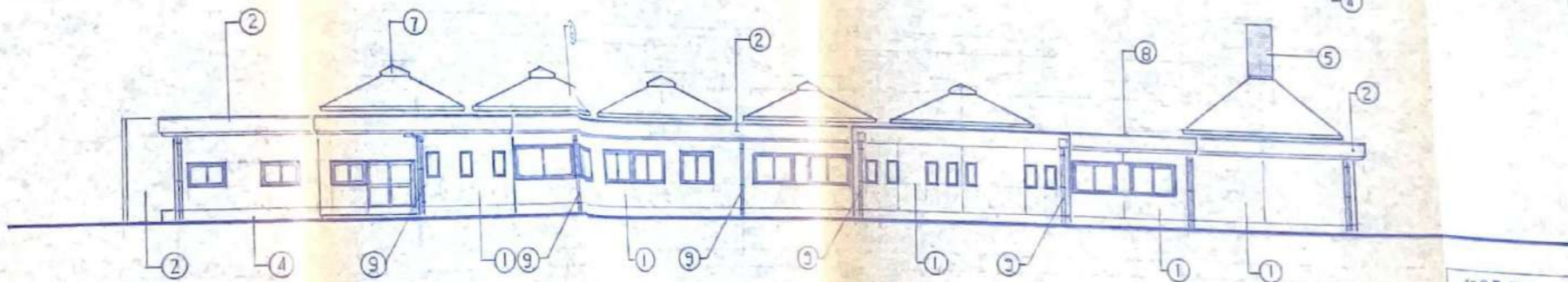
断面図 1/200



面立図 1/200



面立図 1/200



面立図 1/200

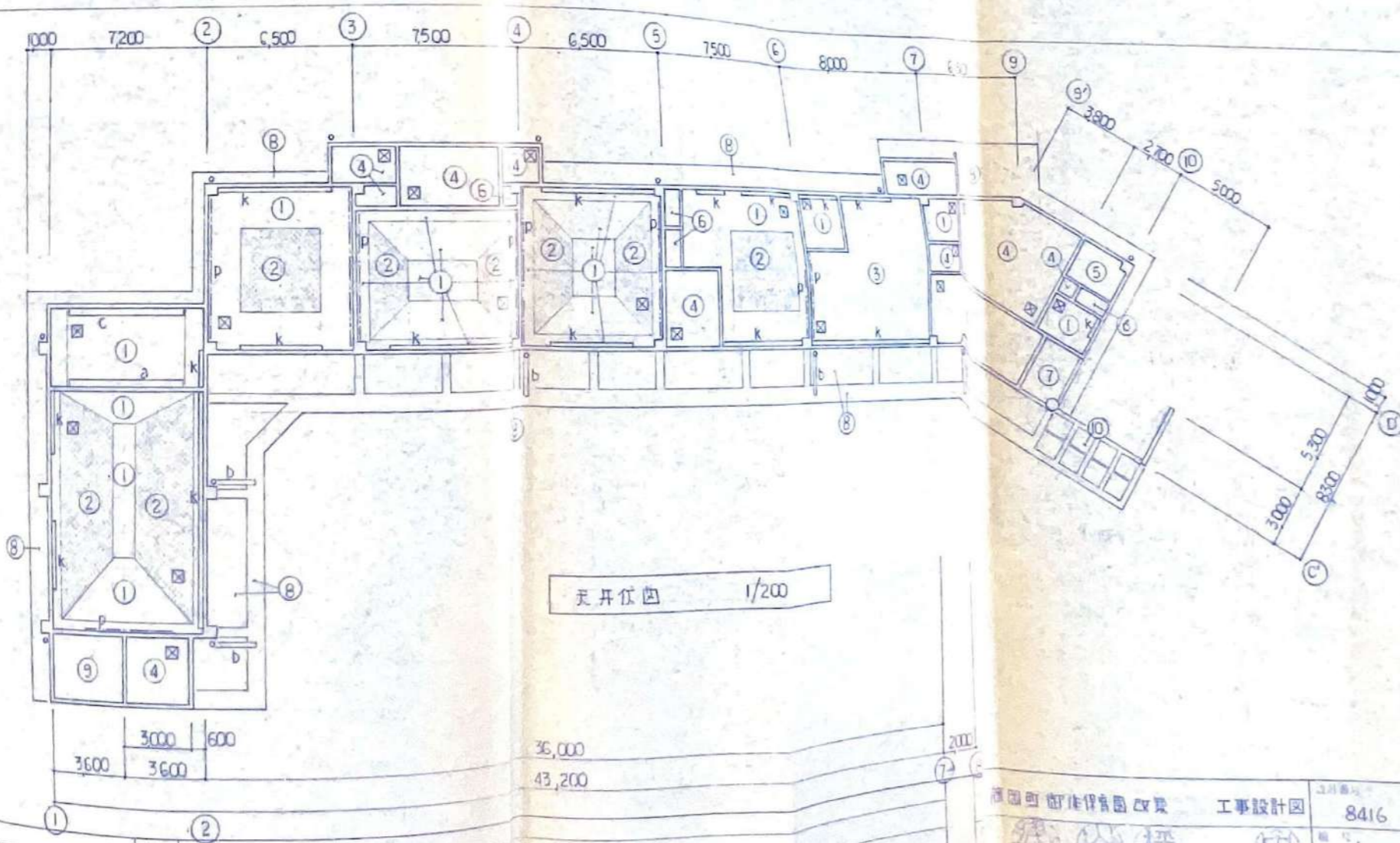
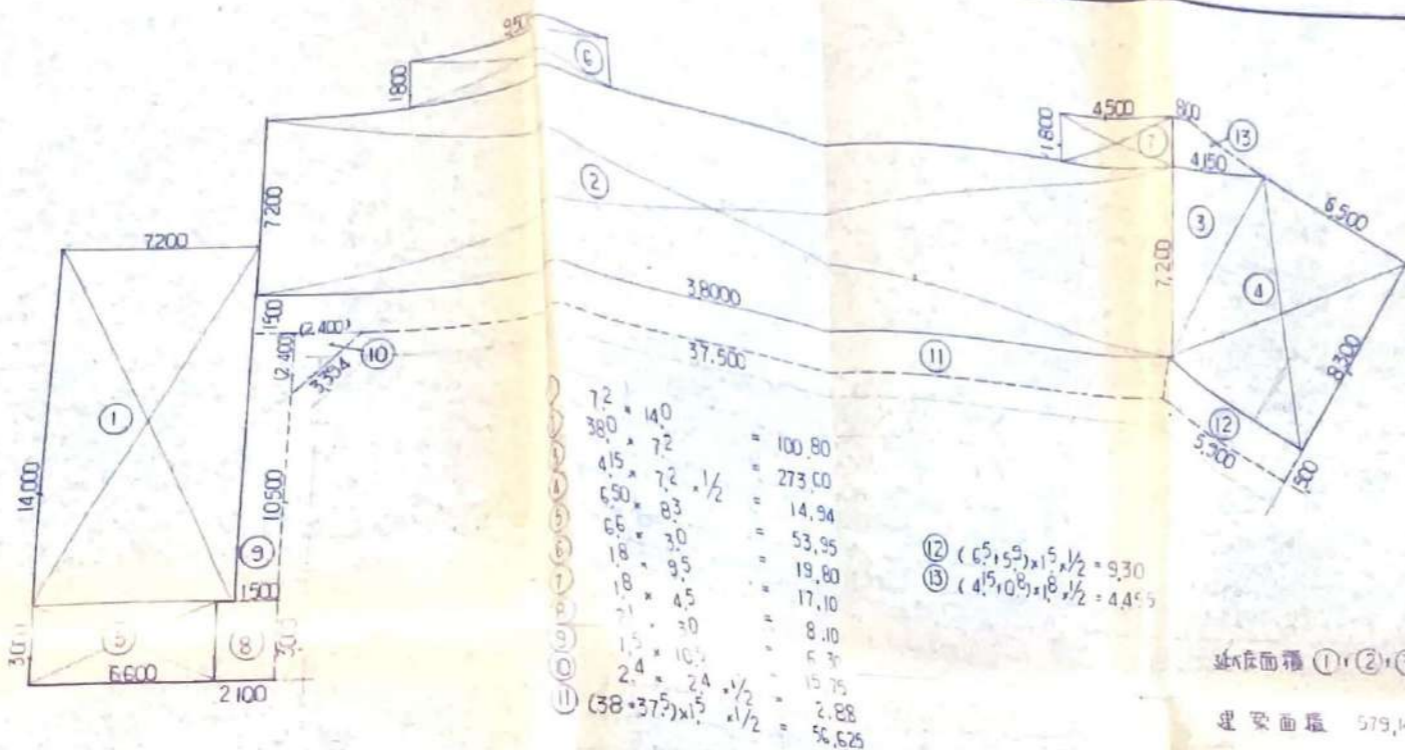


面立図 1/200

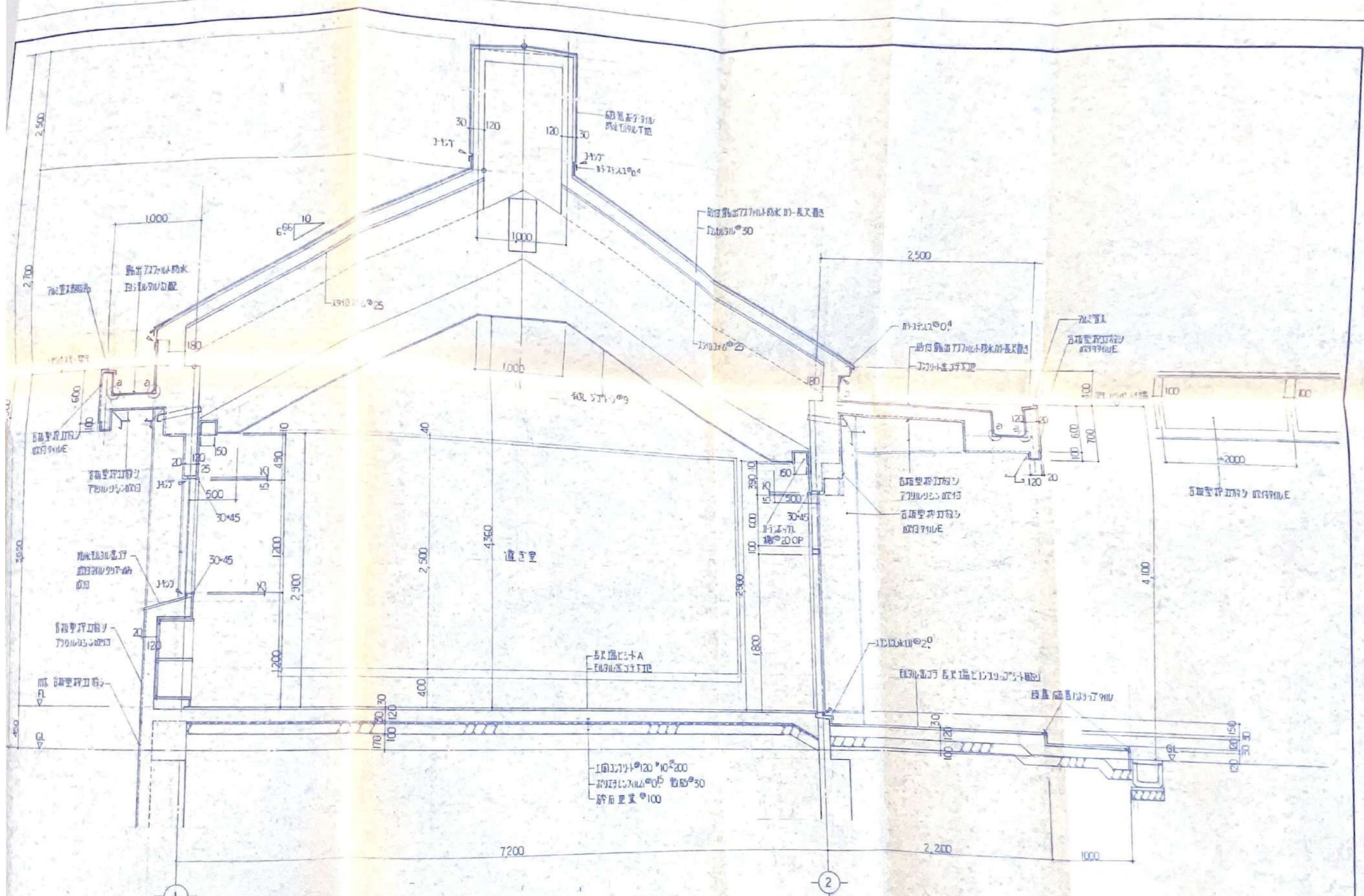
①	各階型枠打設シ、アクリル系吹付(化粧目地入り)	⑥	砂付露出下地吹付(吹付目地入り)	⑪	屋上 各階型枠打設シ(外構工事)
②	各階型枠打設シ、アクリル系吹付(化粧目地入り)	⑦	窓 下地吹付(吹付目地入り)	⑫	面立 吹付目地入り
③	各階型枠打設シ、アクリル系吹付(化粧目地入り)	⑧	アクリル系吹付	⑬	敷設下足箱 OP壁
④	床下 各階型枠打設シ (掃帚)	⑨	床下 吹付目地入り	⑭	モザイクタイル貼付 (外構工事)
⑤	床下 各階型枠打設シ (掃帚)	⑩	手洗シ 吹付目地入り	⑮	時計 (電気工事)

原田建設株式会社 工事設計図 841C 49 7 株式会社 サンウラボ設計

1/200 面立図 断面図



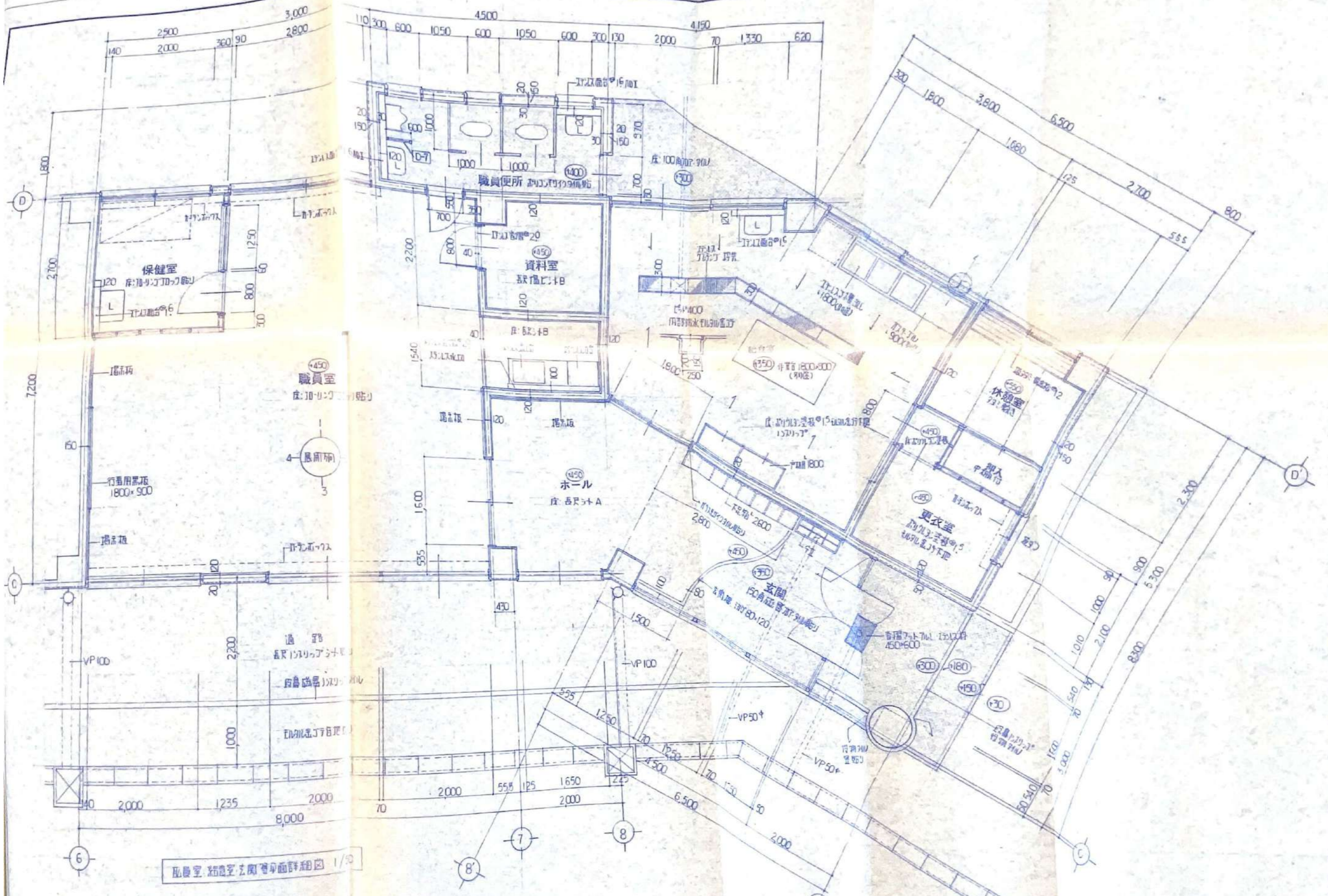
天井位置 R 例	
①	天井の9種 900×900 (軽天井)
②	天井の9種 900×900 防風防雨の窓 (軽天井)
③	天井の9種 900×900 防風防雨の窓 (軽天井)
④	天井の9種 900×900 VP (軽天井)
⑤	天井の9種 900×900 防風防雨の窓 (天井下)
⑥	天井の9種 (天井下)
⑦	天井の9種 900×900 VP (天井下)
⑧	天井の9種 900×900 VP (天井下)
⑨	天井の9種 900×900 VP (天井下)
⑩	天井の9種 900×900 VP (天井下)
⊠	450mm 防風防雨の窓
P	天井の9種
K	天井の9種
o	天井の9種 900×900 VP
b	天井の9種 900×900 VP
c	天井の9種 900×900 VP



遊き室 延床図 1/30

図中の寸法はすべて中心寸法とする。

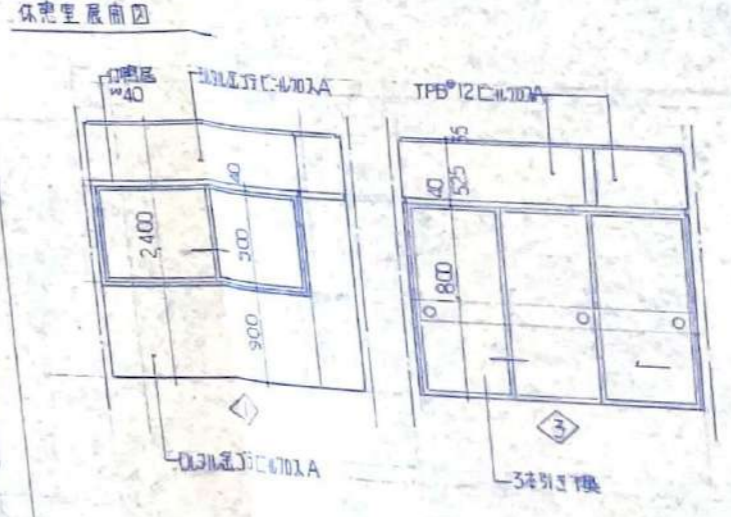
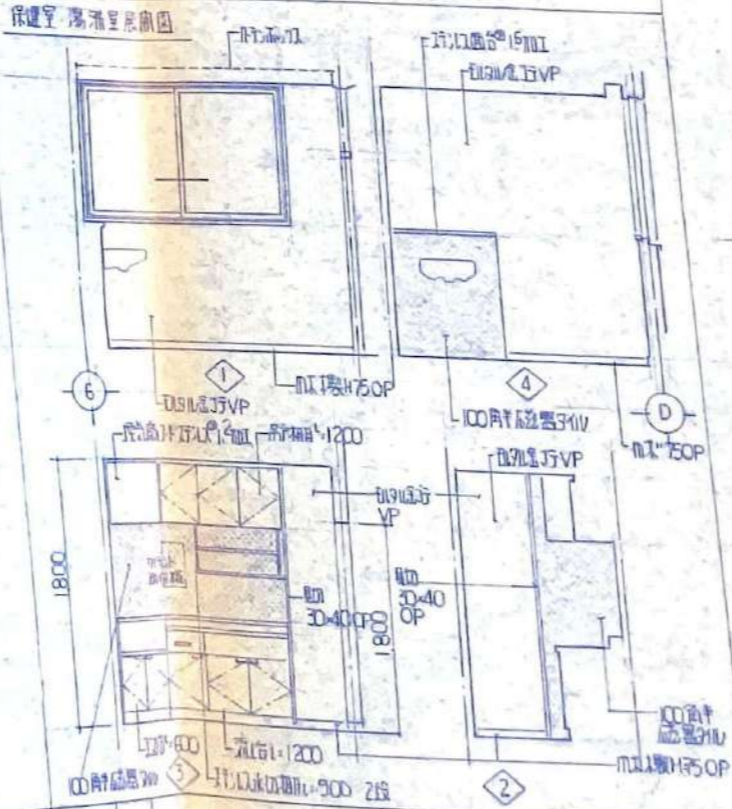
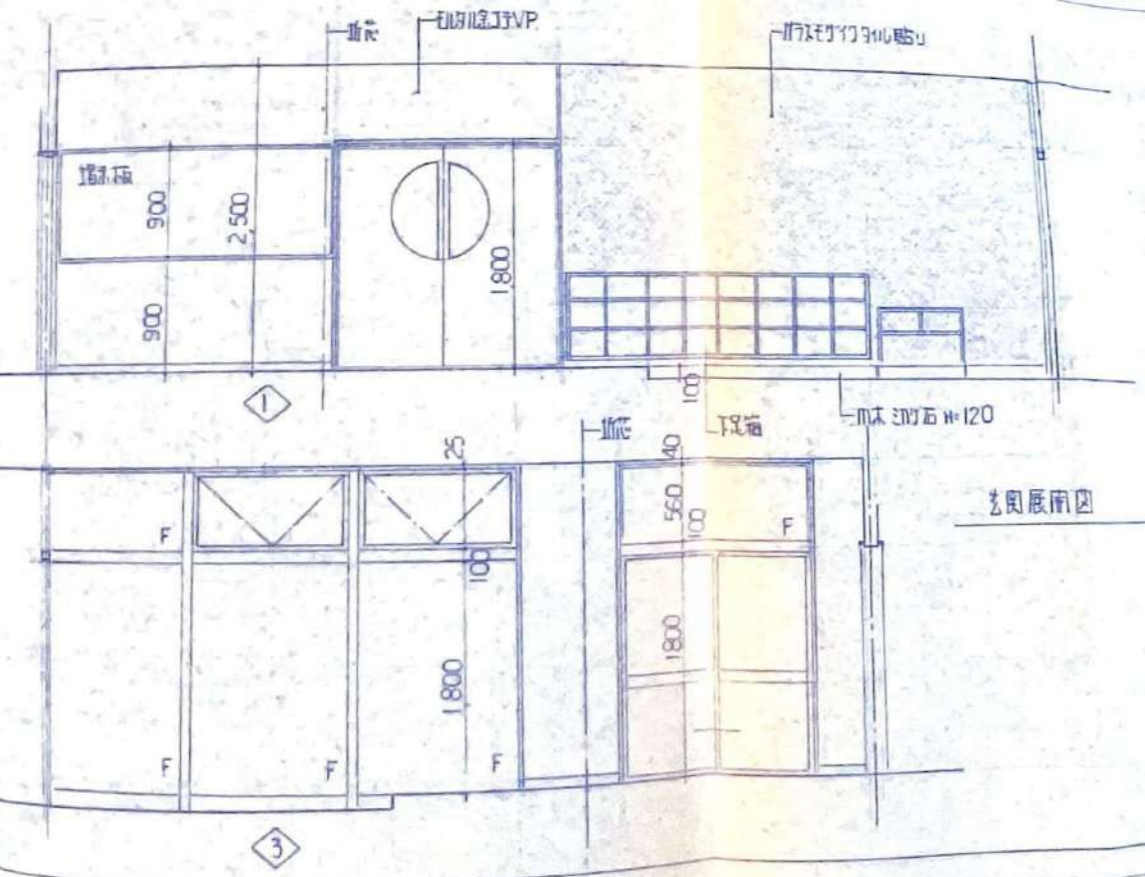
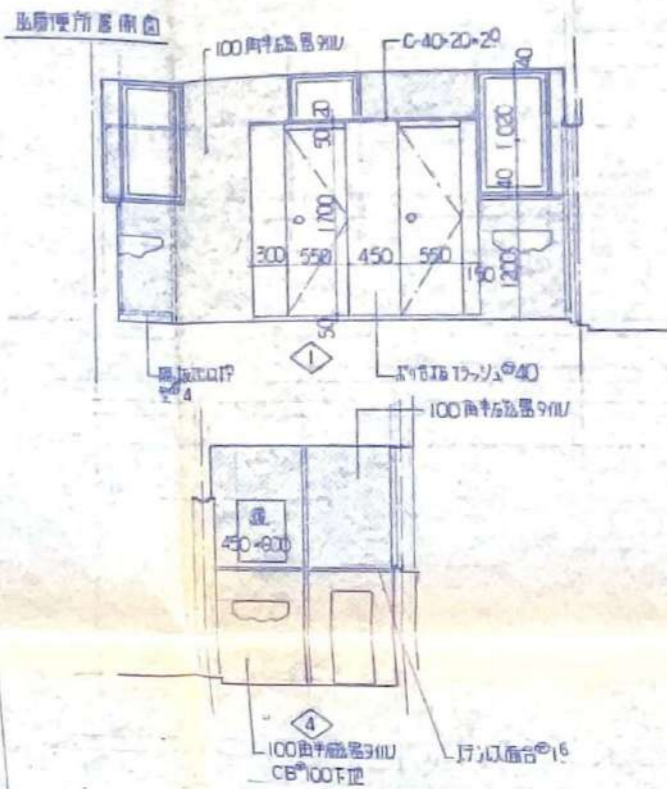
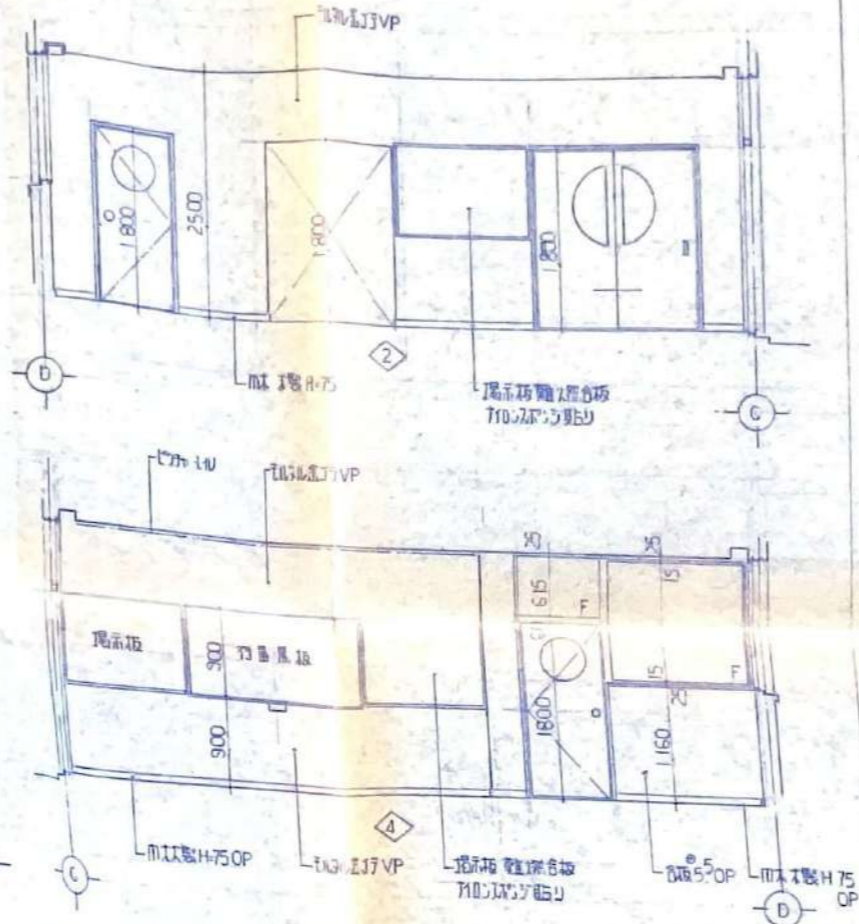
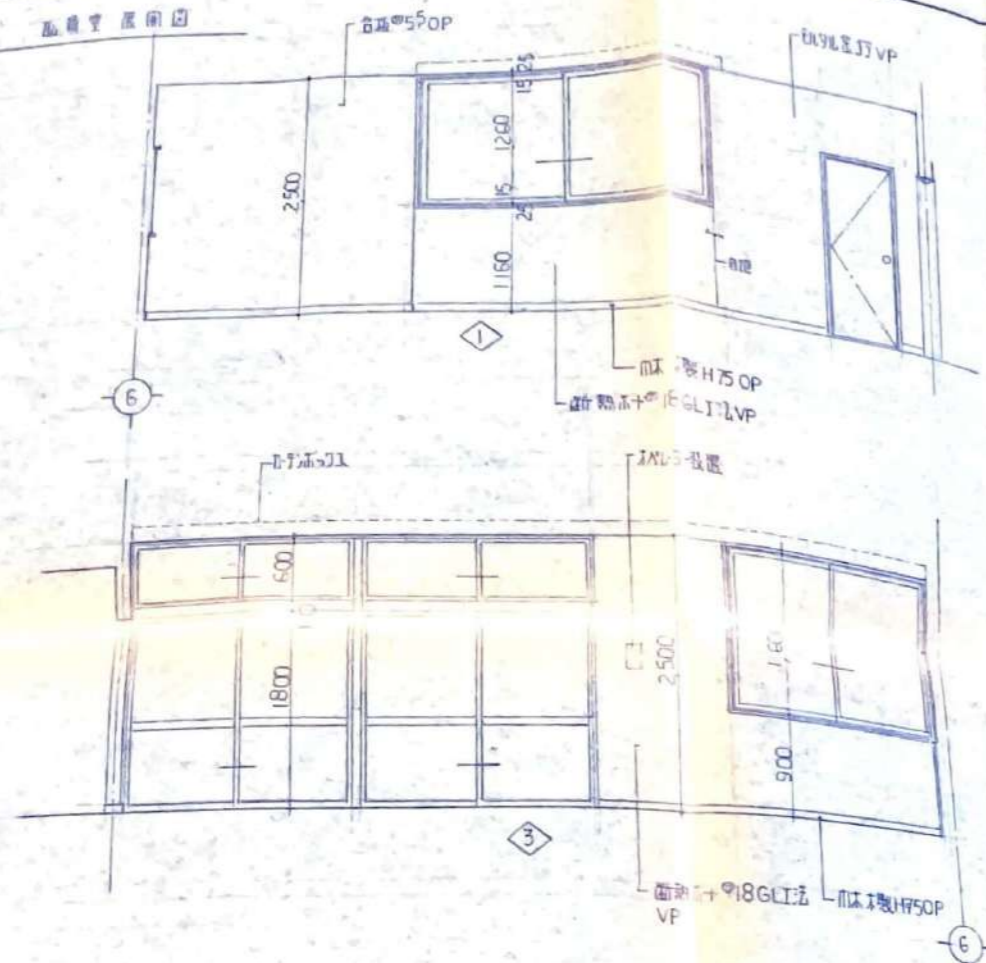
藤岡助作保育園改築 工事設計図		設計図号 B416	図面番号 49 / 10	株式会社 サンウラノ設計
1/30	遊き室 延床図	設計者 藤岡 浩	監理者 藤岡 浩	作成日 2011.09.01



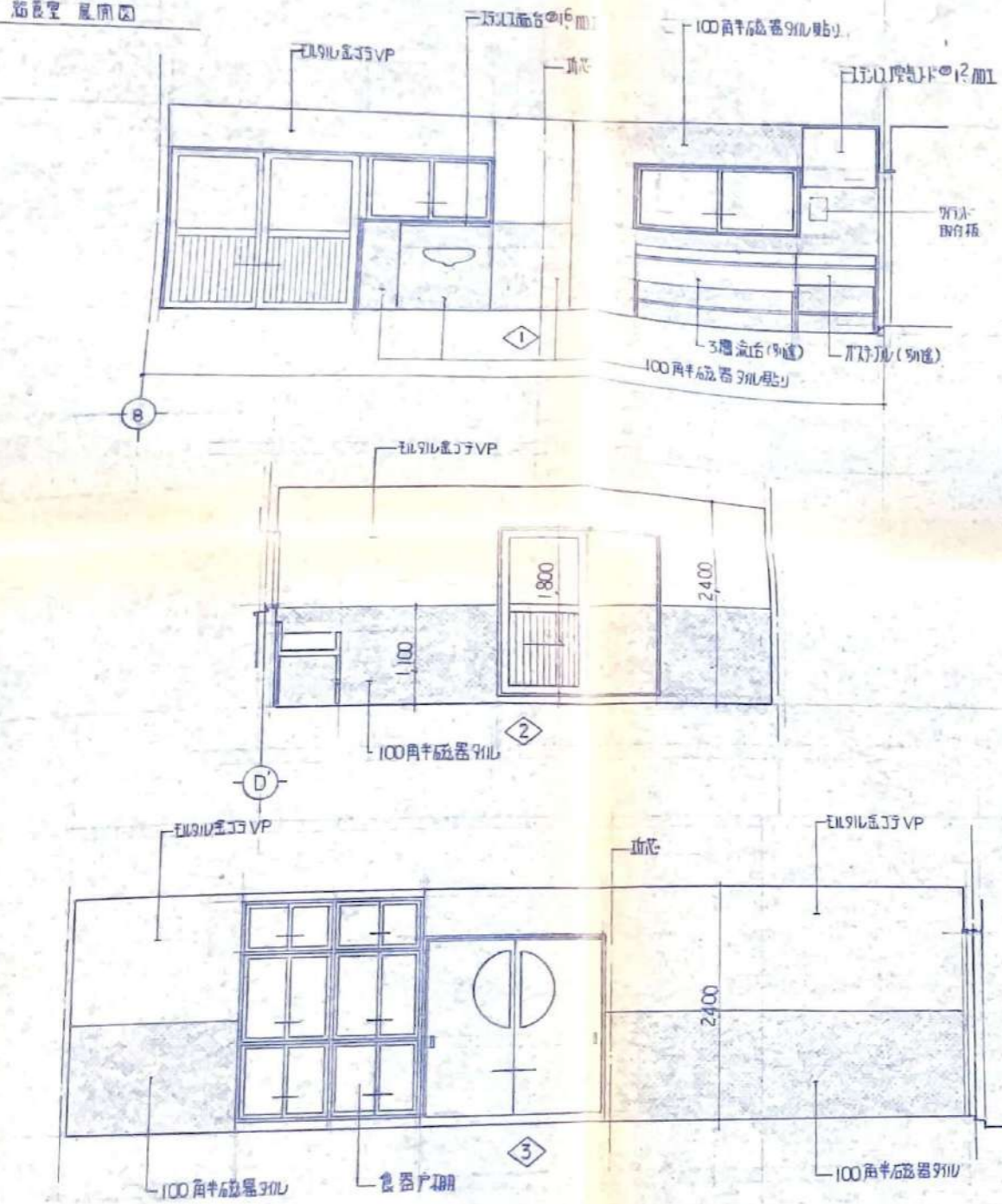
配膳室、結露室、玄関等平面詳細図 1/50

配膳室、結露室、玄関等平面詳細図 1/50	工事設計図 8416	49 / 12	株式会社 サンウラボ設計
--------------------------	---------------	---------	--------------

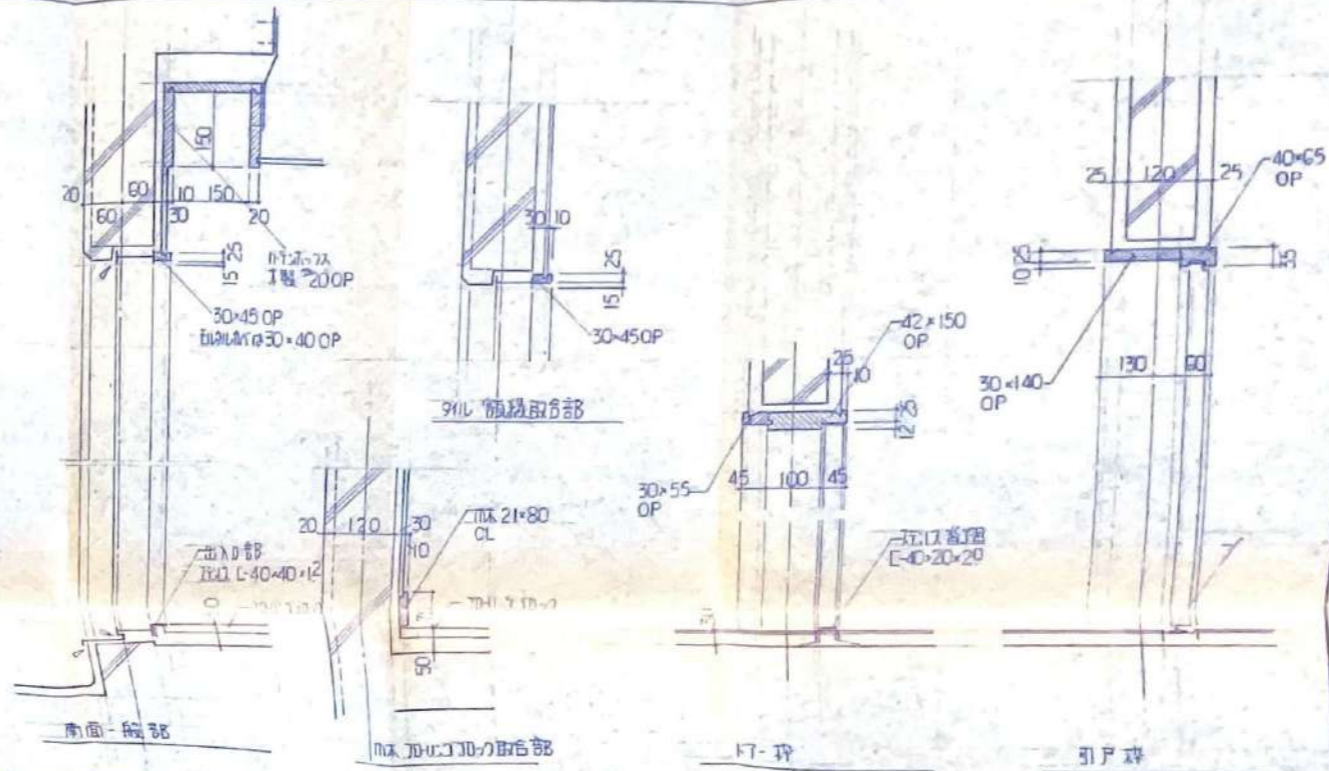
品置室展開図



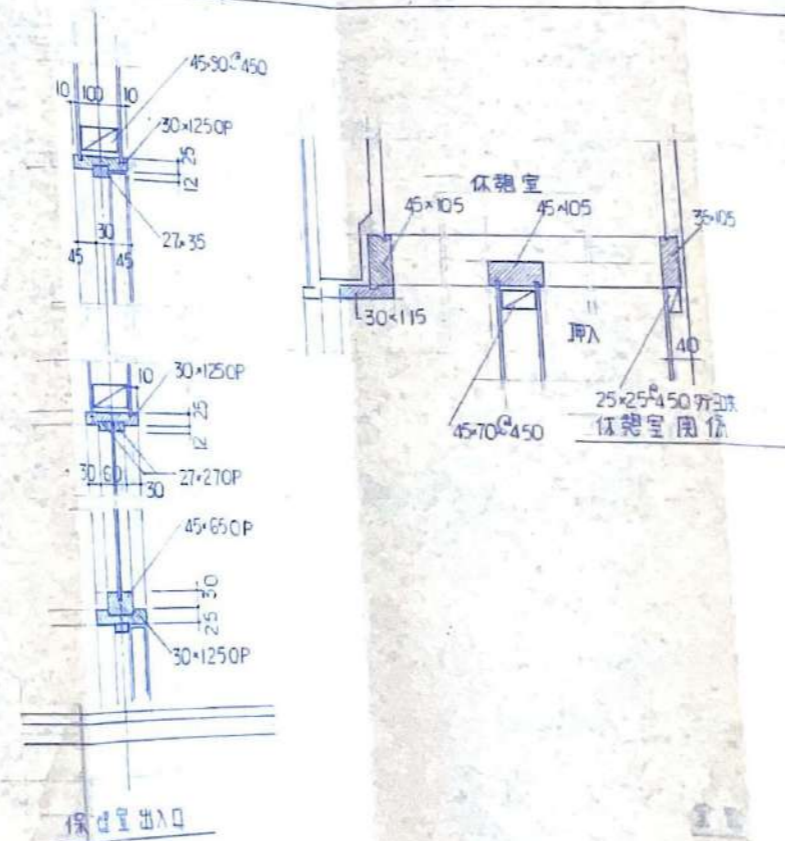
給食室 展開図



鉄骨 工坪 関係詳細図



鉄骨 天井関係詳細図



藤岡電機製作所改築 工事設計図

設計番号 8416

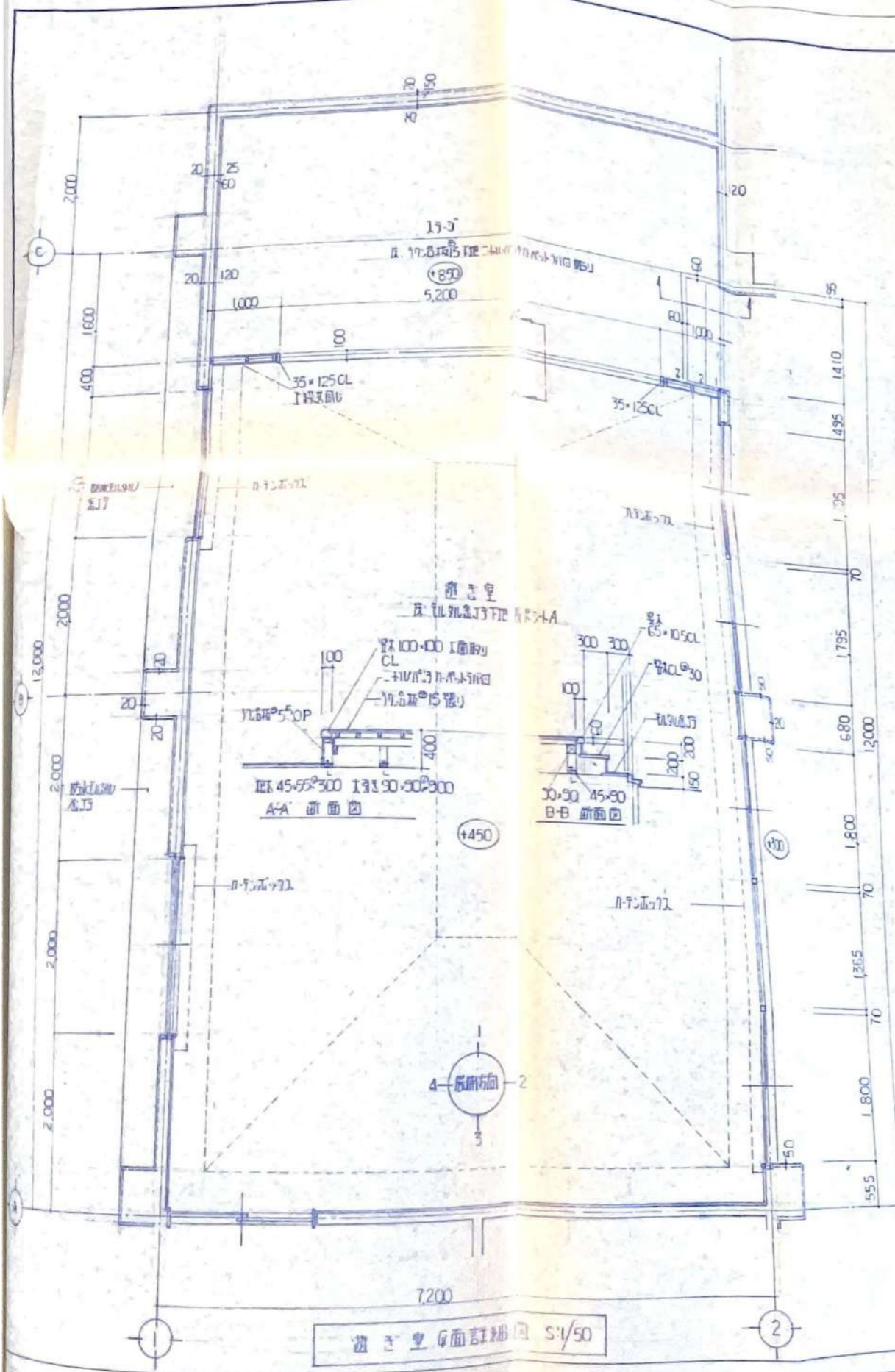
図面番号 4

株式会社 サンウラボ設計

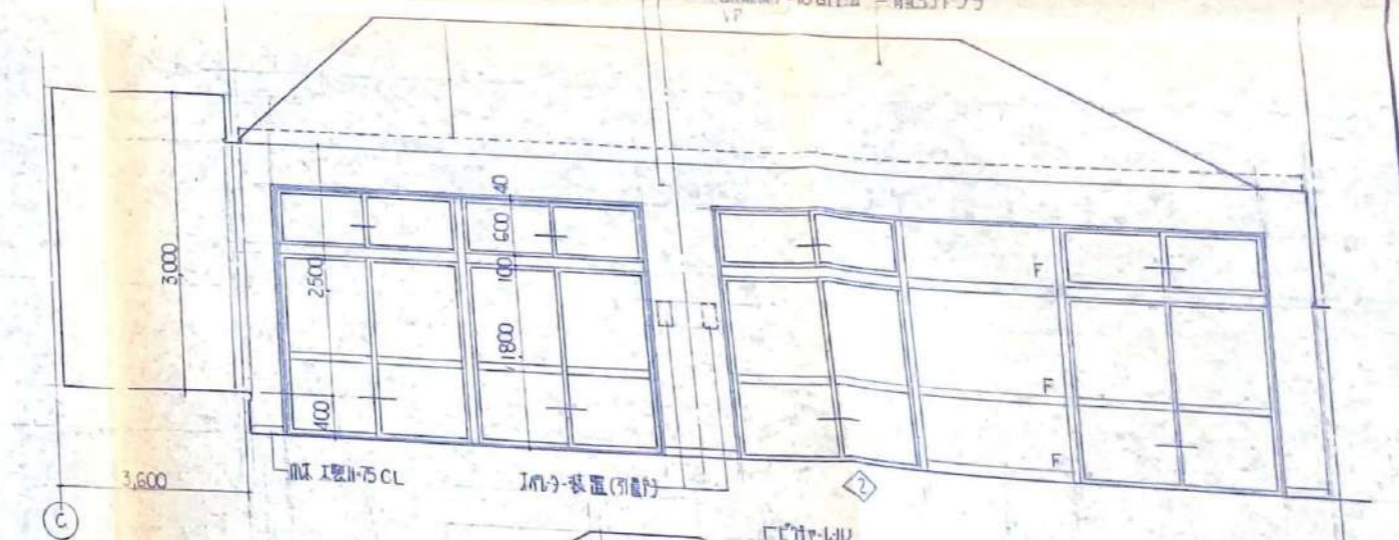
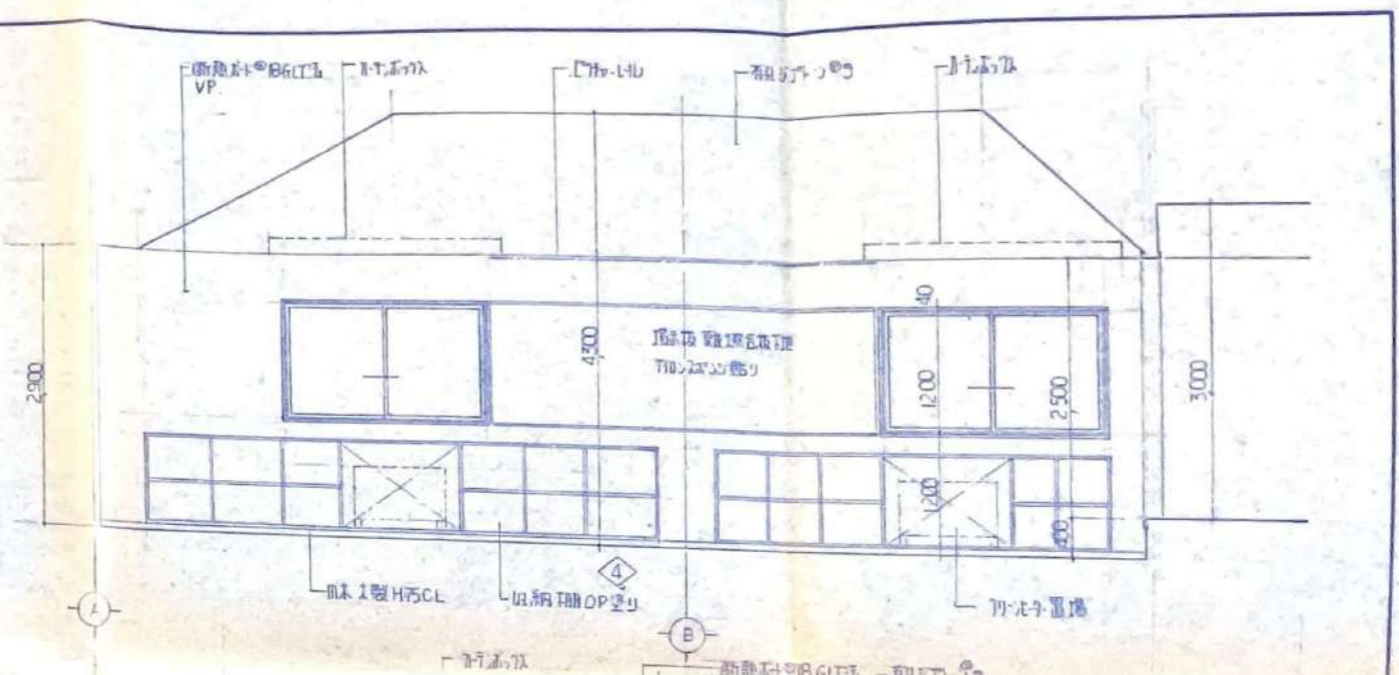
1/50

給食室展開図

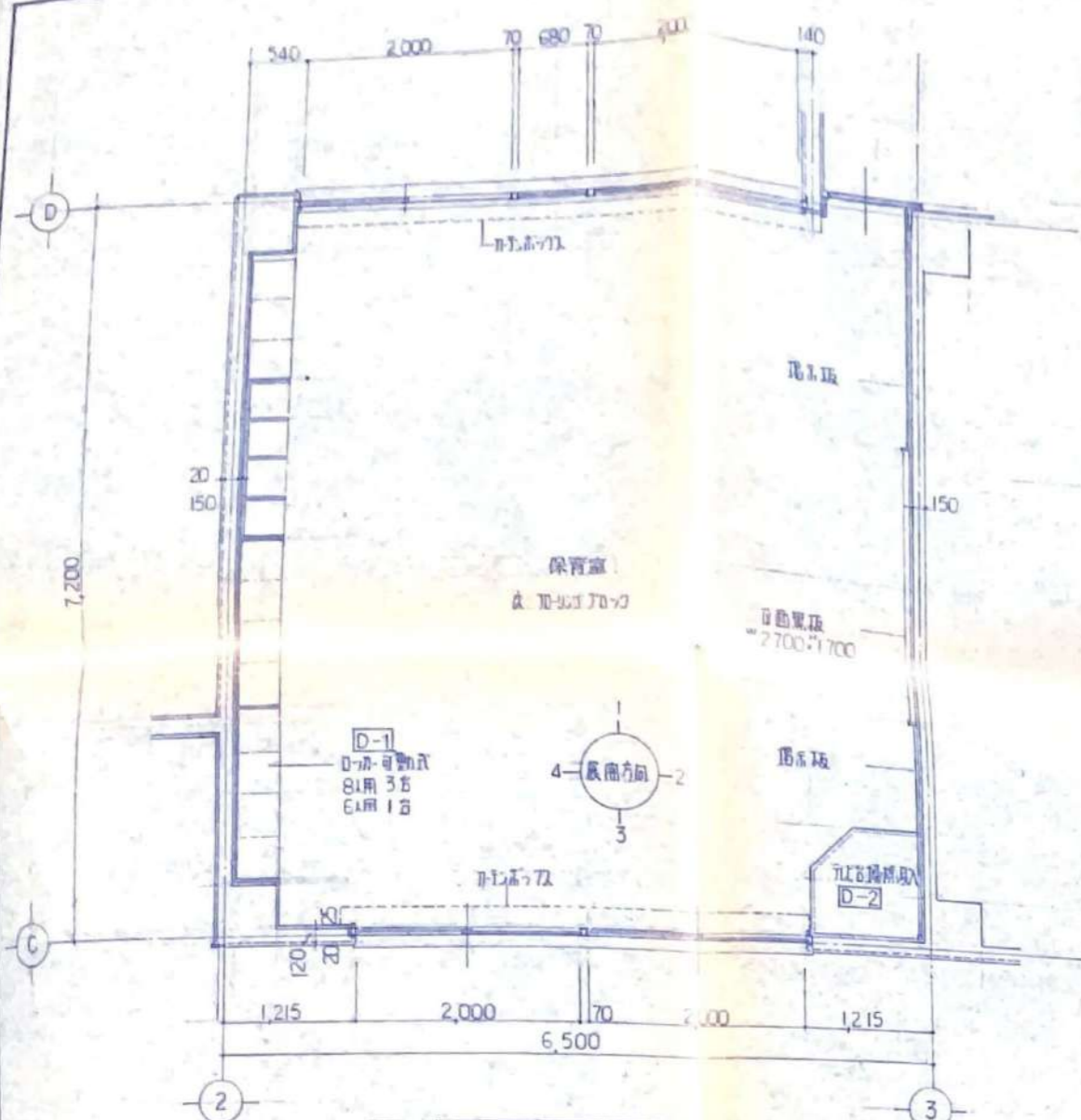
建設業 建築士 設計 監理



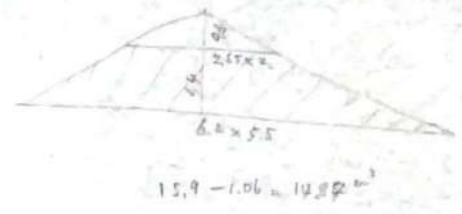
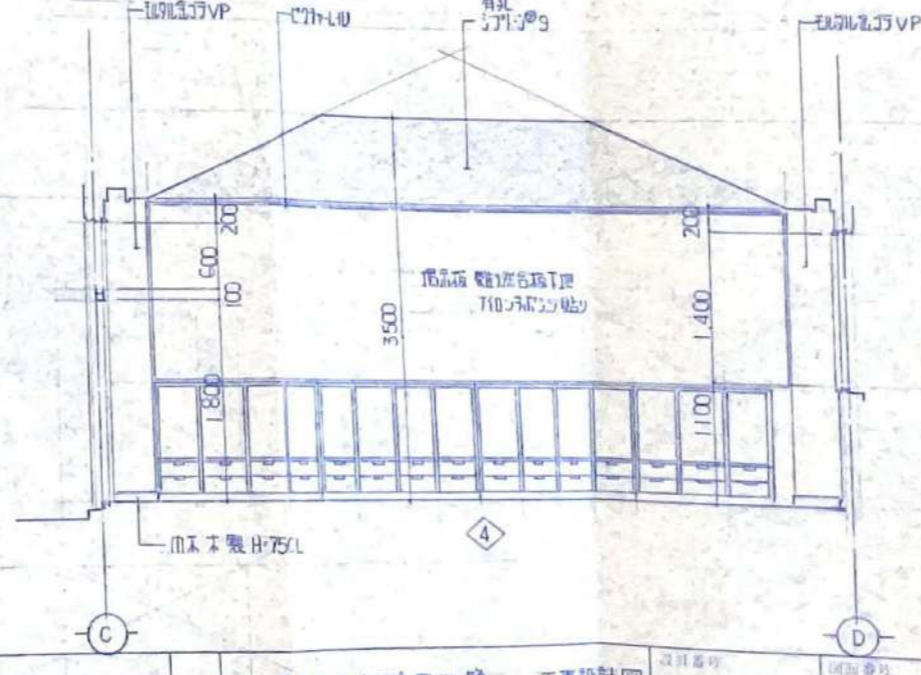
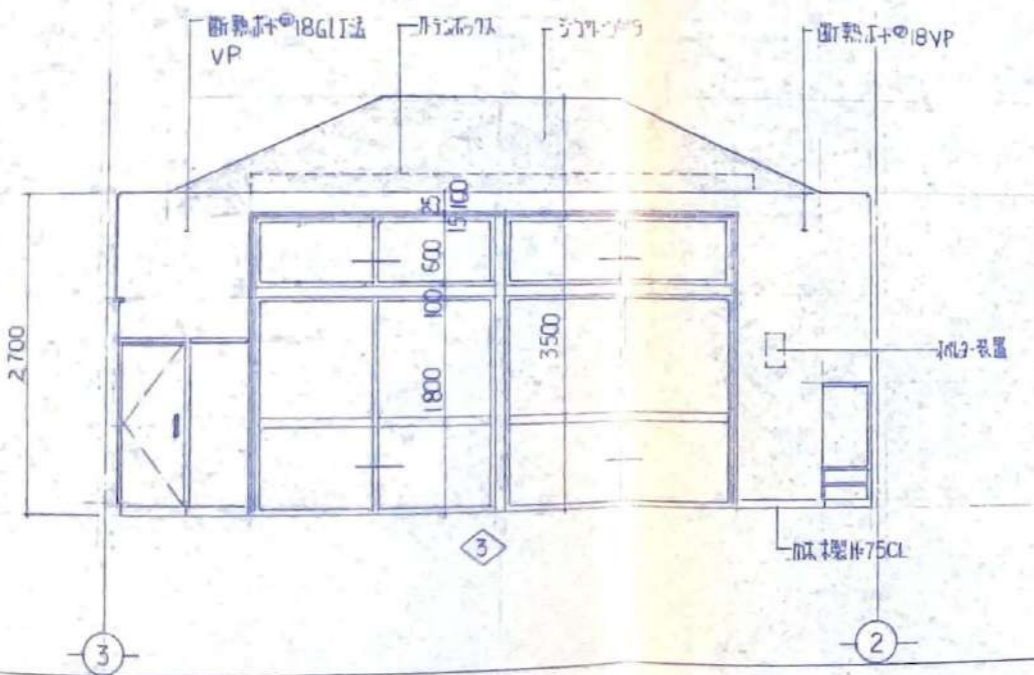
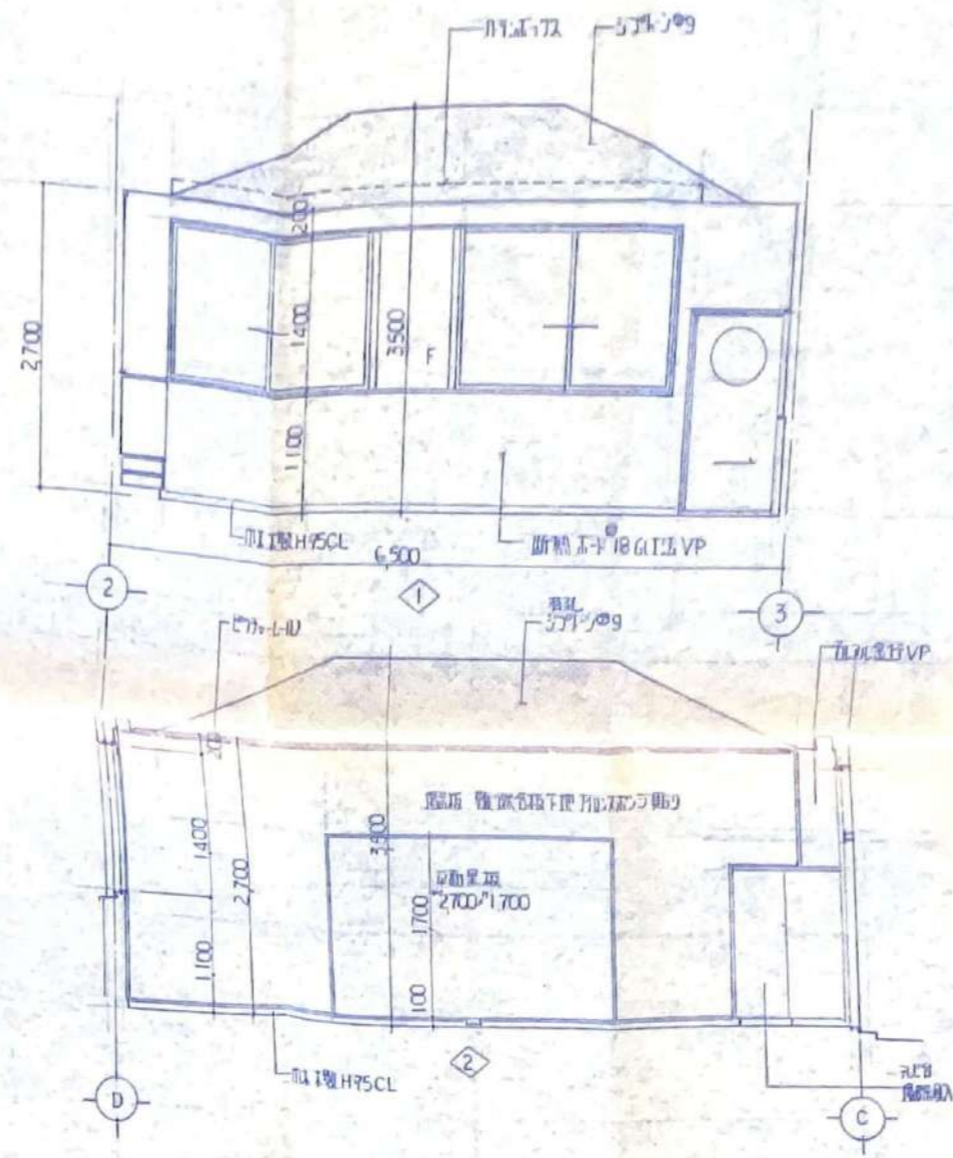
遊舎正面詳細図 S:1/50



藤岡町児童遊園改築		工事設計図	設計番号 8416	図面番号 47 / 15	株式会社 サンウラノ設計
			縮尺 1/50	図名 遊舎正面詳細図 S:1/50	
設計者	監理	建築士	構造士	測量士	

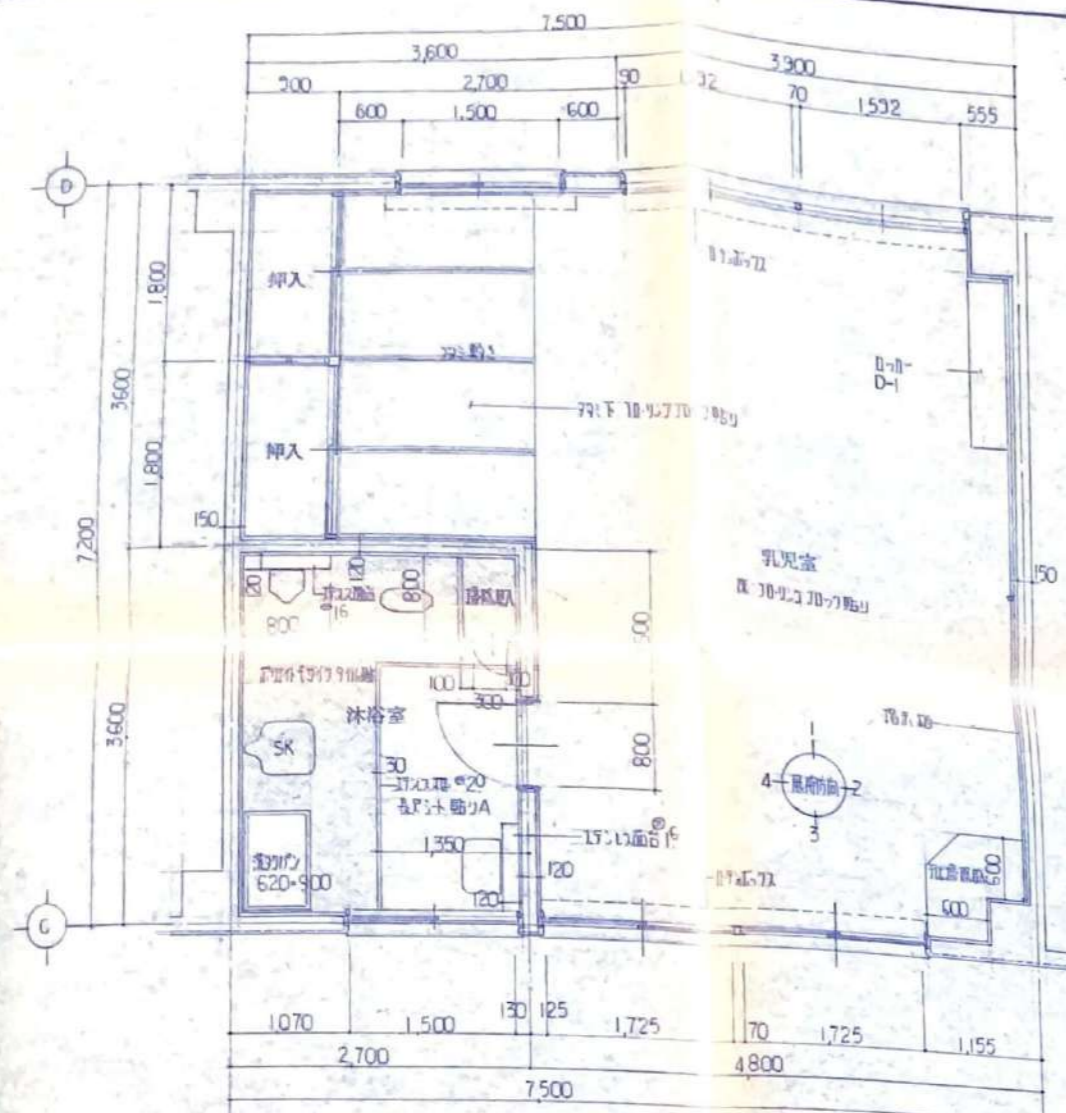


保育室平面詳細図 1/30



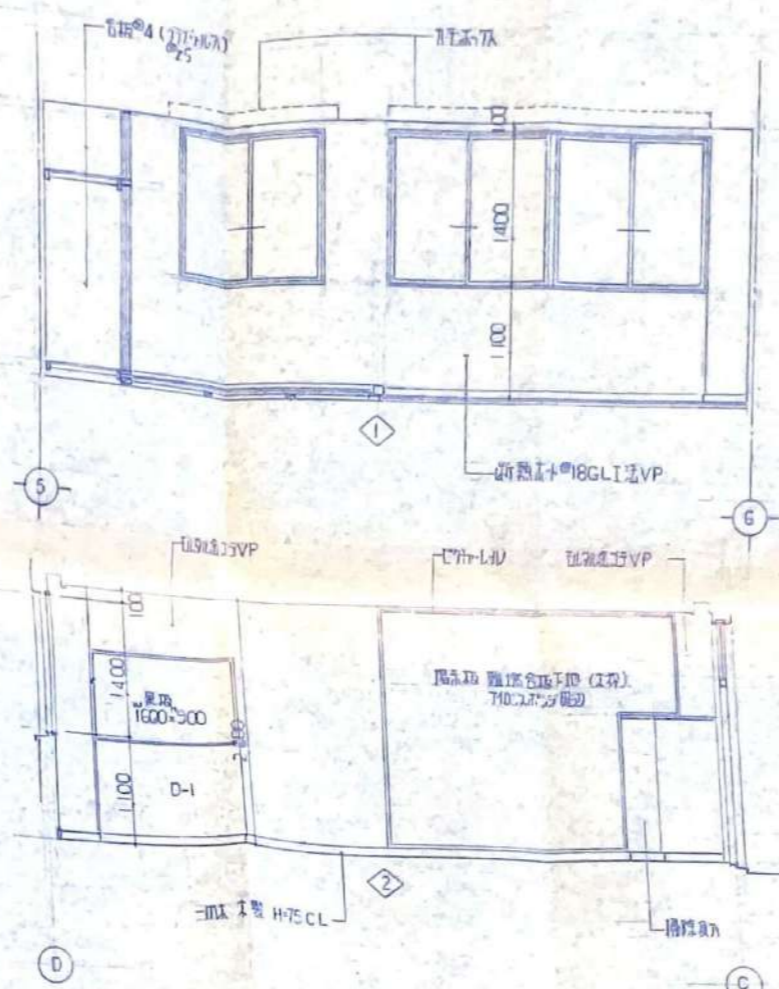
特記事項
 窓は保冷室として設置する。窓は保冷室のため、保冷室にはガラスを使用する。

藤岡町保育園改築 工事設計図 図号 16 1/50	設計番号 8416 図面番号 49	株式会社 サンウラボ設計 代表取締役 藤岡 浩 設計 藤岡 浩 監理 藤岡 浩
---------------------------------	----------------------	--

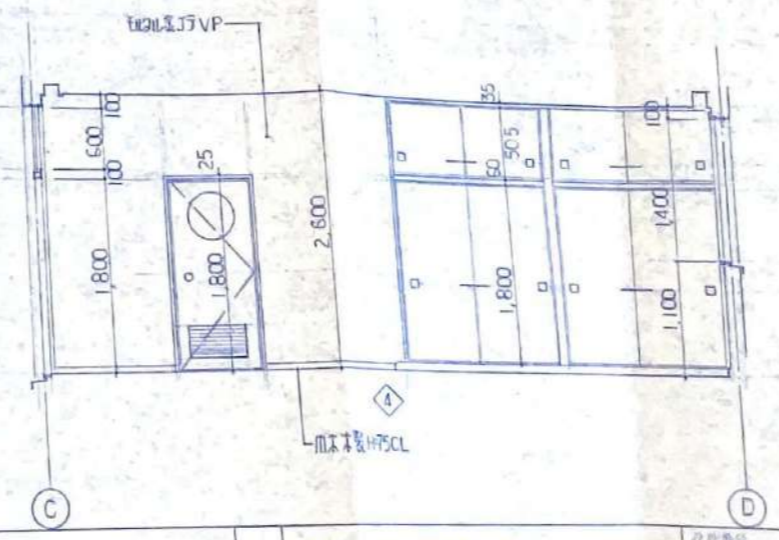
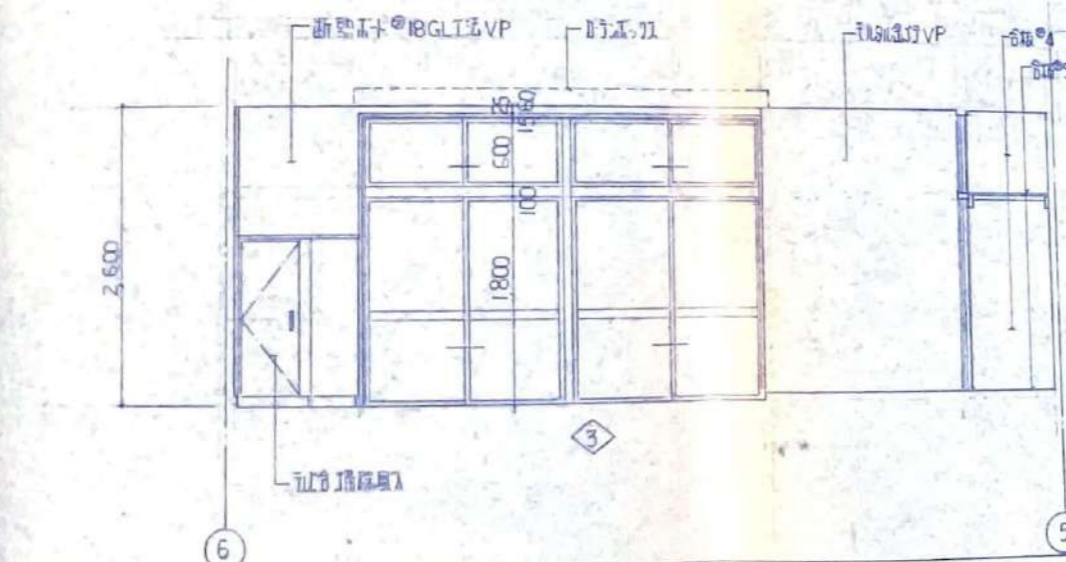
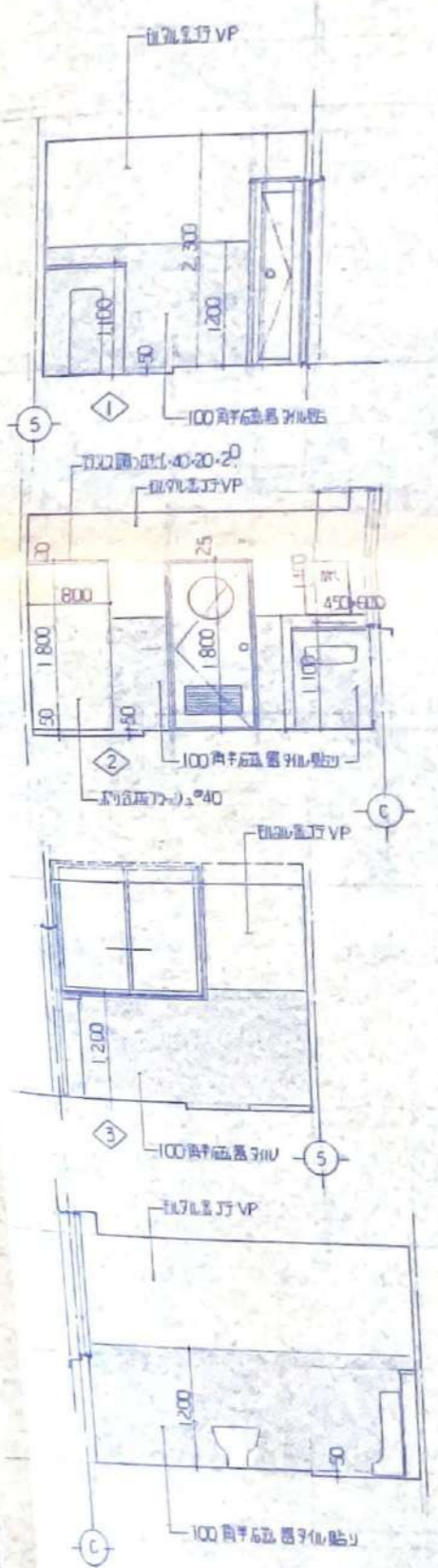


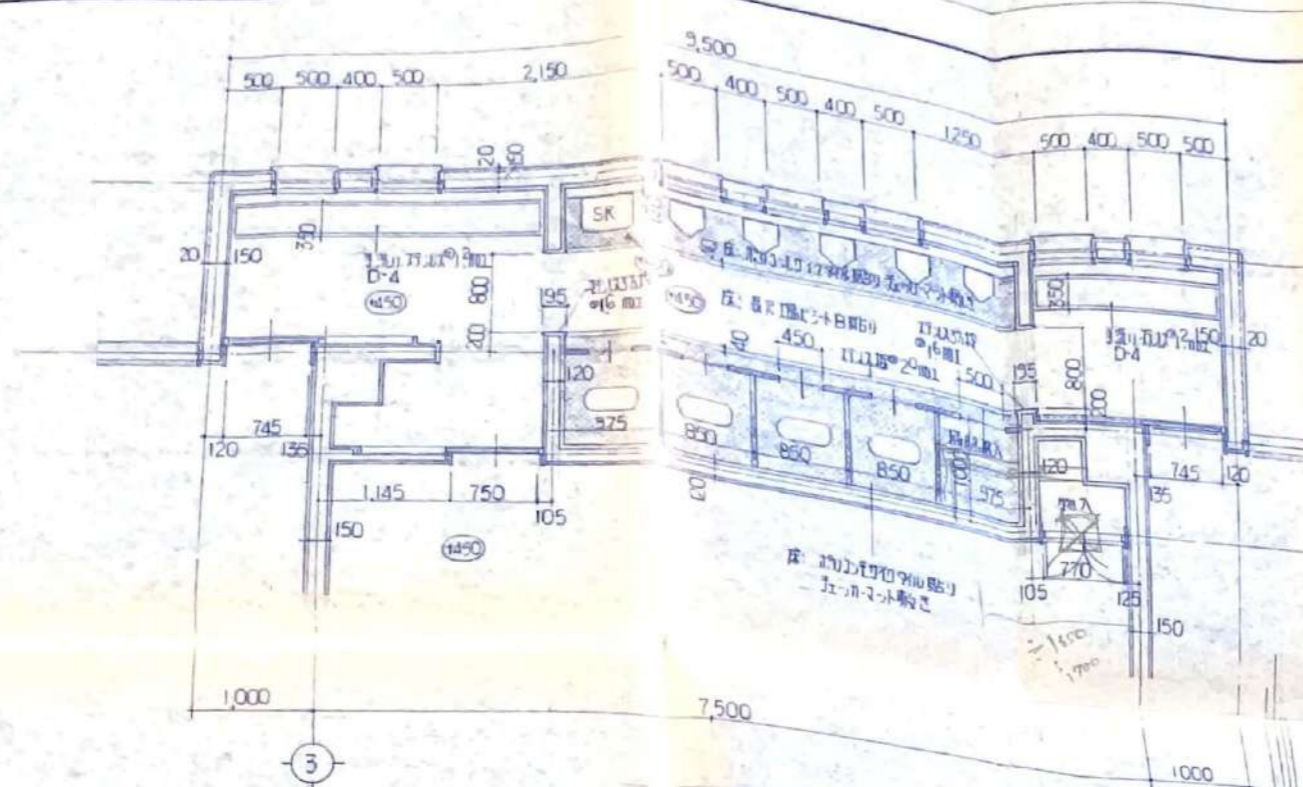
育児室 平面詳細図 1/50

育児室 展開図 1/50

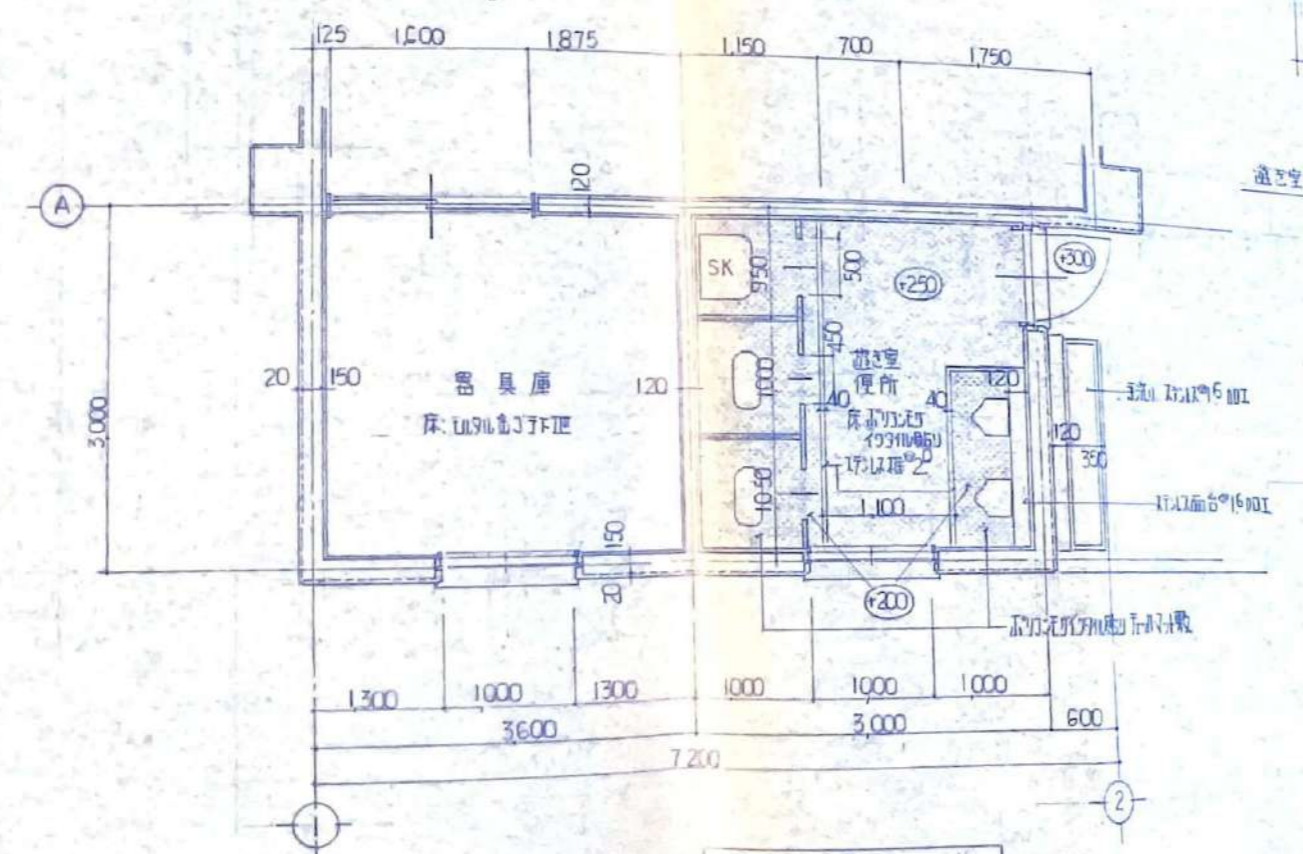


浴室 展開図 1/50

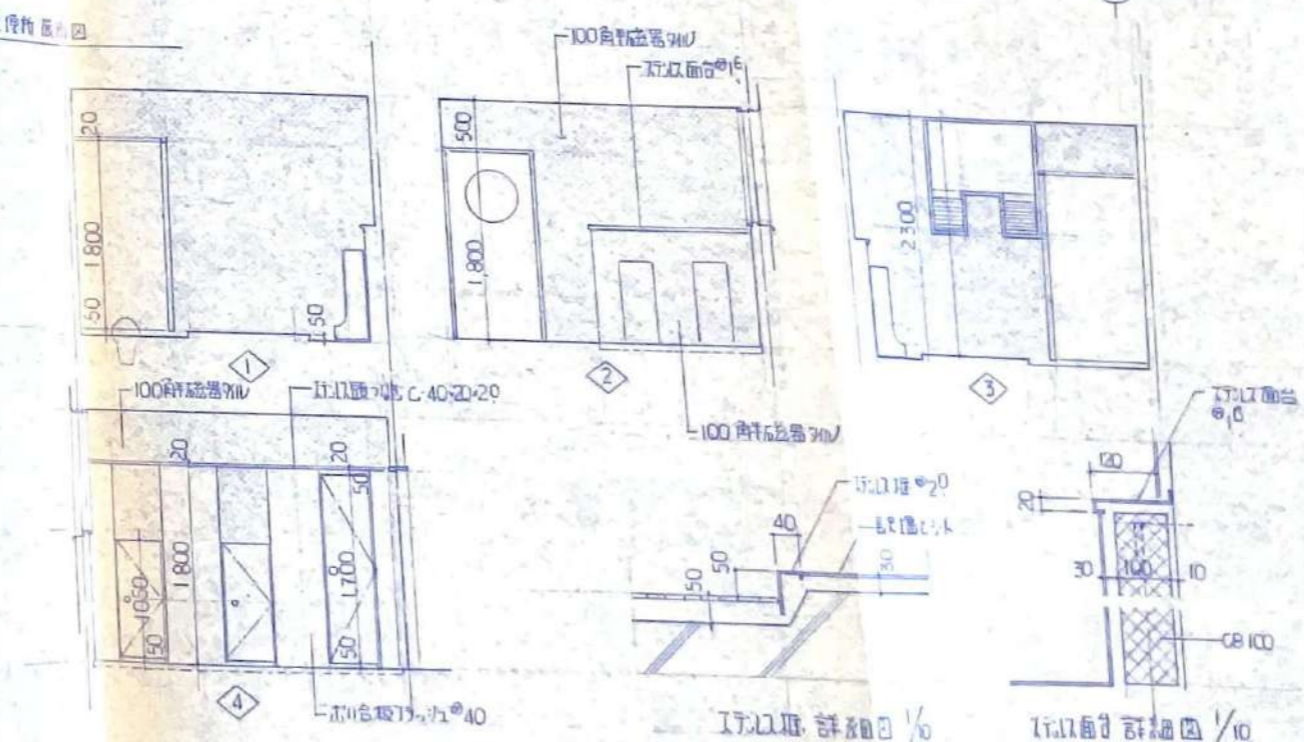
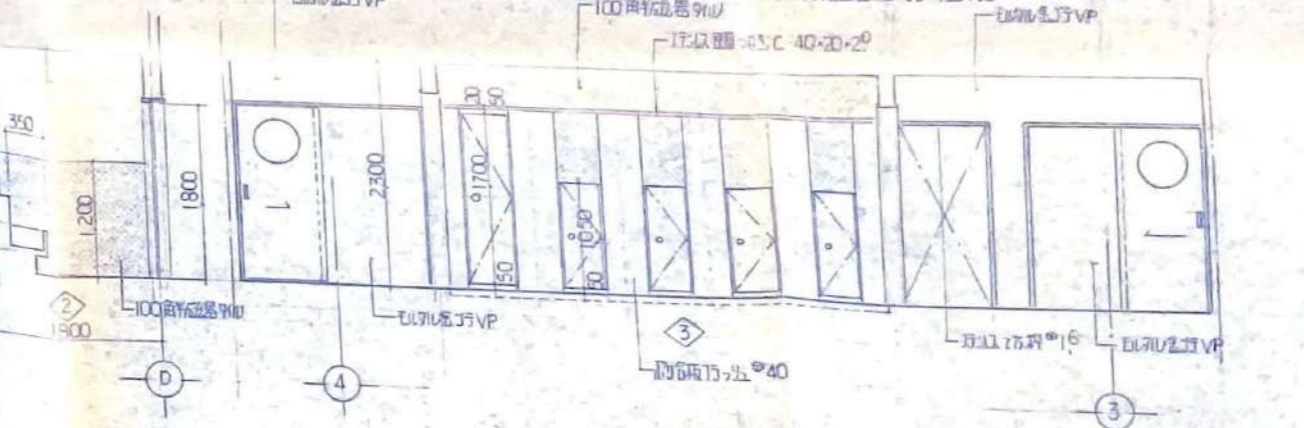
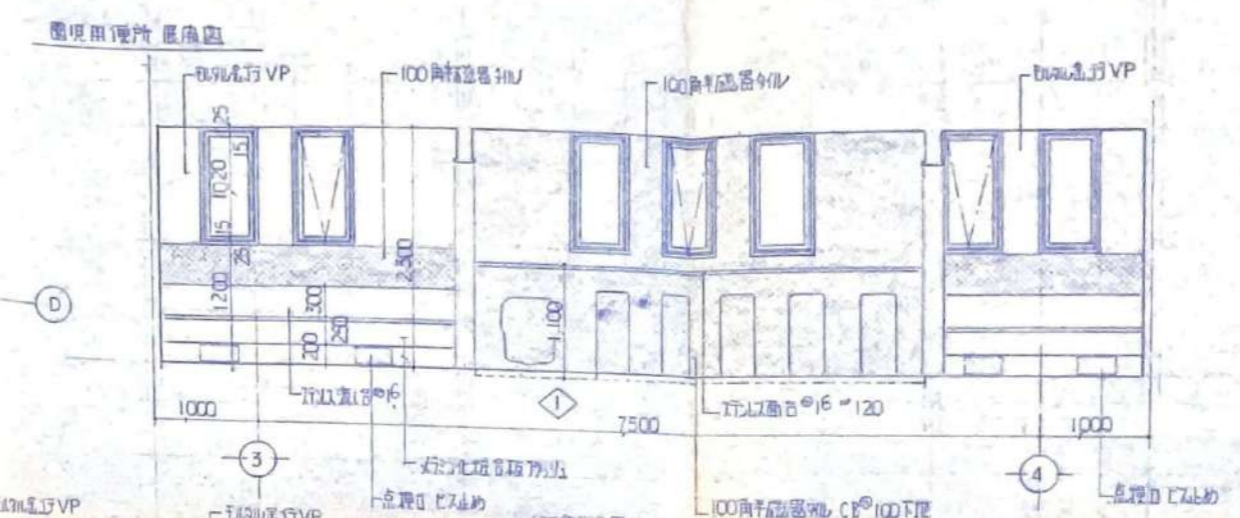




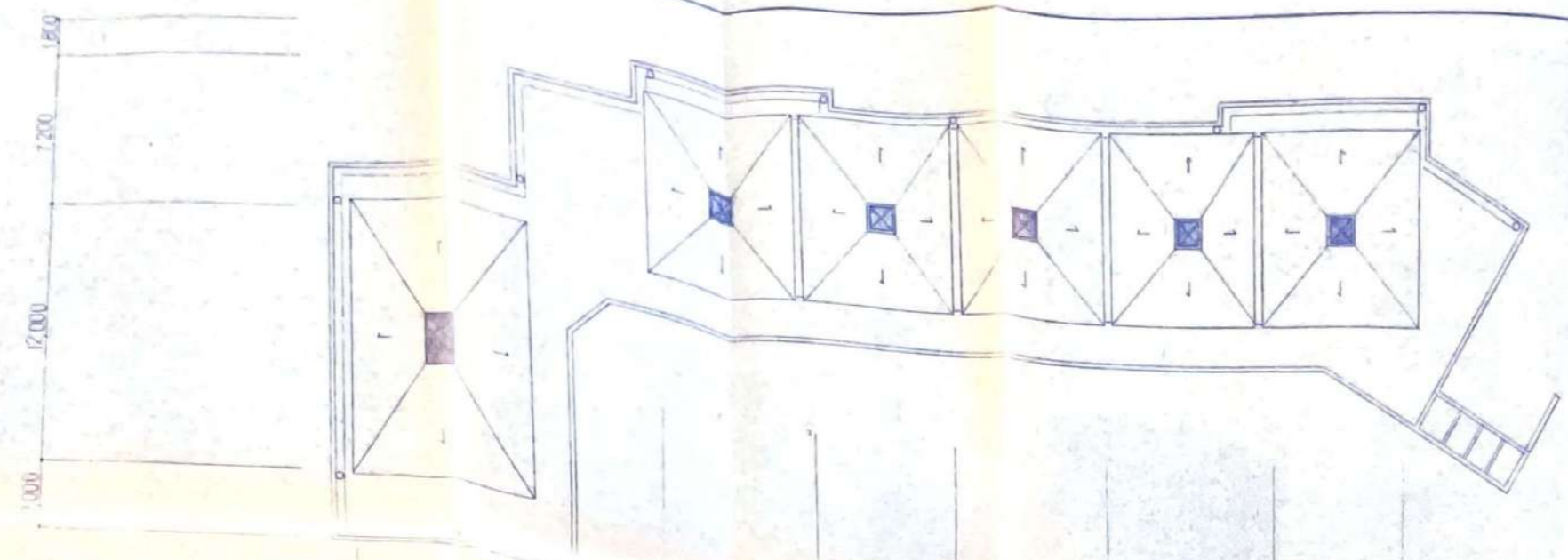
電用便所平面詳細図 1/50



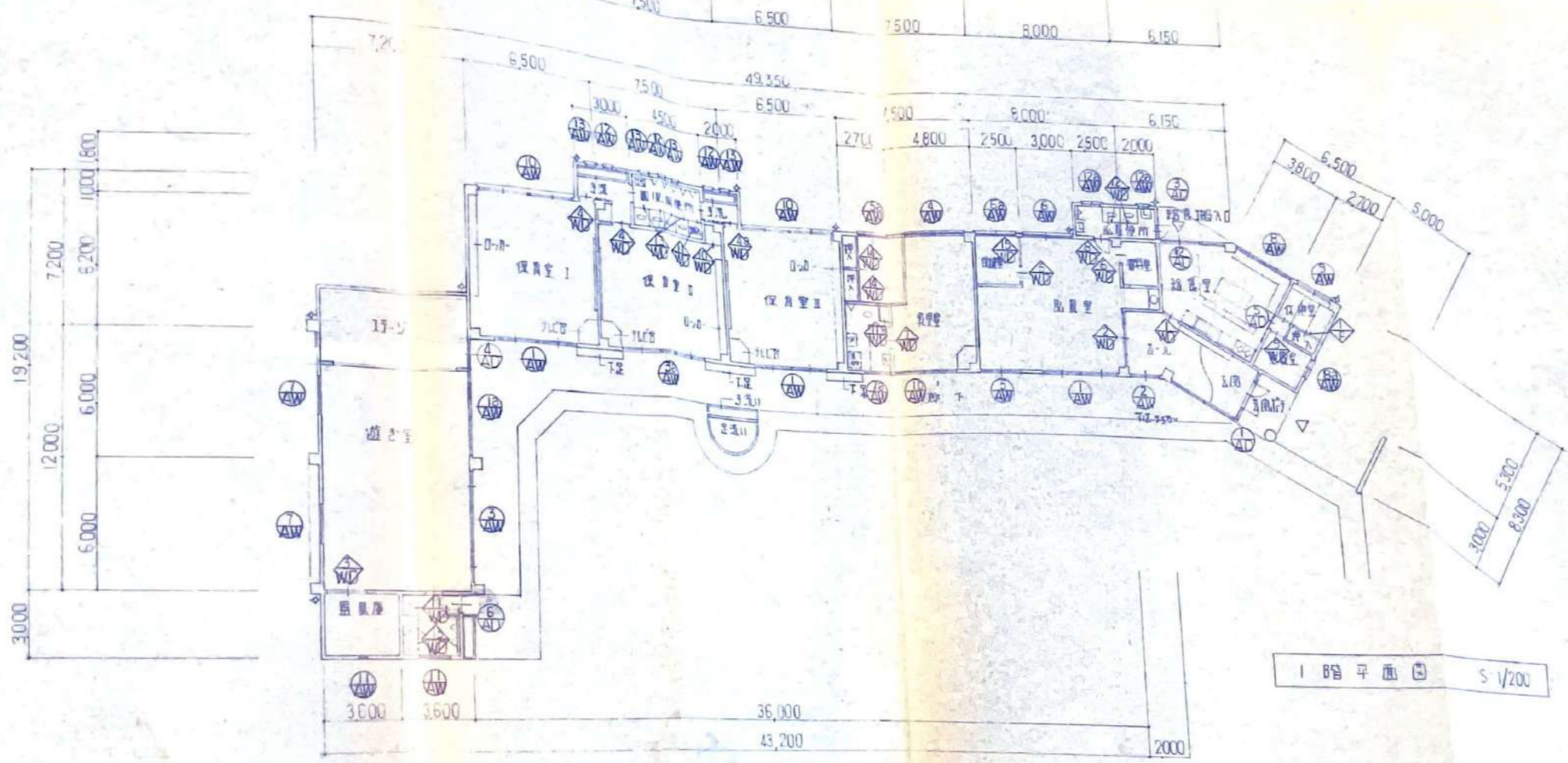
器具庫・便所詳細図 1/50



高岡市 衛生保健課 改築	工事設計図	図面番号 8415	図面番号 47 / 19	株式会社 サンウラノ設計
1/50	電用便所・器具庫	図面番号 1/50	図面番号 47 / 19	株式会社 サンウラノ設計



屋根仕図 S:1/200



1階平面図 S:1/200



秋岡町御作保育園改築 工事設計図 設計番号 8416 縮尺 1/200	(図面番号) 49 枚の内 21 図名 キー・プラン 平面図	株式会社 サンウラボ設計 建築士事務所 代表取締役 池田 洋一 登録番号 第2636号 建築士 池田 洋一
---	-----------------------------------	---

記号名称 AW	内開きアルミサッシ 洗面所	2重引き違いアルミサッシ 給浴室	内開きアルミサッシ 給浴室	AW AW AW ワンパワースタンド引き違いアルミサッシ 取浴室 備前室工直(給浴室) 給浴室	ZW ワンパワースタンド引き違いアルミサッシ ホール	AW AW ワンパワースタンド引き違いアルミサッシ 給浴室(備前室直)
形状						
所見込	1	70	1	3 (1) (1)	70	1 (1)
子装	ハコライオン68	型④ ガラス	型④ ガラス	エー・エー・エー ガラス	型④ ガラス	型④ ガラス
金物	プロテクトン フランス風し 脚取 リンダ・オベリ鏡	型④ ガラス	型④ ガラス	エー・エー・エー ガラス	型④ ガラス	型④ ガラス
金物	内開き用金物	型④ ガラス	型④ ガラス	エー・エー・エー ガラス	型④ ガラス	型④ ガラス
網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸
備考						

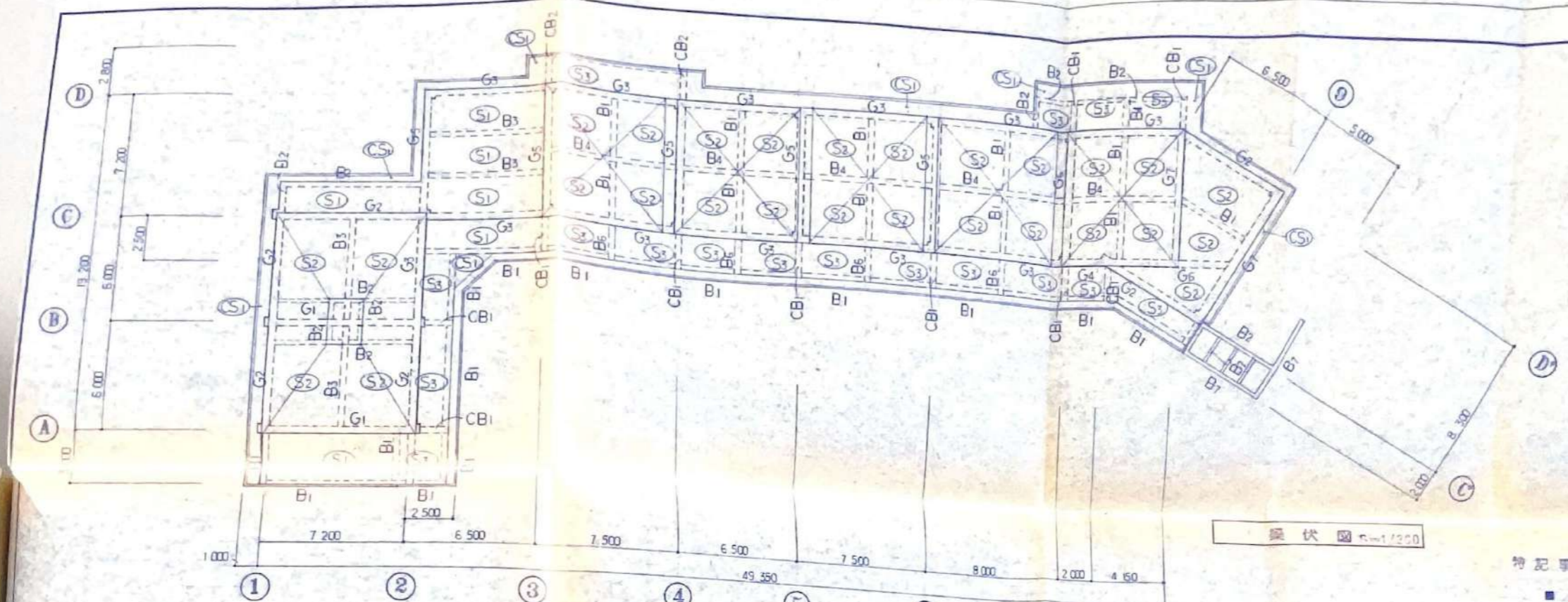
記号名称 AW	2重引き違いアルミサッシ 取浴室	AW AW 引き違いアルミサッシ 取浴室(備前室)	AW AW 引き違いアルミサッシ 取浴室(備前室)	AW AW 引き違いアルミサッシ 取浴室(備前室)	AW AW 引き違いアルミサッシ 取浴室(備前室)	AW AW 引き違いアルミサッシ 取浴室(備前室)
形状						
所見込	1	70	1 (1)	70	2 (1)	70
子装	ト-X4⑤	ト-X4⑤	ト-X4⑤	ト-X4⑤	ト-X4⑤	ト-X4⑤
金物	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス
金物	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸
網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸
備考						

記号名称 AW	引き違いアルミサッシ 洗面所	AW AW 内開きアルミサッシ 洗面所	AW AW 引き違いアルミサッシ 洗面所	AW AW 引き違いアルミサッシ 洗面所	AW AW 引き違いアルミサッシ 洗面所	AW AW 引き違いアルミサッシ 洗面所
形状						
所見込	2	70	3 (2)	70	4	70
子装	型④	型④	型④	型④	型④	型④
金物	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス
金物	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸
網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸	ステンレス網戸
備考						

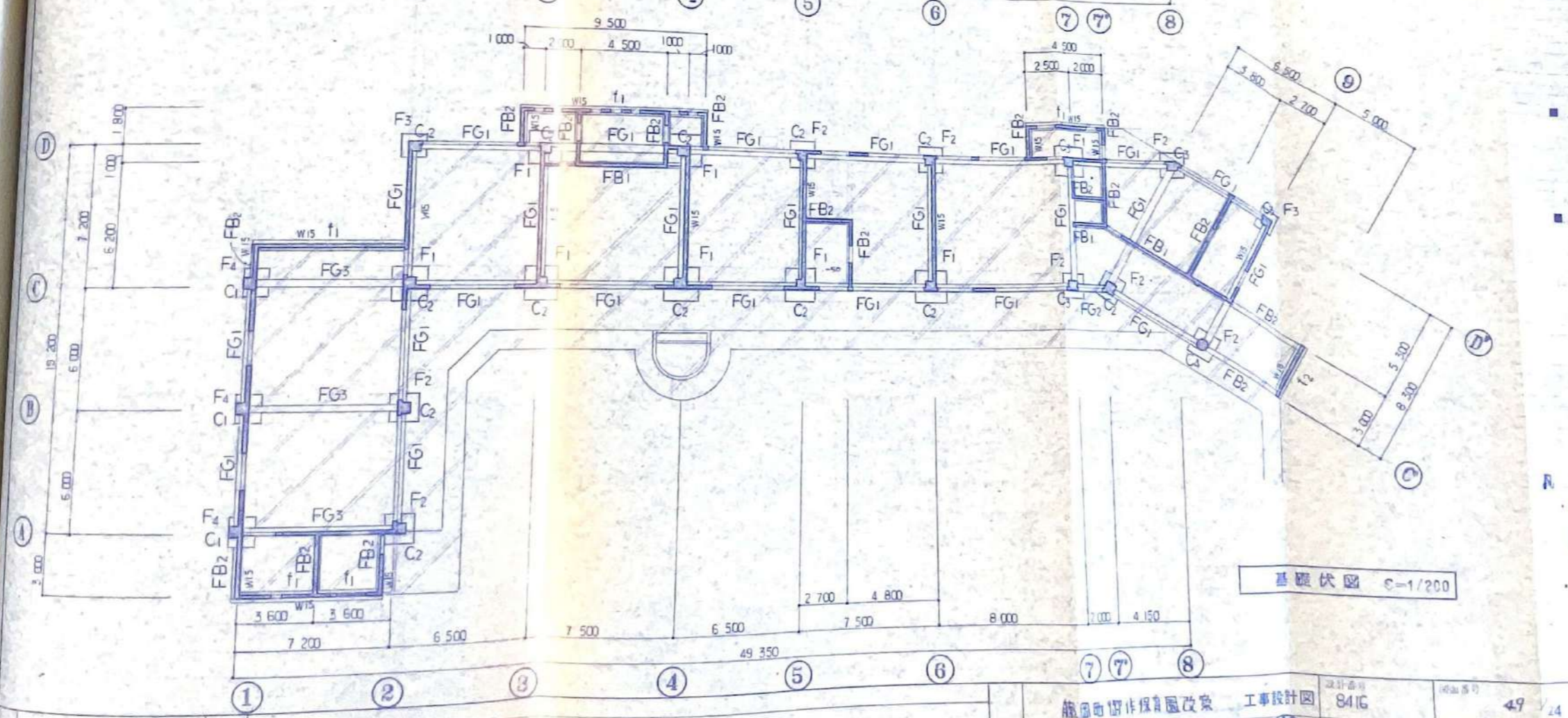
設計番号 8416 図面番号 49 枚の72 縮尺 1/100	図名 洗面所改修工事設計図 担当者 	株式会社 サンウラボ設計 一級建築士事務所 東京都港区 住吉1-1-1 電話 03-3461-1111

- 特記事項
1. 本図は現場にて高層階の上層階により承認を受けること。
 1. 建築金物は特記なき限り建築標準仕様とし、使用の箇所は、ステンレス網戸とし、見本品により決定する。
 1. アルミ網戸はアルミサッシ工・スチール網戸はステンレス網戸とする。
 1. 本図建築使用金物は、現場タイプ品とし、使用の箇所はタイプ1とする。

1. 内開き網戸は四方コーキングすること。
1. サッシは指定品より、標準品とし、出入口幅は、アルミサッシの仕様とする。
1. 特記なき限り、アルミサッシとあるは、両面ガラスとする。
1. 本図建築金物は、特記なき限り、とする。



梁伏図 1/200



基礎伏図 1/200

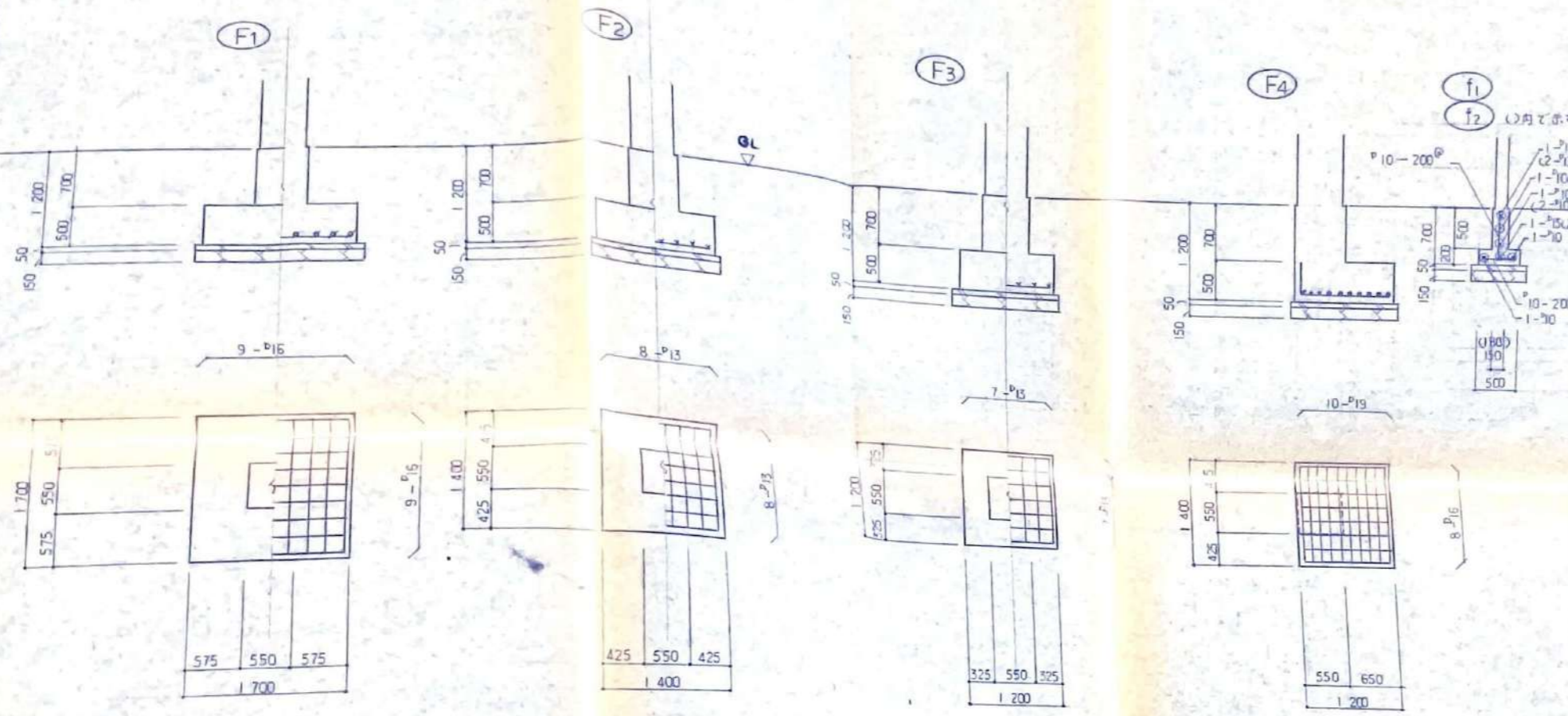
特記事項

- コンクリート
 - 躯体 $F_c = 210$ kg/cm^2 (設計強度)
 - 土間 $F_c = 180$
 - 枕 $F_c = 150$

- 鉄筋
 - SD 30 (JIS 規格品)

- 地耐力
 - 30 t/m^2

- 特記(特注) 壁は W12 と T3.
- 土間コンクリート 120 厚 (10-200^φ 99.00 以下)
- 材料の寸法、取揃、入換部等は 3-13 の仕様書参照。



基礎配筋図 S-1/50

梁リスト S-1/30

梁号	W12	W15	W18
断面	120	150	180
配筋	タテ P10-200 (S) ヨコ P10-200 (S)	P10-200 (中央) P10-200 (中央)	P10-200 (中央) P10-200 (中央)
補強筋	タテ 2-P13 ヨコ 2-P13	2-P16 2-P16	2-P16 2-P16
符号			CB10
標準			100
断面			
配筋	タテ ヨコ		P10-400 P10-400
補強筋	タテ ヨコ		1-P13 1-P13

地中梁リスト S-1/50

梁号	FG1		FG2	FG3		FB1	FB2
	両端部	中央	両端部、中央	①端部	中央 ②端部	両端部、中央	両端部、中央
断面							
寸法 B x D	350 x 1000		350 x 1000	350 x 1000		300 x 700	300 x 500
上筋筋	3-P19	3-P19	4-P19	5-P19	3-P19 3-P19	3-P19	3-P19
中筋筋	4-P10		4-P10	5-P19	3-P19	3-P19	3-P19
下筋筋	3-P19	4-P19	4-P19	5-P19	3-P19	3-P19	3-P19
スターラップ	P10-150		P13-200	P13-150		P10-200	P10-200

スラブリスト

梁号	固定	厚	目録	短辺方向 (主筋)			長辺方向 (配筋)		
				端部	中央	中央	端部	中央	端部
S1	4	130	上筋筋 P15,10-200 下筋筋 P10-400	P10-400	P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	
S2	4	130	上筋筋 P15,10-200 下筋筋 P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	
S3	4	130	上筋筋 P15,10-200 下筋筋 P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	
CS1	1	150	上筋筋 P13-200 下筋筋 P15,10-200	P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	P10-200	

柱リスト S-1/50

柱種	C1	C2	C3	C4
断面				
寸法 BxD	550 x 550			550 x
上部	10-P22	12-P22	15-P22	12-P22
下部	13-100 [◎]			

共通事項 柱径筋 P10-500[◎]

梁リスト S-1/50

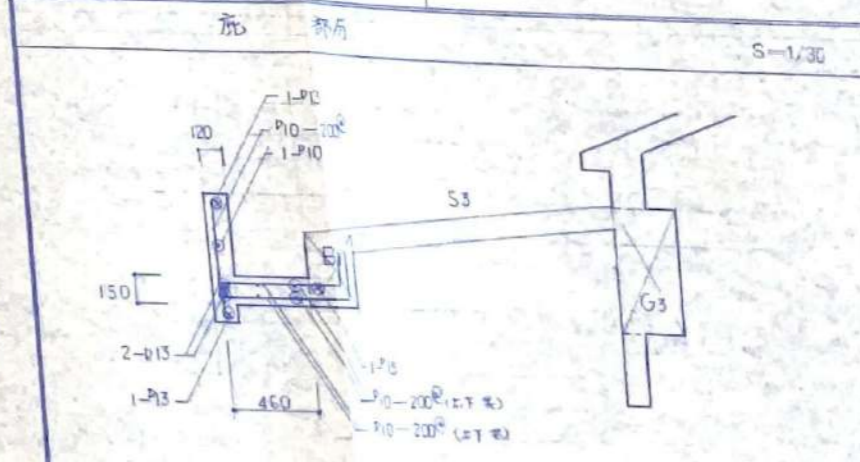
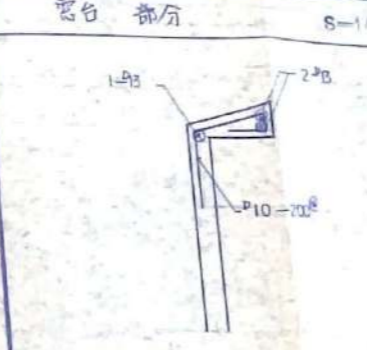
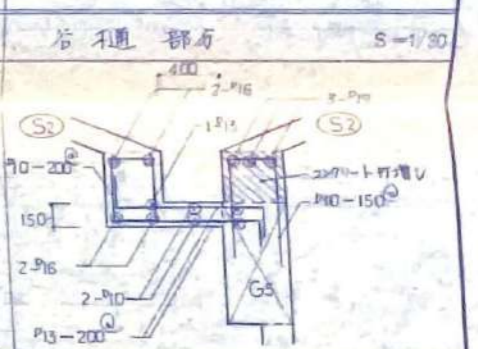
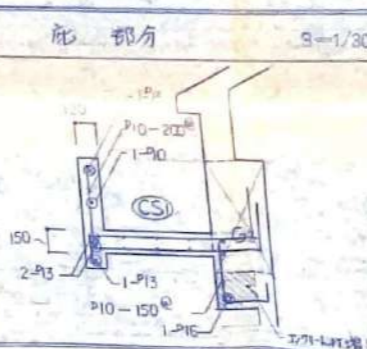
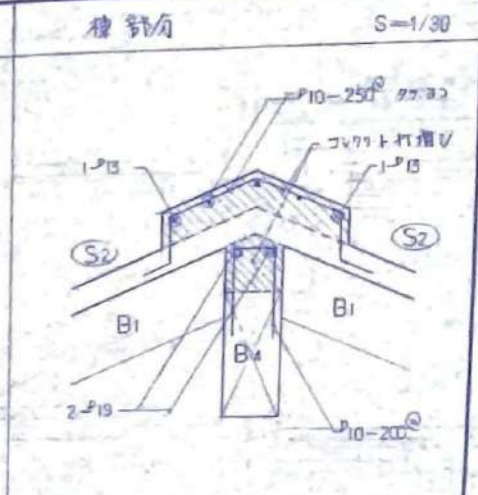
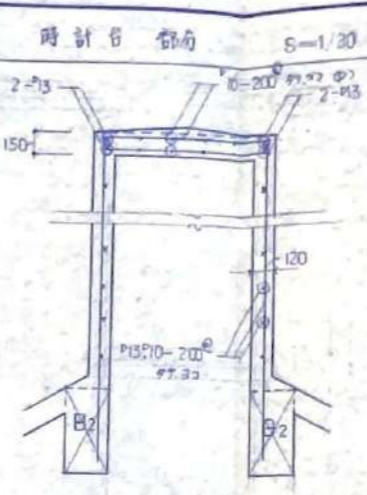
位置	G1			G2			G3		G4		G5		G6		G7	
	両端部	中央	外端部	中央	内端部	両端部	中央	両端部	中央	両端部	中央	両端部	中央	両端部	中央	
断面																
寸法 BxD	350 x 700															
上部筋	4-P19	3-P19	4-P19	3-P19	5-P19	5-P19	3-P19	5-P19	3-P19	3-P22	4-P22	3-P22	4-P22	3-P22	3-P22	
中部筋	2-P10		2-P10		4-P13	2-P10		2-P10		2-P10		2-P10		2-P10		
下部筋	3-P19	5-P19	3-P19	4-P19	3-P19	4-P19	4-P19	4-P19	3-P19	3-P22	3-P22	5-P22	3-P22	5-P22	3-P22	
スラーブ	P10-150 [◎]															

共通事項 柱止め筋 P10-1000[◎]

小梁リスト S-1/50

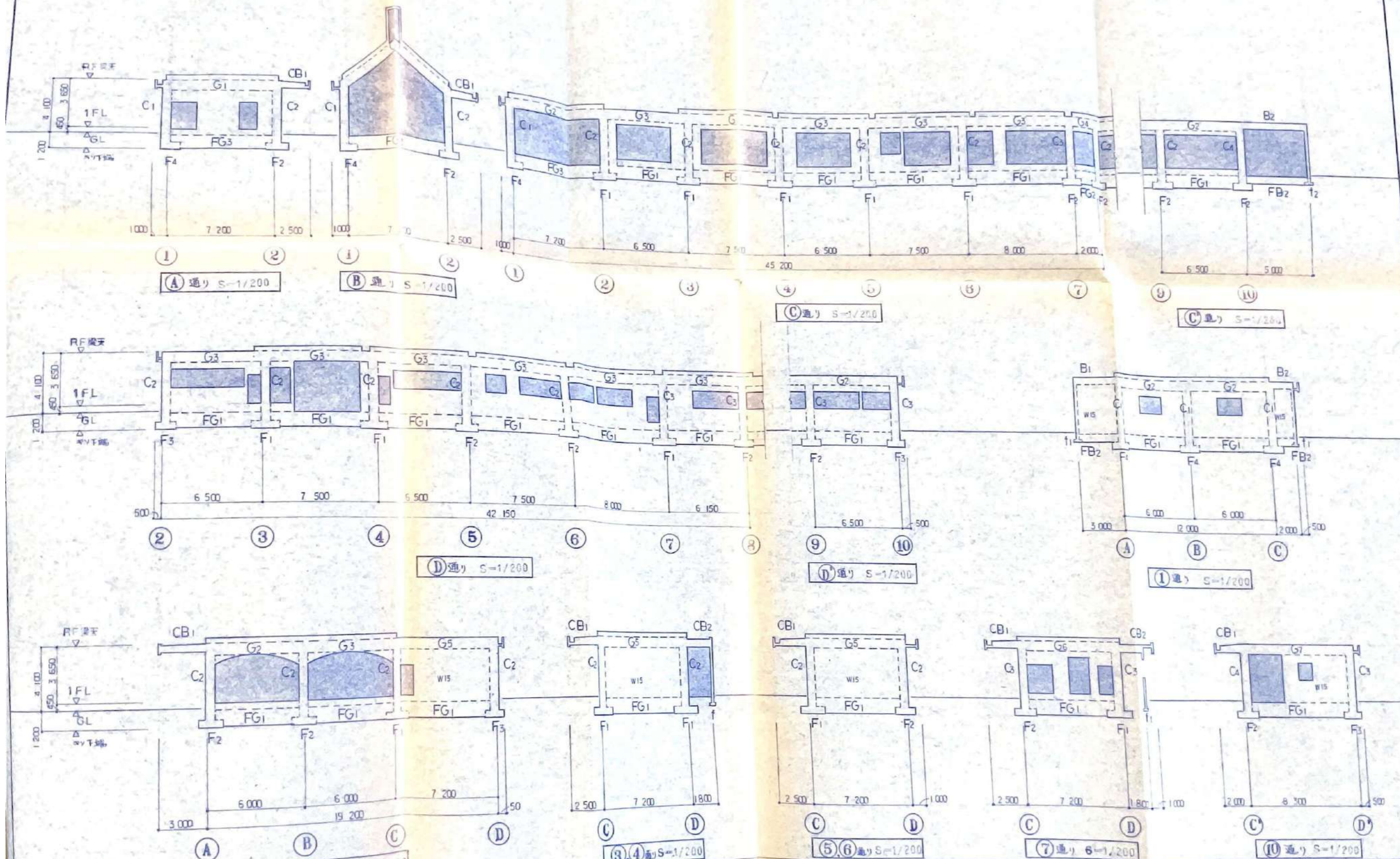
位置	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	CB1	CB2	
	両端部、中央	両端部、中央	両端部、中央	両端部、中央	両端部、中央	両端部、中央	両端部、中央	両端部、中央	両端部、中央	
断面										
寸法 BxD	300 x 500	250 x 500	300 x 600	300 x 700	300 x 400	400 x 600-500	180 x 550	350 x 600-500	300 x 600	
上部筋	3-P19	2-P19	3-P19	3-P19	3-P19	5-P19	2-P19	6-P22	4-P22	
中部筋			2-P10	2-P10			2-P10	2-P10	2-P10	
下部筋	3-P19	2-P19	2-P19	4-P19	6-P19	3-P19	5-P19	4-P22	4-P22	
スラーブ	P10-200 [◎]									

共通事項 柱止め筋 P10-1000[◎]



特記事項

特記事項は W2とT3.



特記事項	藤岡町 雑作 保良園 改築	工事設計図	8416	49 / 27	株式会社 サンウラボ設計
			S=1/200	輪組	

筋コンクリート構造配筋基準図 (1)

基準図目次

- 配筋基準図 (1)
- 1 基準図目次
 - 2 特記事項
 - 3 共通事項
 - 4 鉄筋の末端部及び中間部の折曲げ
 - 5 鉄筋の継手及び定着の長さ
 - 6 主筋の相互のあきと隣接継手の位置
- 配筋基準図 (2)
- 7 鉄筋の最小かぶり厚さ
 - 8 基礎及び基礎ばり
 - 9 柱
 - 10 帯筋
- 配筋基準図 (3)
- 11 大ばり
 - 12 あばら筋
 - 13 小ばり、片持ちばり及び段違いばり
- 配筋基準図 (4)
- 14 スラブ
 - 15 壁
 - 16 階梁
- 配筋基準図 (5)
- 17 補強
 - 18 雑配筋要領 (A~E)
- 配筋基準図 (6)
- 19 雑配筋要領 (F~J)
 - 20 コンクリートブロック間仕切壁
 - 21 ガス圧接、アーク溶接継手

特記事項

3 共通事項

A 適用範囲

この配筋基準図は特記のない場合に適用する。

B 凡例

記号

- d.....鉄筋の直径 (異形鉄筋では呼び名に用いた数値、丸鋼では径)
- h₀.....柱の内のり高さ。
- l₀.....有効スパン。
- L₁.....継手及びL₂を除く定着長さ (壁は特記による)
- L₂.....異形鉄筋で割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ。
- L₃.....小ばり及びスラブの下端筋の定着長さ (基礎耐圧版、これを受ける小ばりなどは除く)
-継手位置を示す。
-余長を示す。

C 鉄筋の表示

1 鉄筋の表示記号

表示記号	●	×	◎	○	⊙	⊗	⊕	
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ

- (1) この配筋基準図は主に異形鉄筋で表示してあるが、特記で丸鋼と指定されている場合は、その径を上表鉄筋係数欄該当の径に読み替えるものとする。
- (2) 上記の表示記号を使用しない場合は特記による。
- (3) 上記の表示記号は、この配筋基準図には適用しない。

2 鉄筋の表示方式

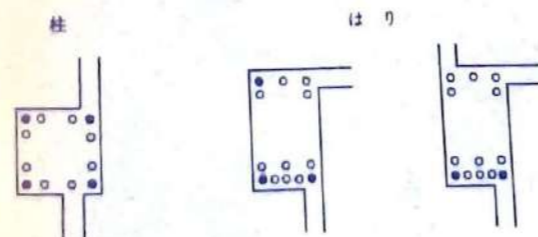
表示方式	備考	例
n-Dd	n:本数 D,d:呼び名	3-D16
Dd-@l	D,d:呼び名 @:間隔 l:距離	D10-@200
n-dφ	n:本数 d:直径 φ:丸鋼	3-16φ
dφ-@l	d:直径 φ:丸鋼 @:間隔 l:距離	9φ-@250

4 鉄筋の末端部及び中間部

A 末端部

下記の末端部にフックをつける。

- 1 丸鋼
- 2 異形鉄筋
 - (1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合。
 - (2) はり主筋の重ね継手が、はりの出隅及び下端の外側(下図の●)にある場合。ただし、基礎ばりを除く。



- (3) 衝突の鉄筋。
- (4) 帯筋、あばら筋及び隅止め筋。
- (5) 基礎ばりの支持端及び片持ちばり、片持ちスラブの上端筋の先端。
- (6) くい基礎の基礎筋。

末端部の折曲げの形状

曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所
		SR24 SRR24 SD24 SDR24	SD30 SD35	SD40	
180°		D 34以上	46以上	54以上	柱、はりの主筋及び16mm以下を兼ねる以上の鉄筋
135°		D 34以上	46以上	54以上	12mm以下の鉄筋、並びにあばら筋、帯筋、スプライン鋼管びスラブ筋
		I 114以上	124以上	144以上	
90°		D 34以上	46以上	—	T形及びL形はりのあばら筋
		I 124以上	144以上	—	
135° 90°		D 34以上	46以上	—	隅止の筋
		I 84以上	84以上	—	

- (注) 1 Dは曲げ内法寸法
2 L₁はフック部分の長さ

B 中間部

中間部の折曲げの形状

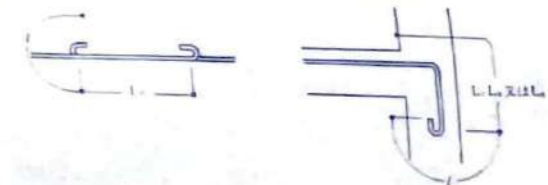
曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所
		SR24, SD24, SRR24, SDR24	SD30, SD35	SD40	
90° 以下		D 34以上	46以上	—	あばら筋、帯筋、スプライン鋼
		D 54以上	54以上	—	16mm以下のスラブ筋、帯筋
		D 64以上	64以上	—	上記以外の鉄筋で、丸鋼は28mm以下、異形鉄筋はD25以下
		D 84以上	84以上	—	上記以外の鉄筋で、丸鋼は32mm以下、異形鉄筋はD29以下
D 104以上	104以上	—	異形鉄筋 D51		

5 鉄筋の継手及び定着の長さ

A F₀ ≧ 210 (kg/cm²) の場合

鉄筋の種別	設計基準強度 F ₀ (kg/cm ²)	フックなし			フックあり		
		L ₁	L ₂	L ₃ 小ばりスラブ	L ₁	L ₂	L ₃ 小ばりスラブ
SR24 SRR24	210以上	—	—	—	35d	35d	25d 150mm
SD24 SDR24	210以上	30d	25d	25d 10dかつ150mm以上	20d	15d	15d
SD30 SD35	210以上	40d	35d	25d 10dかつ150mm以上	30d	25d	15d
SD40	210以上	45d	40d	25d 10dかつ150mm以上	35d	30d	15d

- (注) 1 L₁: 継手並びに下記2.及び3.以外の定着長さ。
2 L₂: 異形鉄筋で、割裂破壊のおそれのない箇所の定着長さ。
3 L₃: 小ばり及びスラブの下端筋の定着長さ。ただし、基礎耐圧版これを受ける小ばりなどは除く。
4 フックなしの場合のL₁, L₂, L₃には、図に示すようにフックを付すこととなる。



B F₀ < 180 (kg/cm²) の場合

鉄筋の種別	設計基準強度 F ₀ (kg/cm ²)	フックなし			フックあり		
		L ₁	L ₂	L ₃ 小ばりスラブ	L ₁	L ₂	L ₃ 小ばりスラブ
SR24 SRR24	180以上	—	—	—	40d	40d	25d 150mm
SD24 SDR24	180以上	35d	30d	25d 10dかつ150mm以上	25d	20d	15d
SD30 SD35	180以上	45d	40d	25d 10dかつ150mm以上	35d	30d	15d

(注) F₀ < 210 (kg/cm²) の場合の注による。

株式会社リンクラ設計
1978
製図 井 検図
浦野 勉
一級建築士事務所

鉄筋コンクリート構造配筋基準図 (2)

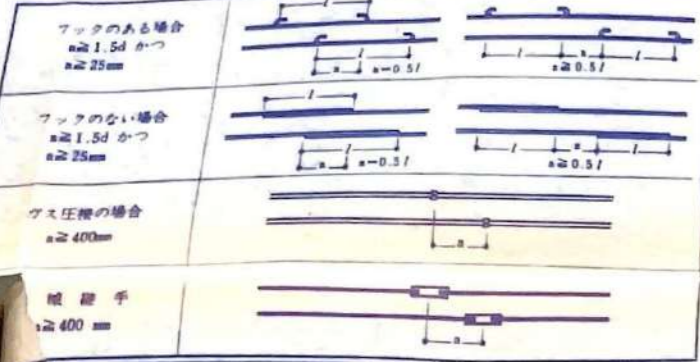
6 主筋の相互のあきと隣接継手の位置

A 主筋の相互のあき

鉄筋のあきの最小値		あき
異形鉄筋		公称直径の1.7倍 粗骨材最大寸法の1.25倍 25mm
丸筋		鉄筋径の1.5倍 粗骨材最大寸法の1.25倍 25mm

鉄筋のあきは上表中最大のもの以上とする。

B 主筋の隣接継手の位置

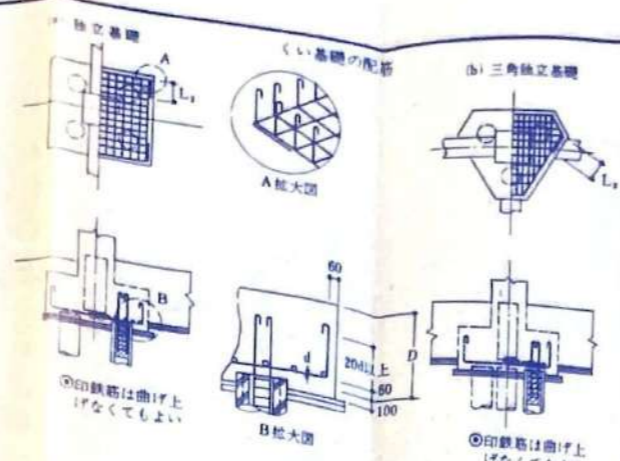
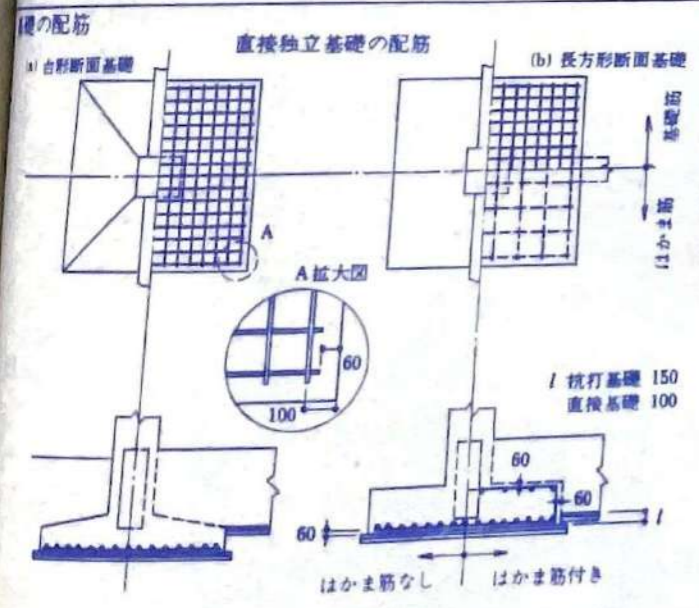


7 鉄筋の最小かぶり厚さ

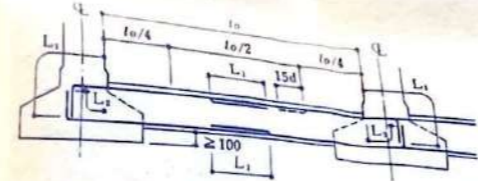
構造部分の種類	すべてのコンクリート			
	仕上げあり	仕上げなし		
土に接しない部分	床スラブ、壁スラブ、耐力壁以外の壁	20 (20)		
	柱、はり	内	30 (30)	
		外	仕上げあり	30 (30)
			仕上げなし	30 (30)
土に接する部分	基礎、擁壁	40 (40)		
	柱、はり、床スラブ、耐力壁	40 (50)		
	基礎、擁壁、耐力スラブ	60 (70)		
煙突などで高熱を受ける部分		60		

- 1 数量コンクリートの場合は()内の数値による。
- 2 仕上げありとは、モルタル塗りなどの仕上げのあるものとし、吹付塗装などの鉄筋の耐力上有効でない仕上げのものを除く。
- 3 床スラブ、はり、基礎及び擁壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
- 4 くい基礎の場合のかぶり厚さは、くい天端からとする。

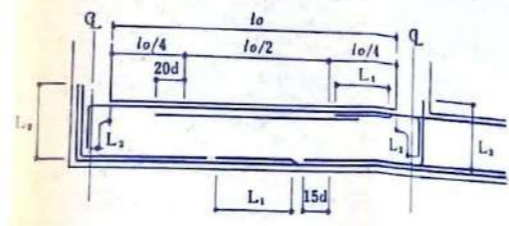
8 基礎及び基礎ばり



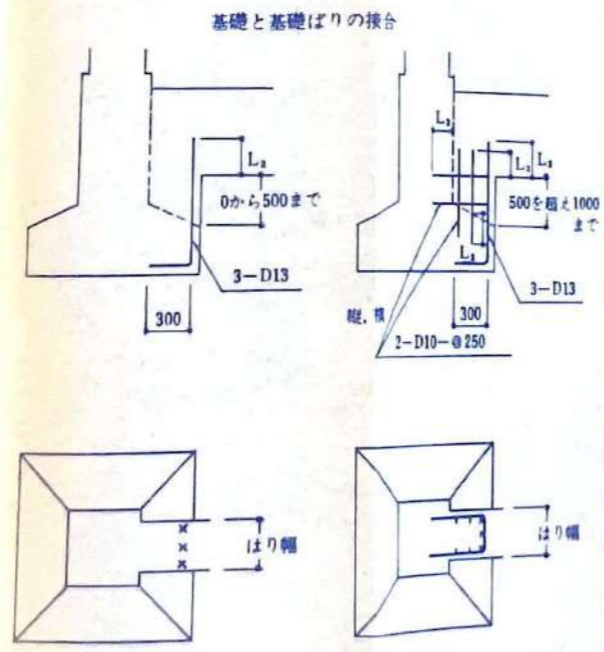
- ### B 基礎ばり筋の継手及び定着
- 1 一般事項
 - 1) 独立基礎で基礎ばりに床スラブがつく場合、及び下図2・3で図示のない事項は、大ばりの項による。
 - 2) 上端主筋の定着はやむを得ない場合、上向きとすることができる。
 - 2 異形鉄筋で独立基礎の場合



3 異形鉄筋で連続基礎及びべた基礎の場合

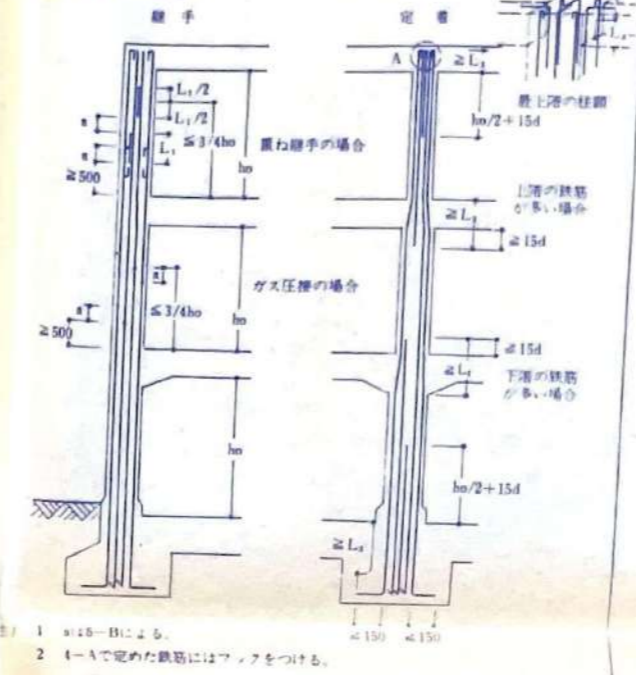


C 基礎接合部の補強

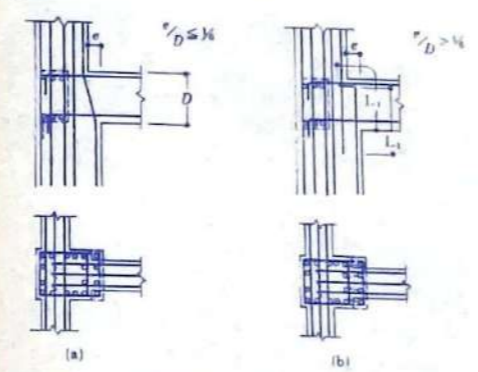


9 柱

A 柱筋の継手及び定着



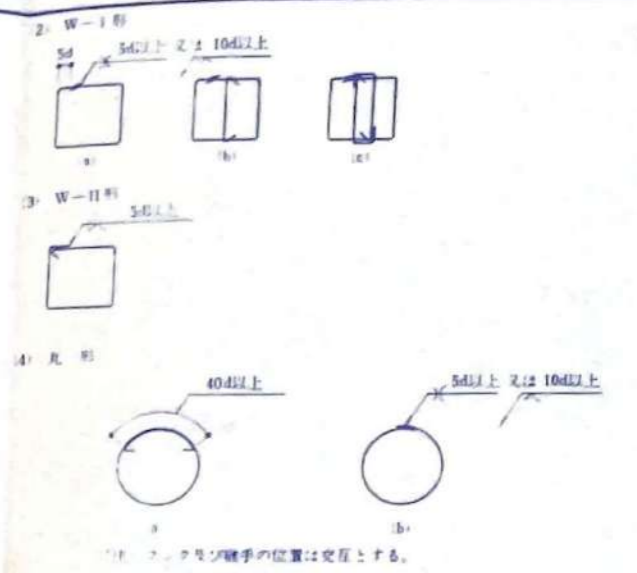
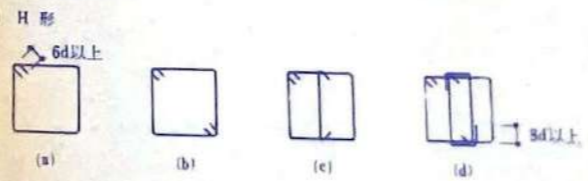
B 柱筋の絞り



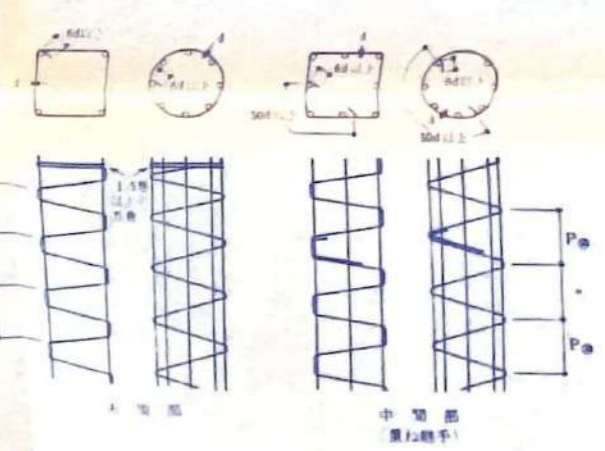
10 帯筋

A 形状

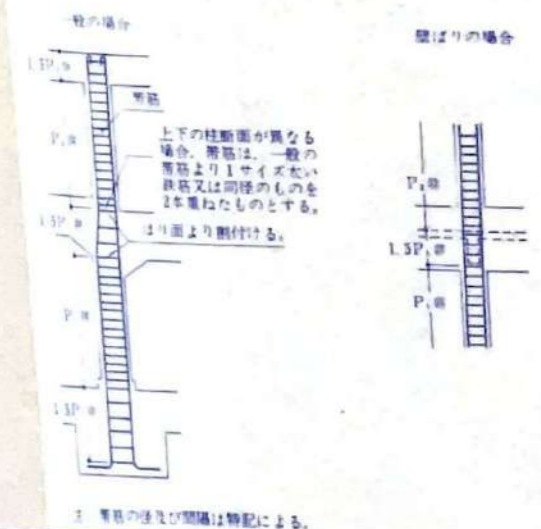
- 帯筋組立ての形は、下図とし、種別は特記による。ただし特記がなければ下記による。
- 1 H形とする。
 - 2 H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。
 - 3 更に、W-1形が困難な箇所は、監督員の承諾を受けてW-II形とすることができる。



B スパイラル筋の継手及び定着



C 帯筋の付け方



株式会社サンウラノ設計

製図 検図

浦野 勉

一級建築士登録第117600号

鉄筋コンクリート構造配筋基準図 [3]

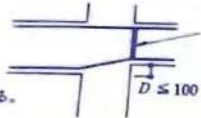
11 大ばり

A 大ばり筋の継手及び定着

1 一般事項

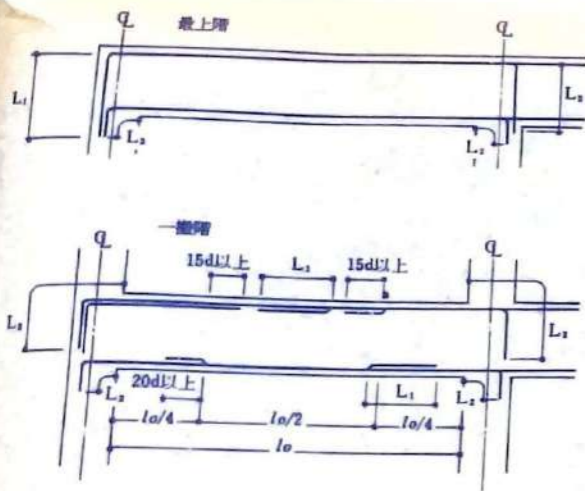
- (1) 継手及び圧縮中心位置は下記による。
上層筋—中央部/2以内
下層筋—両端部/4以内
- (2) 継手長さは L_1 とし、定着長さ及び余長は次の2・3による。
- (3) はり筋で、柱をまたいで引通すことのできないものは、原則として柱内に定着する。
- (4) はり筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を超えてから柱に曲げ降ろす。
- (5) はりにハンチをつける場合、その傾斜は、特記がない場合は、1:4とする。
- (6) 段違いばりは、重量負の承諾を受けて、下記によることができる。

- $D \leq 100$ の場合は右図による。
- $D > 100$ の場合は鉄筋を柱内に定着する。

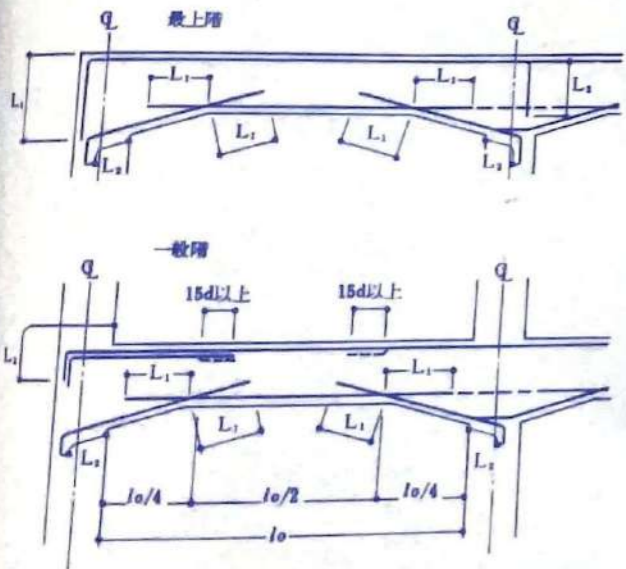


つり上げ筋は、一般のあばら筋よりも1サイズ大きい鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。

2 異形鉄筋でハンチのない場合



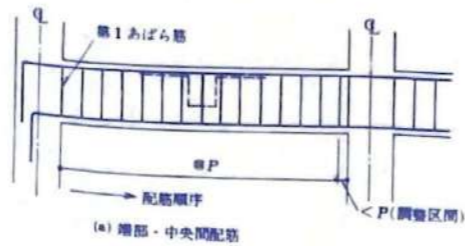
異形鉄筋でハンチのある場合



- (注) 1 ハンチ沿いの端部下端筋は、原則として引通し、残りの鉄筋は、柱内に定着する。
- 2 はり内定着の端部下端筋が接近するときは-----のように引通してもよい。
- 3 4-Aで定めた鉄筋にはフックをつける。

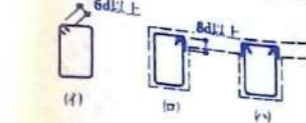
12 あばら筋

A あばら筋の割付け



B あばら筋、腹筋及び幅止め筋

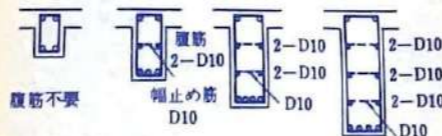
- 1 あばら筋の終り・開始は、斜形による。
- 2 あばら筋組立ての形及びフックの位置



- (1) 形は、(a)とする。ただしL形ばりの場合は(a)、T形ばりの場合は(a)又は(b)とすることができる。
- (2) フックの位置は、(a)の場合は交互とし、(b)の場合は、L形ではスラフのつり筋、T形では交互とする。

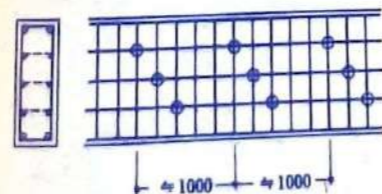
C 腹筋および幅止め筋

はりせい(D)と腹筋の関係	
はりせい(mm)	腹筋
$D < 600$	不要
$600 \leq D < 900$	2-D10(1段)
$900 \leq D < 1200$	4-D10(2段)
$1200 \leq D < 1500$	6-D10(3段)



$D < 600$ $600 \leq D < 900$ $900 \leq D < 1200$ $1200 \leq D < 1500$

腹筋が2段以上の場合の幅止め筋位置

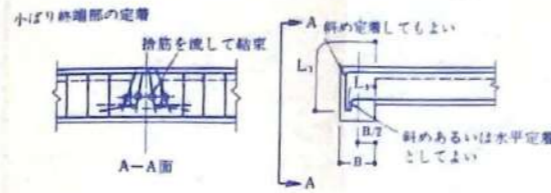
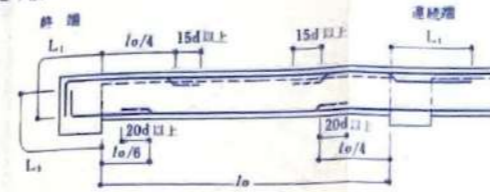


○印幅止め筋位置

- (注) 腹筋が2段以上の場合は、幅止め筋は同一位置に設けず、乱にしたほうがよい。

13 小ばり、片持ちばり及び段違いばり

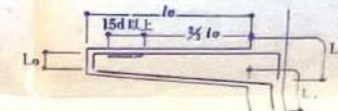
A 小ばり筋の継手及び定着



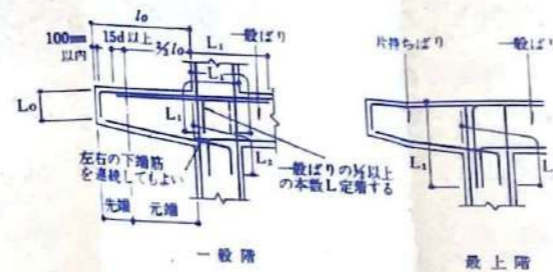
- (注) 1 図示のない事項は大ばりの項による。
- 2 終端になる場合の四すみの鉄筋は、大ばり内に斜めに定着する。

B 片持ちばり筋の定着

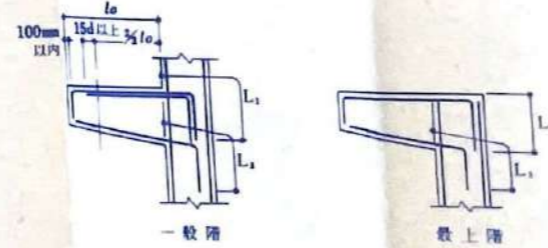
1 先端に小ばりのない場合



- (注) 1 図示のない事項は大ばりの項による。
- 2 先端の折り曲げの L_0 は、はりせいよりかなり厚さを除いた長さとする。
- 3 はり筋を引き通さない場合は、取合い部材に定着する。ただし、柱に取合う場合は、全数引き通せる場合でも上層筋は、2本以上を柱に定着する。

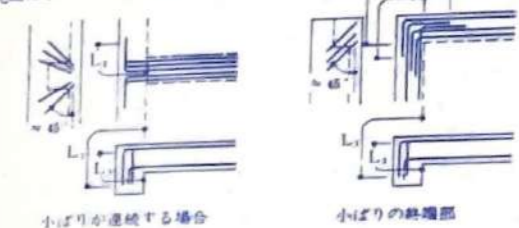


(a) 一般ばりと連続する場合



(b) 一般ばりと連続しない場合

2 先端に小ばりがある場合

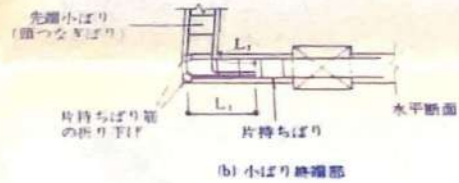
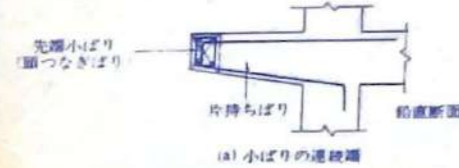


小ばりが連続する場合

小ばりの終端部

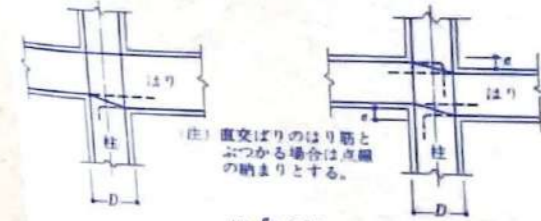
- (注) 1 図示のない事項は、先端に小ばりのない場合による。
- 2 上層筋は、小ばり内に斜めに定着する。

片持ちばりと先端小ばり



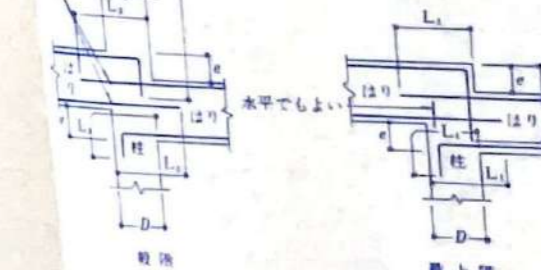
C 段違いばり

段違いばりの配筋



(a) $e/D \leq 1/4$

直接定着できる場合折り返し定着する必要はない。



(b) $e/D > 1/4$

株式会社 サンワラノ 監製

製図 校図

浦野 勉

一級建築士登録第117605号

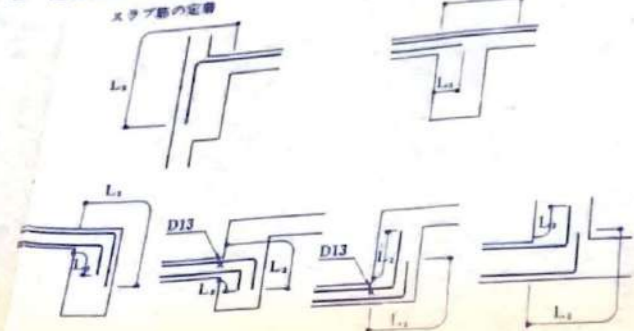
鉄筋コンクリート構造配筋基準図 (4)

14 スラブ

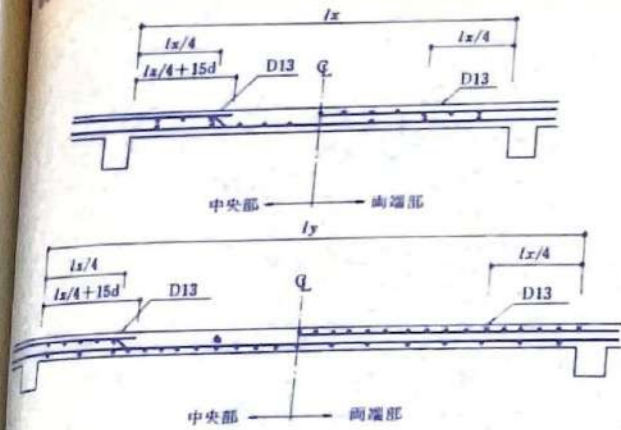
A 一般事項

- 1 スラブリングの配筋種類及び厚さは特記による。
- 2 鉄筋の継手の長さは、 L_d とする。
- 3 パーサポートはコンクリートブロックを使用することもできる。

B 定着長さ及び受け筋

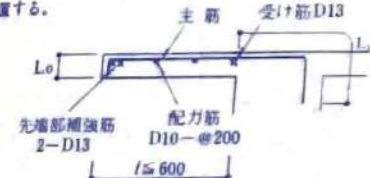


中央部の配筋



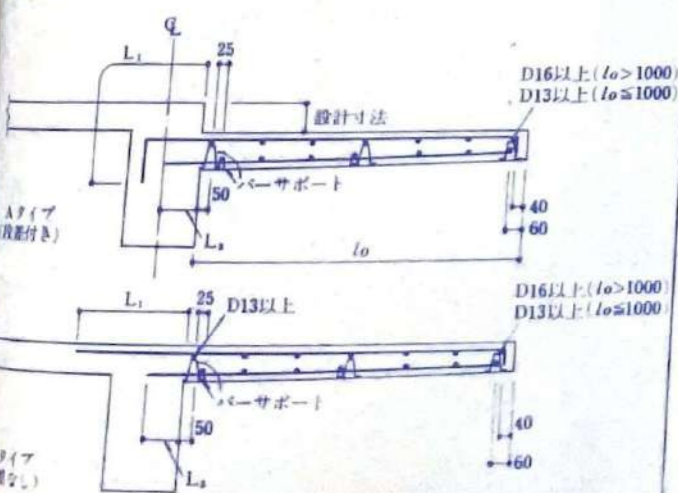
持ちスラブ

持ちスラブ先端部及び三辺固定スラブリングの自由端には下図により補筋を配筋する。



1) 先端部の折曲げ長さ Lo は、スラブ長さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

持ちスラブリングのタイプ

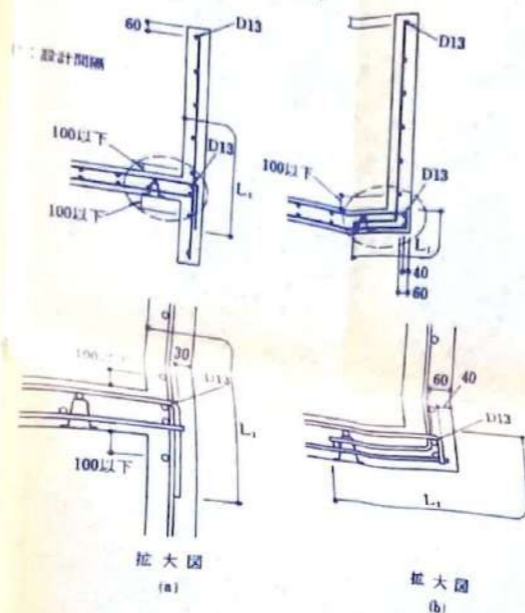


Aタイプ (取付なし)

Bタイプ (取付なし)

15 壁

3 持ちスラブ先端部と手すりとの納まり



15 壁

A 一般事項

- 1 壁配筋の継手及び定着の長さは、 L_d とする。
- 2 1層などを受ける壁及び耐震壁として特記されたものは、継手長さ、及び定着長さを L_d とする。
- 3 継手及び定着のとれない場合は、監督員の承諾を受けて、添着接面 $5d$ 又は片面 $10d$ とすることができる。
- 4 端止の筋は、縦、横共D10(9φ) @ 1000程度とする。

B 壁の基準配筋

壁の基準配筋は下表により、種別は特記による。
なお外部に面する腰壁及び垂れ壁の配筋は、F表による。

種別	断面図	縦筋及び横筋
W10		D10 - @250 シングル
W12		D10 - @200 シングル
W15	A	D10 - @150 シングル
	B	D10 - @100 シングル
W18	A	D10 - @200 ダブル
	B	D10 - @150 ダブル
W20	A	D10 - @200 ダブル
	B	D10 - @150 ダブル

(注) 特記なき場合はAによる

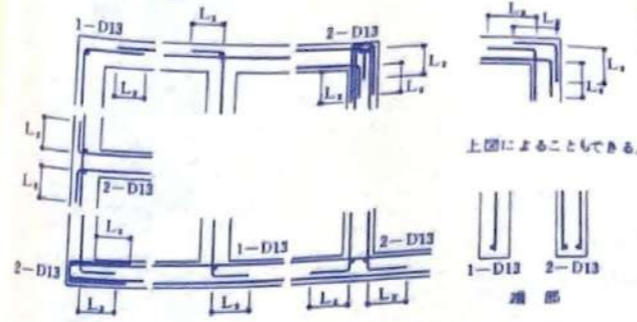
C 階段受け壁

片持：スラブリング階段を受ける壁の配筋は下表により、種別は特記による。

種別	断面図	縦筋及び横筋
KW1		縦筋 D13 - @200 ダブル 横筋 D10 - @200 ダブル
KW2		縦筋 D13 - @150 ダブル 横筋 D10 - @200 ダブル

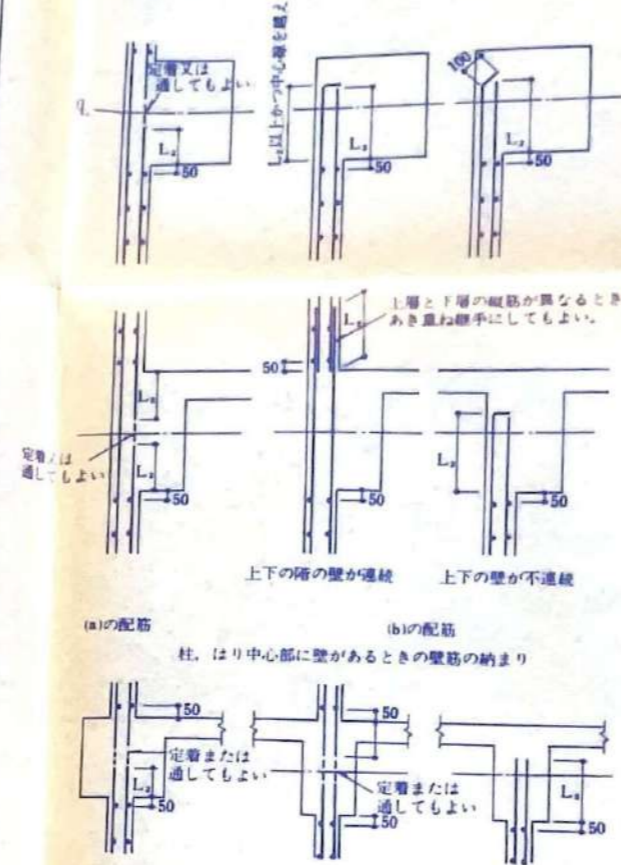
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

D 交差部及び端部の配筋



上図によることとする。

E 壁筋の配筋



上下の階の壁が連続 上下の壁が不連続

(a)の配筋

(b)の配筋

柱、はり中心部に壁があるときの壁筋の納まり

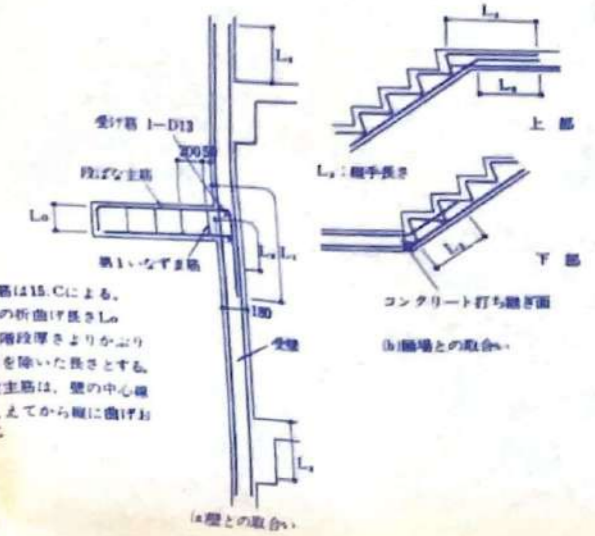
F バラベット及び外部に面する腰壁、垂れ壁の配筋

施工箇所	コンクリート厚さ	方向	配筋	先端補強筋
バラベット	180	縦	D10 - @150 ダブル	
		横	D10 - @200 ダブル チドリ	
外部に面する腰壁、垂れ壁	120	縦	D10 - @200 シングル	
		横	D10 - @100 シングル	
	150	縦	D10 - @150 シングル	
		横	D10 - @100 シングル	

16 階段

A 片持階段

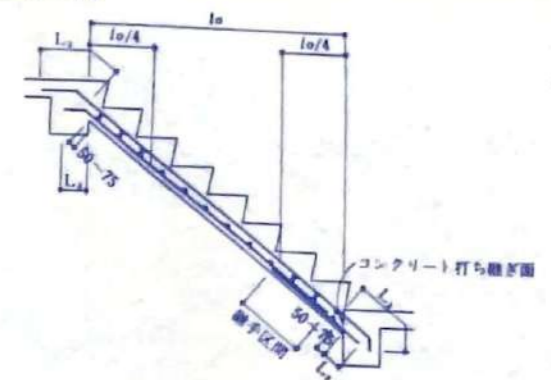
階段受壁および踊り場との納まり



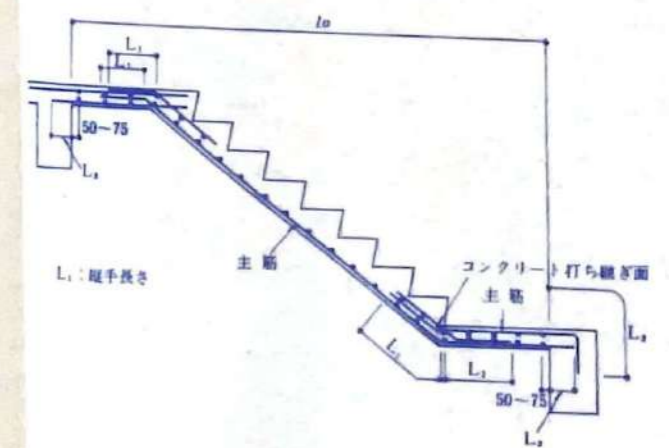
- (注) 1 縦筋は15.Cによる。
2 踊り場の折曲げ長さ L_0 は、階段厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
3 階段主筋は、壁の中心線をこえてから壁に掛けおろす。

B スラブ階段

1 スラブ階段-1形の配筋



2 スラブ階段-2形の配筋



株式会社 サンワノ 設計

製図 検査

浦野

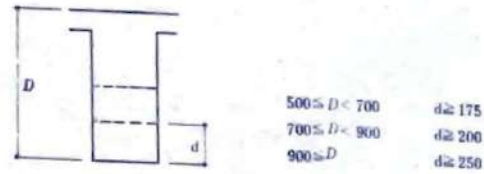
一級建築士登録第11720号

方コンクリート構造配筋基準図 (5)

補強 特記による。特記のない場合は下記による。

貫通孔の補強

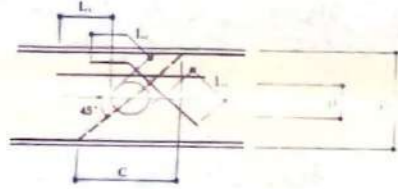
しが円形でない場合は、外縁円孔におきかえて適用する。
しの上下位置は、はりせいの中心付近とし下記による。



500 ≤ D < 700 d ≥ 175
700 ≤ D < 900 d ≥ 200
900 ≤ D d ≥ 250

の中心位置は柱及び直交するはり(小はり)の面から1.2D以上
すことを原則とする。
の直径ははりせいの1/2以下とし、また孔が連続する場合は、その
孔間隔を孔径の3倍以上とする。
は筋は原則として主筋の内側とする。
筋の定着長さ。

孔補強の有効範囲および定着長さのとり方



孔補強の有効範囲は孔中心より45°以内の範囲である。
は筋はあばら筋とみなす。

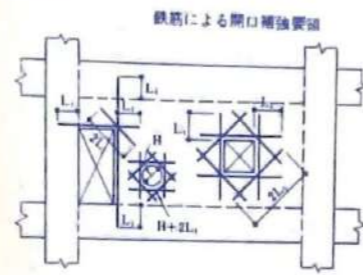
は筋は下記による。

(H ≤ D/3, はり幅400)

適用範囲	孔部補強筋	配筋図
H < 100	斜め 2-2-D13	
	縦 2-2-D13	
	横 なし	
S.T.P なし		多孔並列の場合は横2-2-D13を入れる
100 < H ≤ 200	斜め 4-2-D13	
	縦 2-2-D13	
	横 2-2-D13	
S.T.P 3-2-D13		
200 < H ≤ 300	斜め 4-2-D19	
	縦 2-2-D13	
	横 2-2-D13	
S.T.P 4-2-D13		
H > 400	斜め 4-2-D22	
	縦 4-2-D13	
	横 2-2-D16	
S.T.P 6-2-D13		

B 壁、スラブ開口部補強

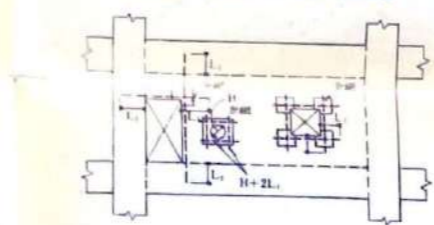
1 壁の開口部補強



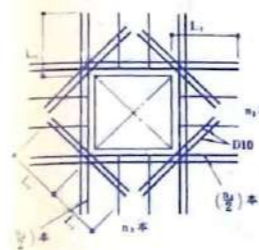
(注) 出入口開口の縦補強筋は上下のはりに定着する。

壁の種類	補強筋	
	縦筋	斜め
W10, W12, W15	1-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13

2 スラブの開口部補強



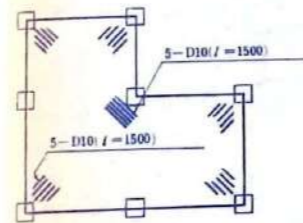
2 スラブの開口部補強



スラブ開口部の径が600以下の場合左
図により、開口によって切られる鉄筋
と同量の鉄筋で周囲を補強し隅角部に
斜め方向に2-D10 (l=2L₁) を上下筋
の内側に配置する。

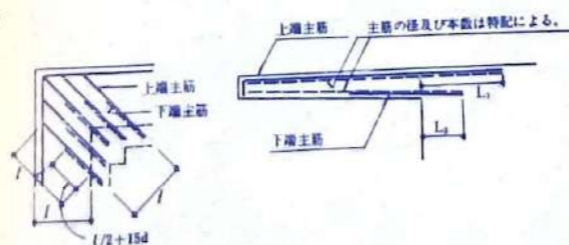
C スラブぐう角部の補強

単層スラブの出隅及び入り隅部分には、下図により、補強筋を上端筋
の下部に配置する。



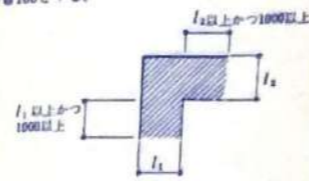
D スラブの出隅部の補強

1 はり



2 配力筋

出隅部(下図のハッチ部分)は、14.D.1(スラブ先端部)の配力筋を
D10-φ100とする。



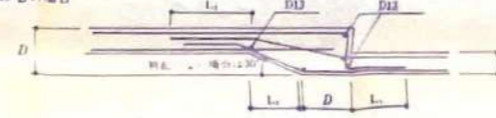
E 階段踊場補強筋



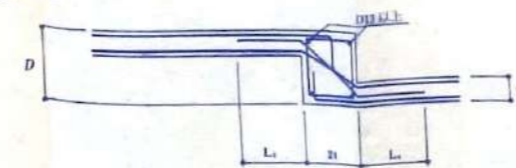
18 雑配筋要領 特記による。特記のない場合は下記による。

A 段違いスラブの配筋

2L₁ > Dの場合



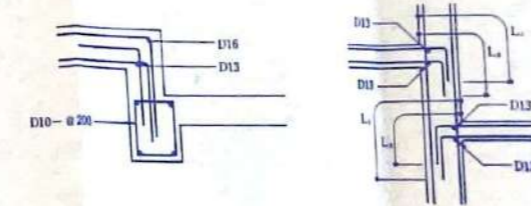
2L₁ ≤ D ≤ 3L₁



(注)

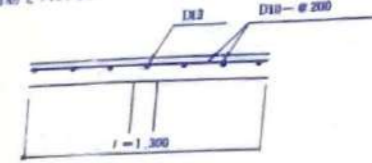
D10スラブ上端筋と同間隔
スラブ上端部と同径間隔

B スラブとはり又は壁との組合せ部分



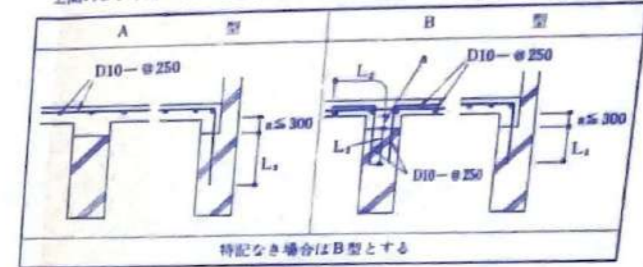
C 壁つきスラブ

スラブに上端筋がなく、壁がスラブの下縁についている場合には、下図
の補強筋を入れる。



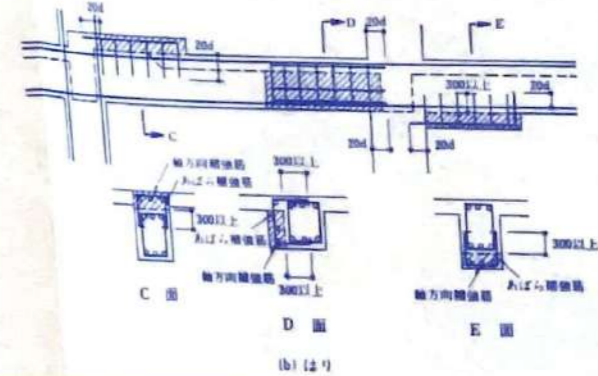
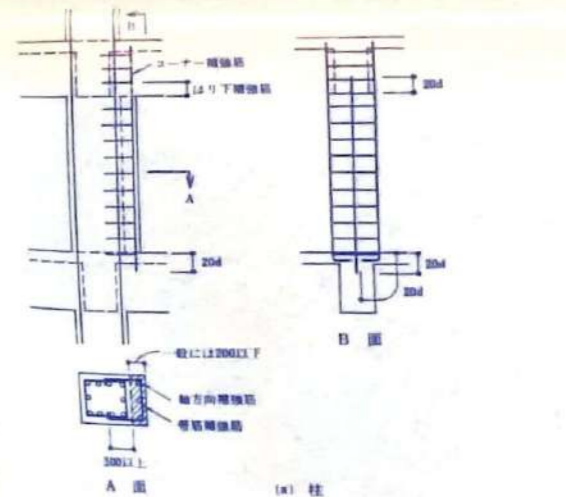
D 土間コンクリート

土間のコンクリートに補強筋を入れる場合は下図による。



E 柱、はり打増コンクリート

柱、はりの打増しコンクリート補強筋



株式会社サンウラボ設計

図面 1/20 検図

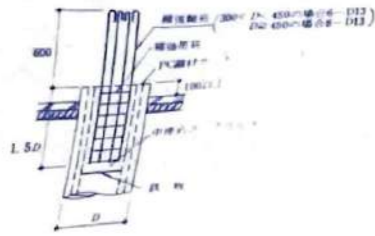
前野 勉

一部は五十名町117000号

鉄筋コンクリート構造配筋基準図 [6]

F くい頭部の補強と基礎配筋

くい頭部は特記による。特記なき場合は下図による。



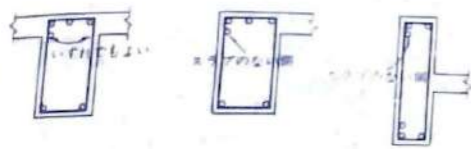
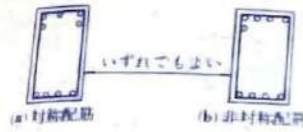
G 2段配筋の保持金物



6φ以上使用
500mm以上

H 断面の2段筋非対称配筋

はり断面2段筋の対称配筋と非対称配筋

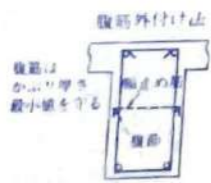
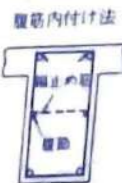


配筋の保持金物

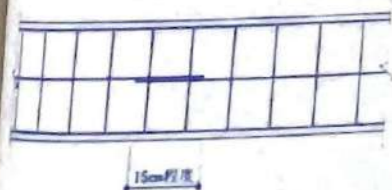


2段配筋保持金物は6φ以上
500-600とする。

筋および幅止の筋



はり中間部の復筋



幅止の筋の加工



復筋を継ぐ場合

19 コンクリートブロック間仕切壁(外壁・内壁)

A 般事項

鉄筋の重ね継手(壁壁へいなどの継ぎ手)は、規定の長さによる。

構造部分	継手または定着部分の長さ		備考
	真形鉄筋 なし	丸鋼 付き (7-φ)	
規定力の大きい箇所、開口部の周囲における配筋	40d	30d	d: 公称直径
その他の箇所	25d	20d	25b

- 積層その入部は、積層用ブロックを使用し、端部は定着長さを十分にとる。
- 壁壁、へいなどの継ぎ手は、継手を設けてならない。ただし、重ね長さ5d(dは公称直径)以上の両面アーク溶接を行なう場合は、継手を設けることができる。
- 鉄筋に対するコンクリート又はモルタルの塗り厚さは、20以上とする。
- コンクリートブロック間仕切壁、間仕切小壁

間仕切壁厚さ・高さ

厚さ	積み高さ
12cm以上	10cm; 12.5段まで
15cm	12cm; 15段まで
19cm	15cm; 17.5段まで

間仕切壁配筋
主筋配力筋共にD10以上80cm以下

間仕切小壁
積み高さ
12cmブロックでは9段まで

間仕切小壁配筋

種類	主筋		配力筋
	S ≤ 1.1mの部分	1.1m < S ≤ 1.8mの部分	
10m以下の部分	D10-φ800	D10-φ400	D10-φ800
10mをこえる部分	D10-φ400	D10-φ400	D10-φ600

S: 持出し端よりの距離 m
主筋: 持出し方向の鉄筋

コンクリートブロック外壁、外壁小壁

厚さ

種類	壁厚さ (cm)	
	一般壁	小壁
10m以下の部分	15 かつ $l_1/25$	15 かつ $l_2/15$
10mをこえる部分	15 かつ $l_1/20$	15 かつ $l_2/10$

l_1 : 主要支店間距離 cm l_2 : 持ち出し長さ cm

積み高さ

種類	一般壁		小壁	
	高さ10m以下の部分	12cm	15段	12cm
高さ10mをこえる部分	15cm	17.5段	15cm	9段
	19cm	19段	19cm	19段

配筋

種類	主筋		配力筋
	$l_1 \leq 2.4m$	$2.4m < l_1 \leq 3.5m$	
高さ10m以下の部分	D10-φ800	D10-φ800	D10-φ800
高さ10mをこえる部分	D10-φ800	D10-φ400	D10-φ600

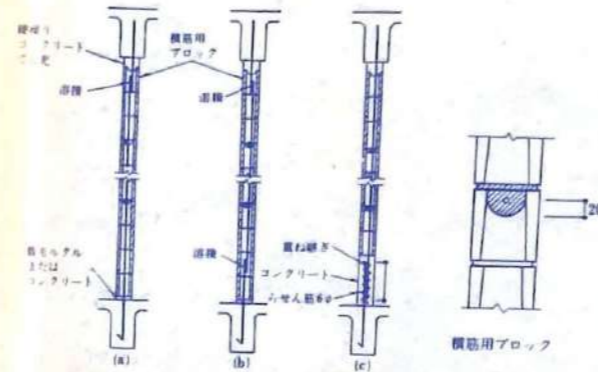
l_1 : 主要支店間距離 m

小壁配筋

種類	主筋		配力筋
	S ≤ 1.1mの部分	1.1m < S ≤ 1.8mの部分	
高さGLから10m以下の部分	D10-φ800	D10-φ400	D10-φ800
高さGLから10mをこえる部分	D10-φ400	D13-φ400	D10-φ600

S: 持出し端よりの距離 m
主筋: 持出し方向の鉄筋

小壁積層の持出し端部、開口部の周囲はD13(13φ)以上を使用する。

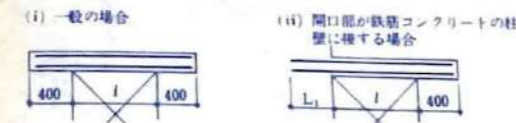


鉄筋コンクリート造とブロック積層の製法(みと積み)の場合
コンクリートまたはモルタル



B まぐさ

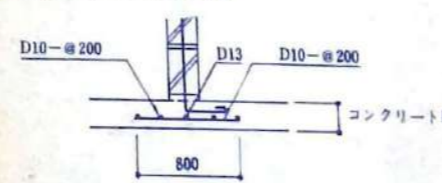
まぐさは鉄筋コンクリート造とし、下記による。



(注) まぐさの幅は、ブロック厚さと同じとする。

C 土間コンクリートにのる場合

無筋の土間コンクリートにのる場合



20 ガス圧接・アーク溶接継手

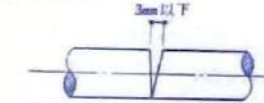
A ガス圧接継手

ガス圧接の作業は質量管理規定に合格した者による。その作業範囲は下表による。

作業可能範囲 (NAK仕様書より)

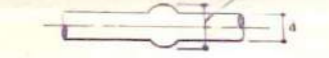
作業資格種別	作業可能範囲	
	鉄筋の種類	鉄筋径
1 種	SR24 SR30 SD24 SD30 SD36 SD40	呼び名 25mm以下 D25以下
2 種	SR24 SR30 SD24 SD30 SD36 SD40	呼び名 32mm以下 D32以下
3 種	SR24 SR30 SD24 SD30 SD36 SD40	呼び名 38mm以下 D38以下
NAK 種	SD24 SD30 SD36 SD40	呼び名 D41およびD51

2 突き合せの突き

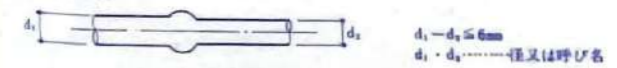


3 圧接部の形状

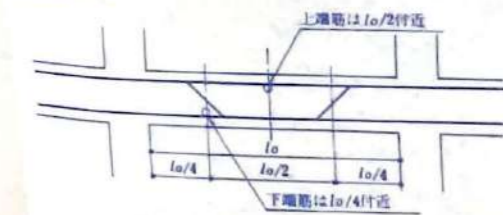
圧接部のよけ込みの寸法



4 異径鉄筋の圧接

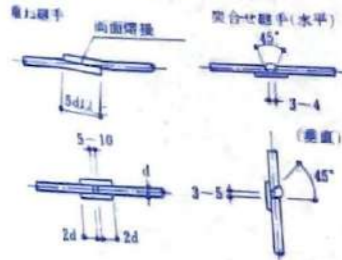


5 圧接の継手位置



ガス圧接継手は38φ D38以下の鉄筋に適用する。

B アーク溶接継手の形状(やむをえず行う場合)

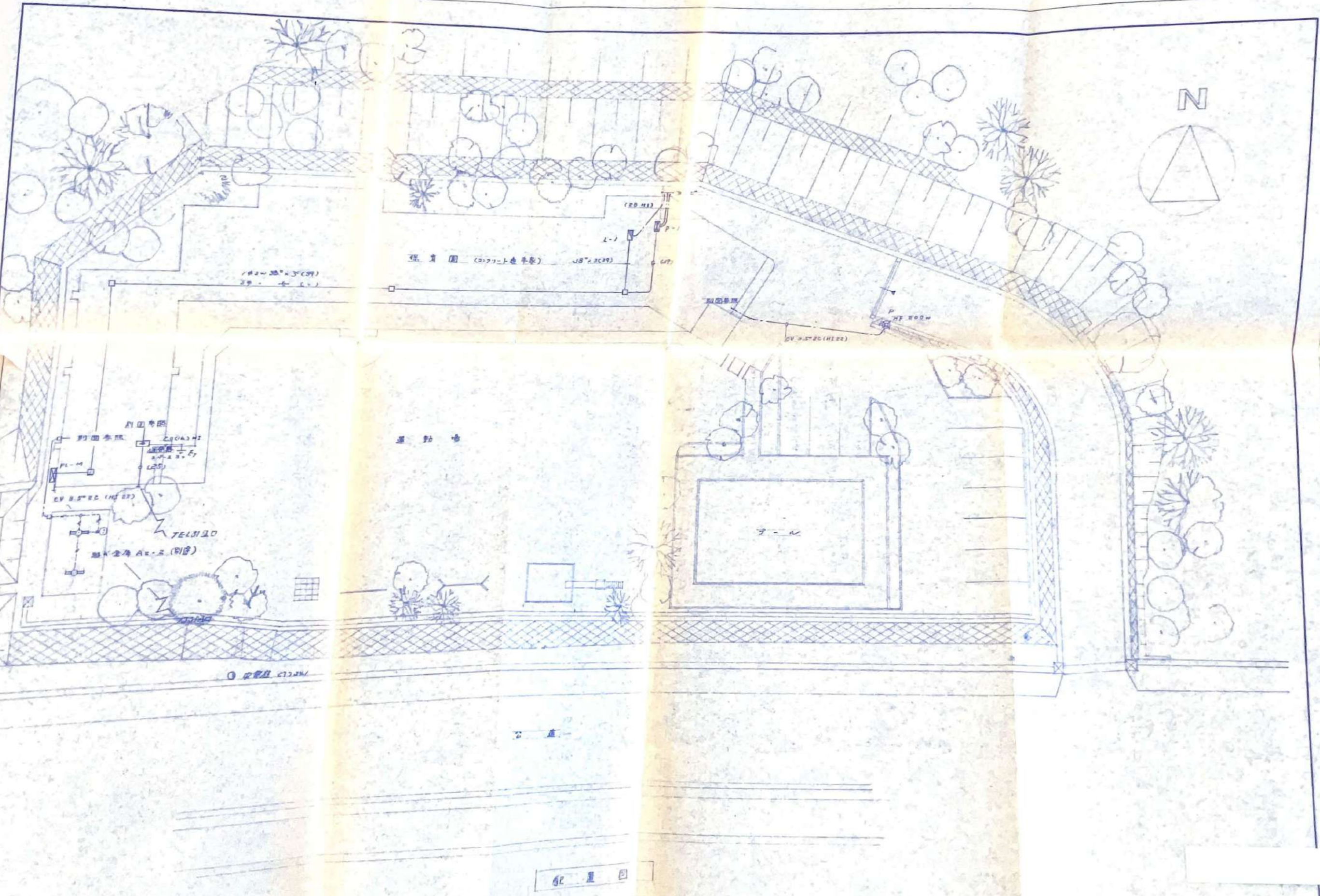


鋼材継手(鋼材の断面積は鉄筋断面積より大き(する。))

株式会社 サンウラボ設計

製図 検図

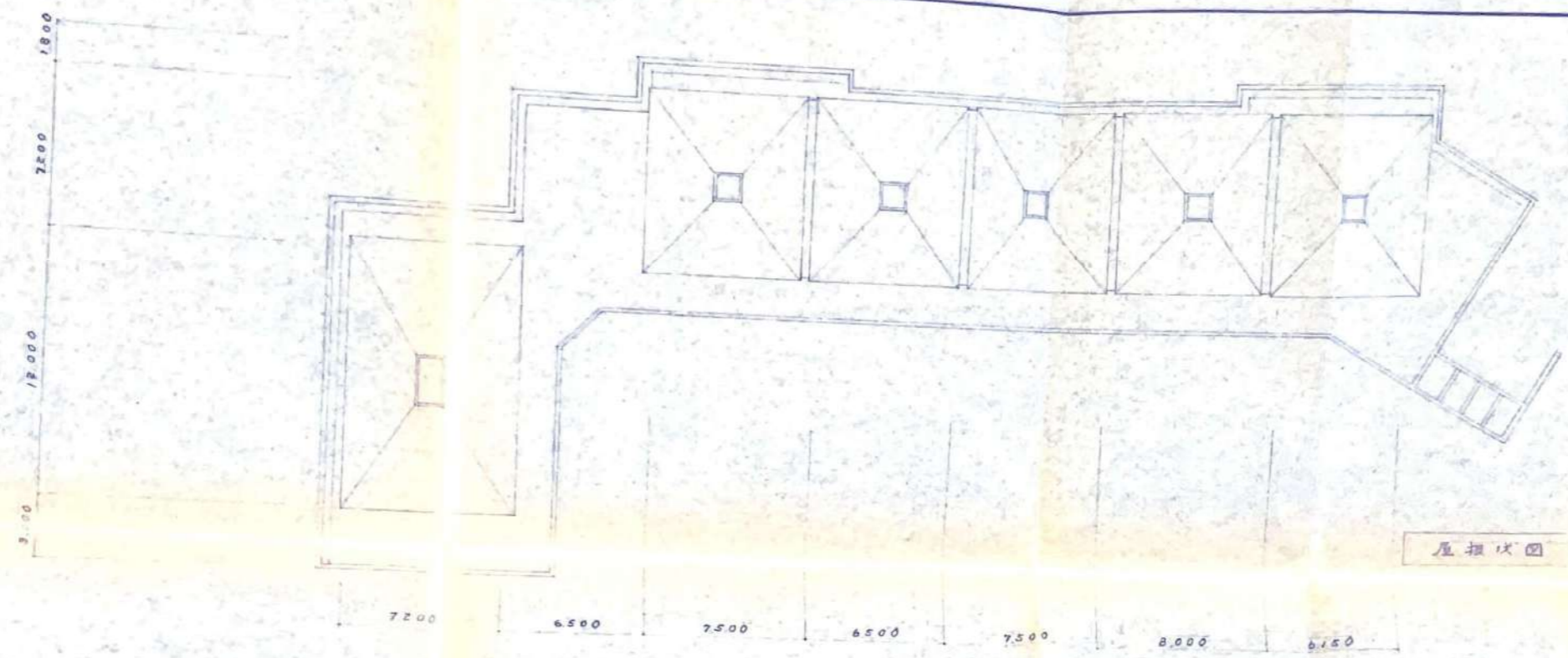
湘野



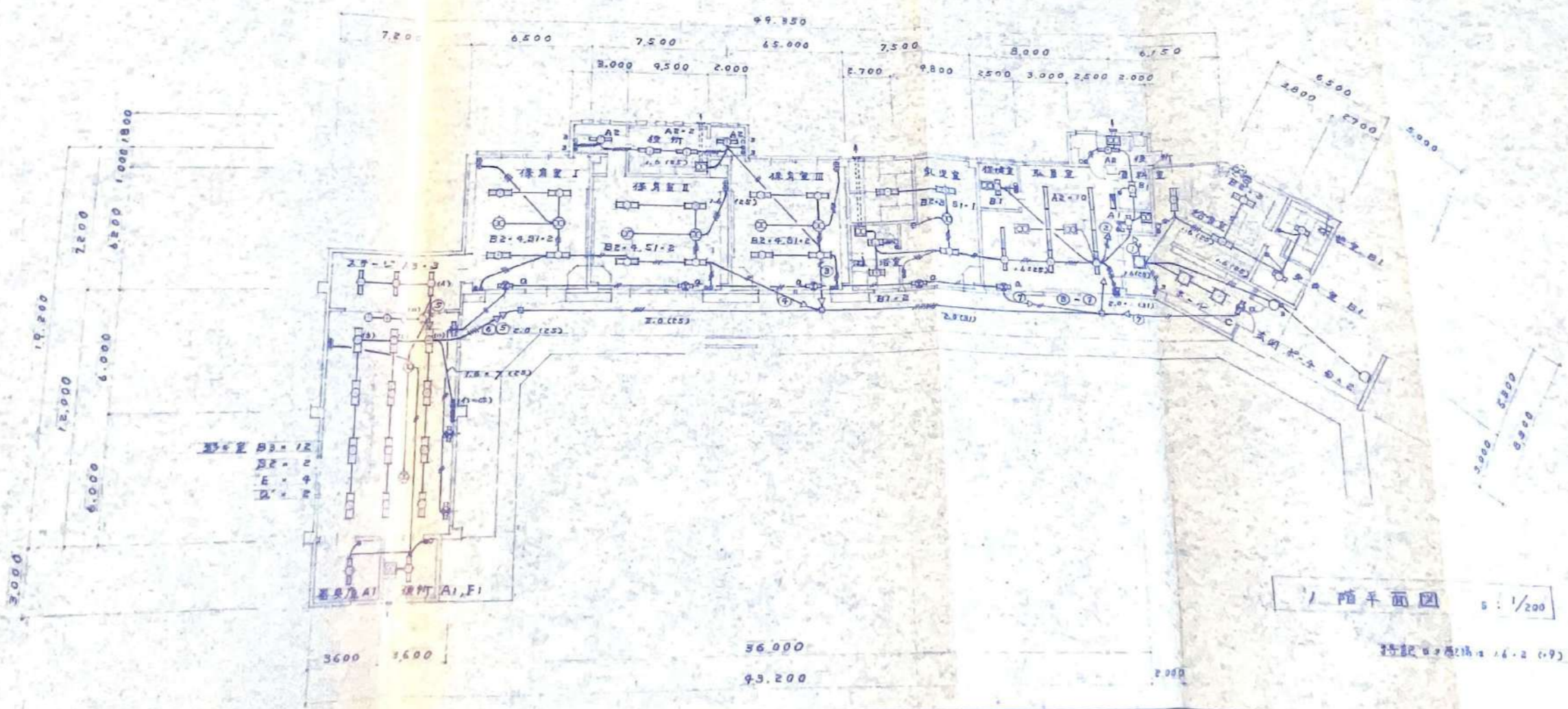
配管図

藤岡町 緑地(体育館)改築 図名   	工事設計図 8416 1/200	図面番号 49 / 35	株式会社 サンウラノ設計 一級建築士事務所 登録番号: 第3099号 代表取締役 池野 啓
--	------------------------	-----------------	--

特記事項



屋根状図 1/200

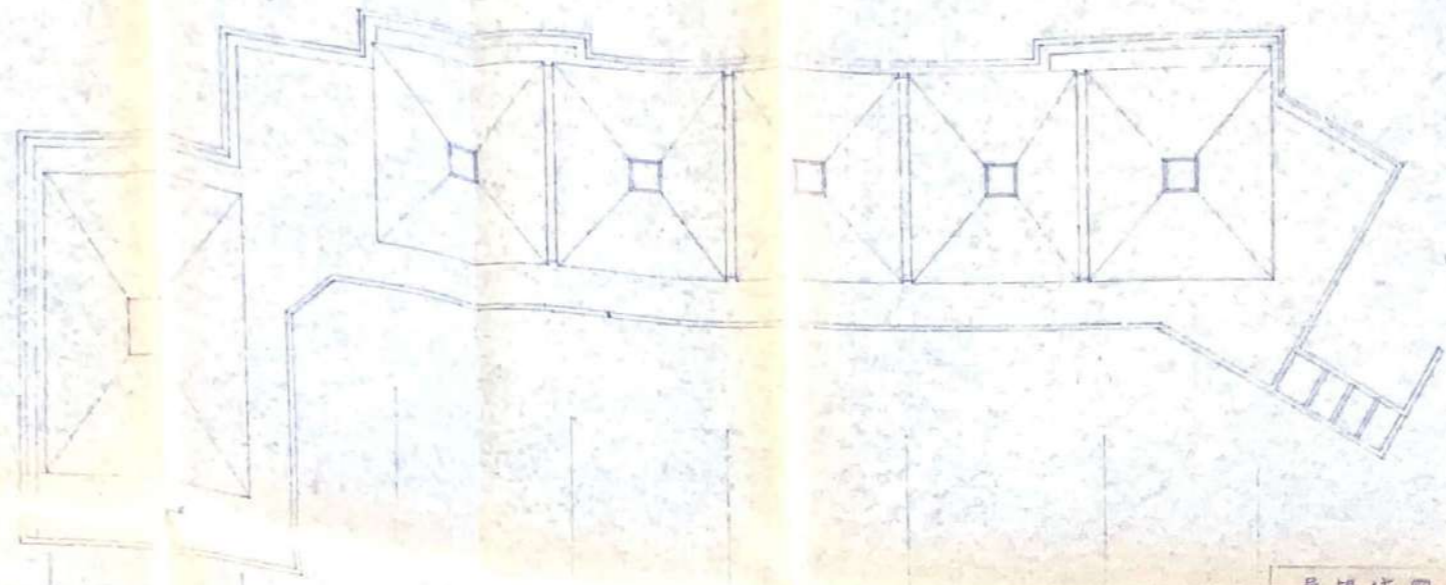


1階平面図 1/200

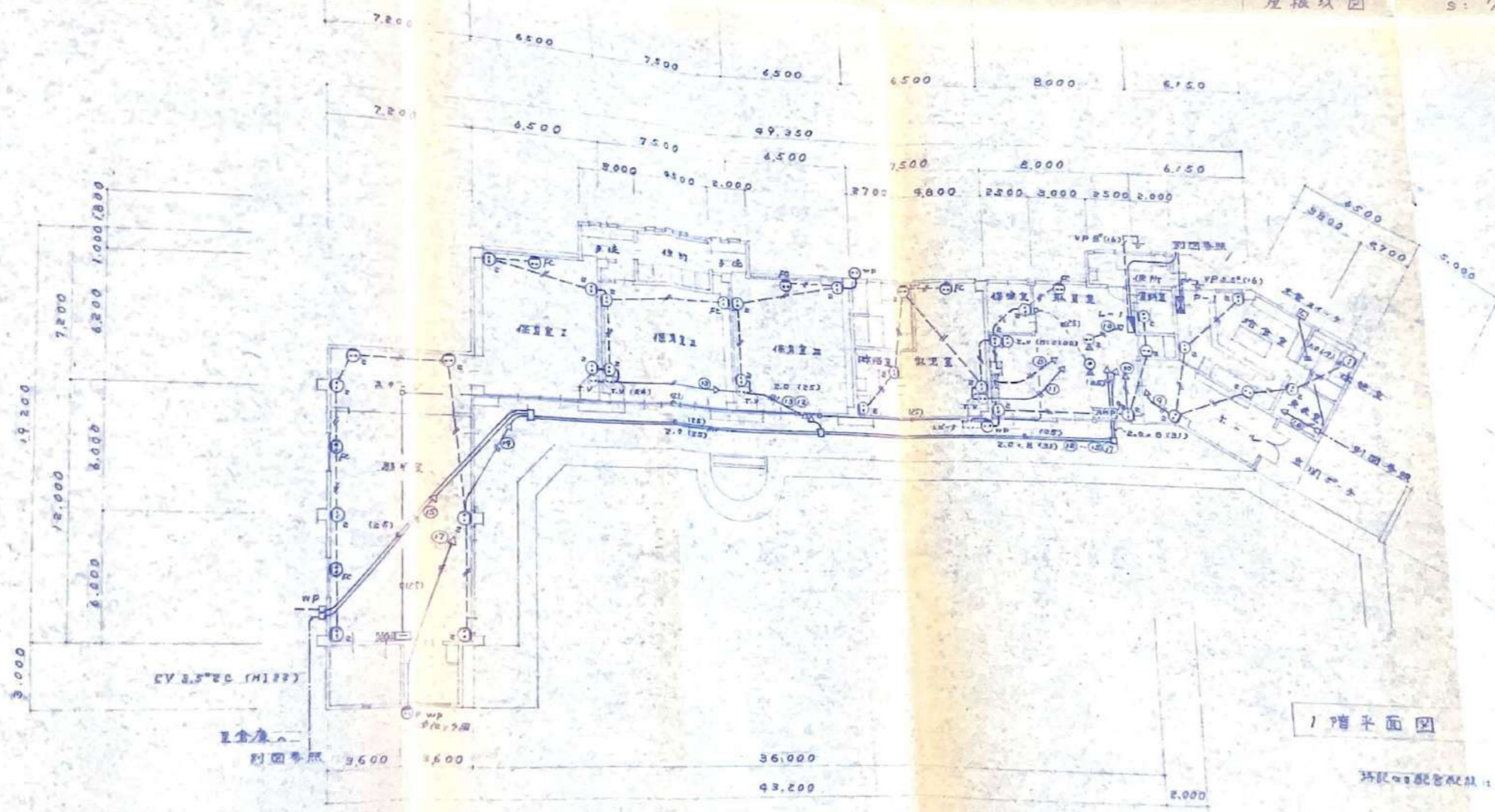
特記事項: 16.2 (19) 等

特記事項	藤岡町御作保身園 新築工事設計図		設計番号	49	株式会社 サンウラボ設計
	用紙	8416	図面番号	36	
			縮尺	1/200	電灯、21.ナ、配管配線図

1800
7200
12000
3000



屋根図 1/200



1階平面図 1/200

CV 3.5" WC (M127)

互金庫





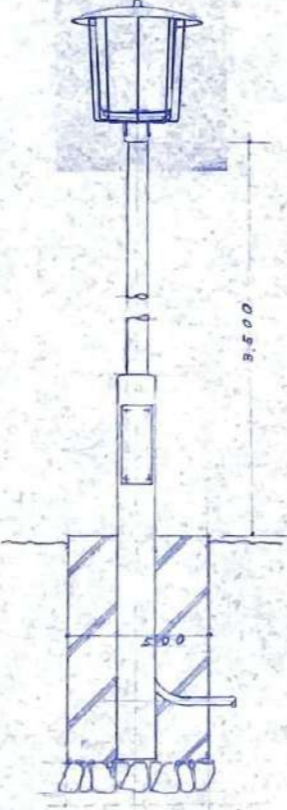


別園参照 3600 3600 36000 43200 2000

環境対応設備設計 2011.11.14

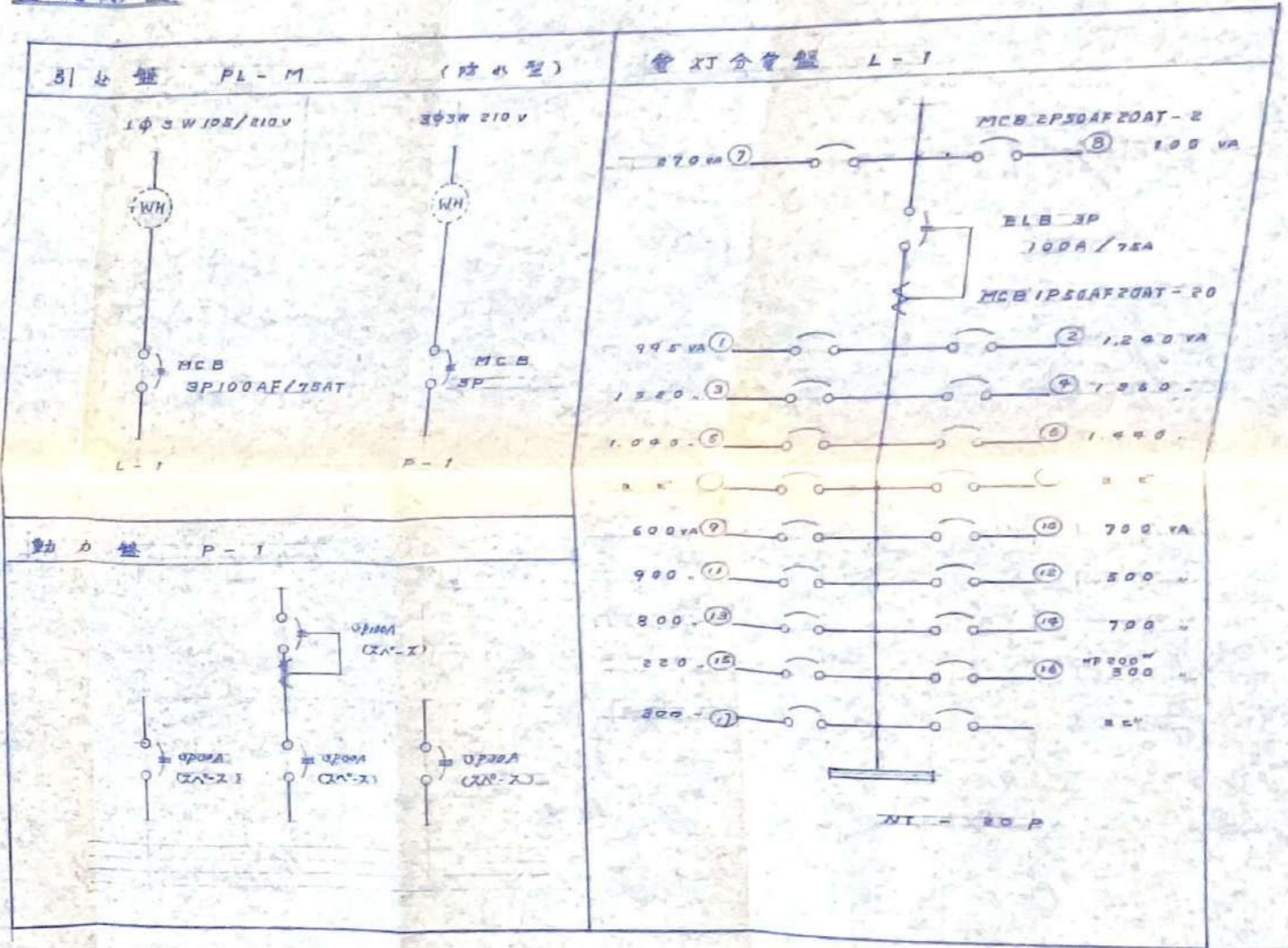
藤岡町御作保身園 改築 工事設計図 設計番号 8416 図面番号 49 / 57 縮尺 1/200	株式会社 サンウラボ設計 代表取締役 藤岡 浩一 設計 藤岡 浩一 監理 藤岡 浩一 建築士 藤岡 浩一

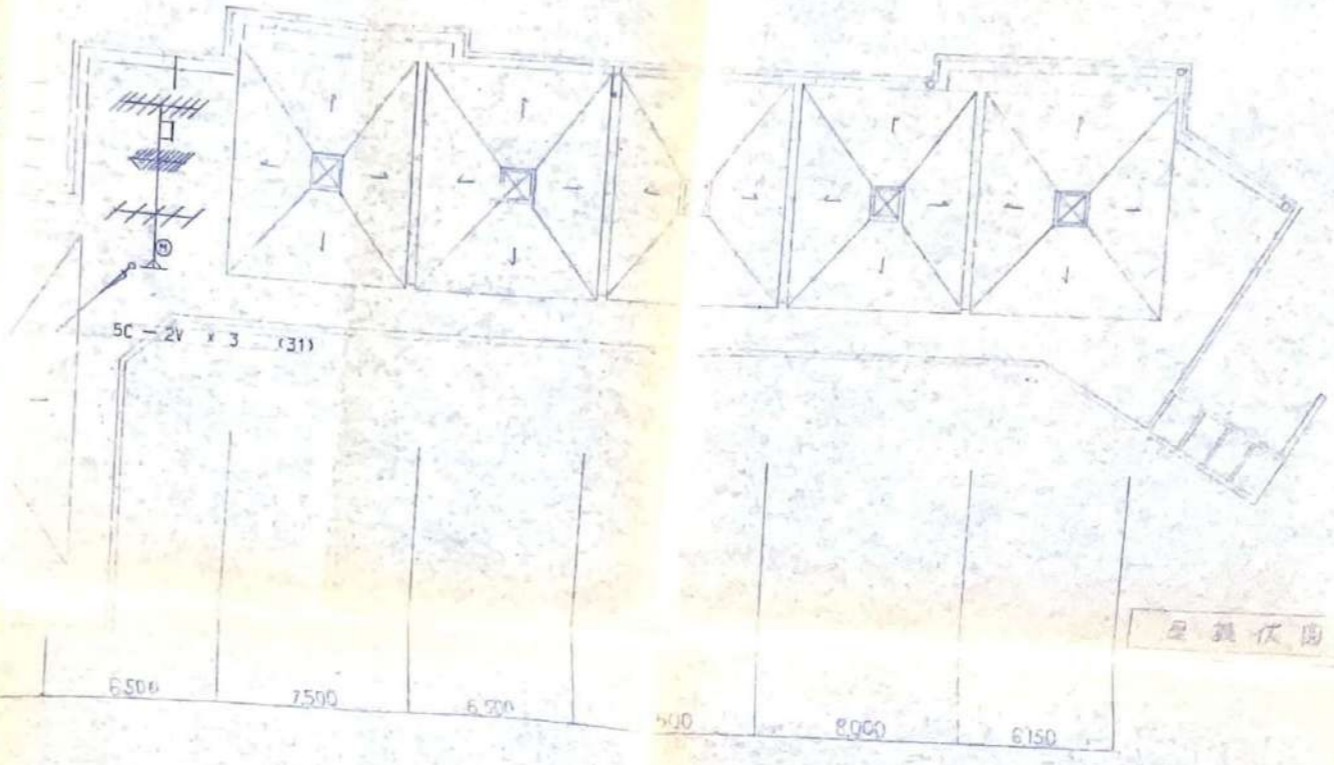
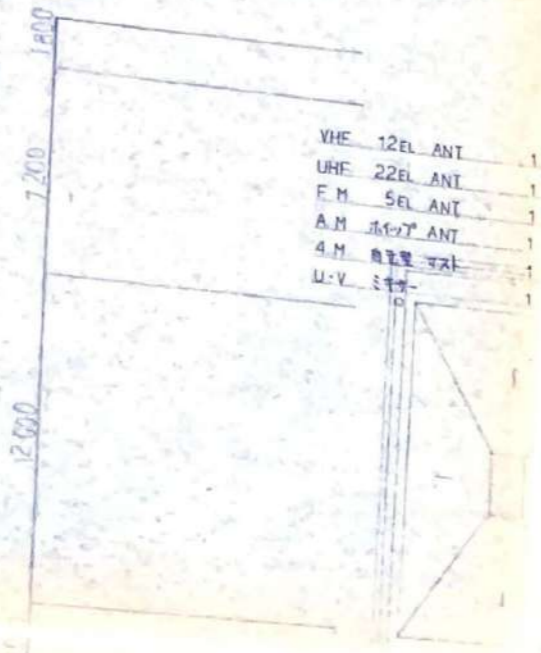
特記事項 1. 2. 3.

照明器具配置図

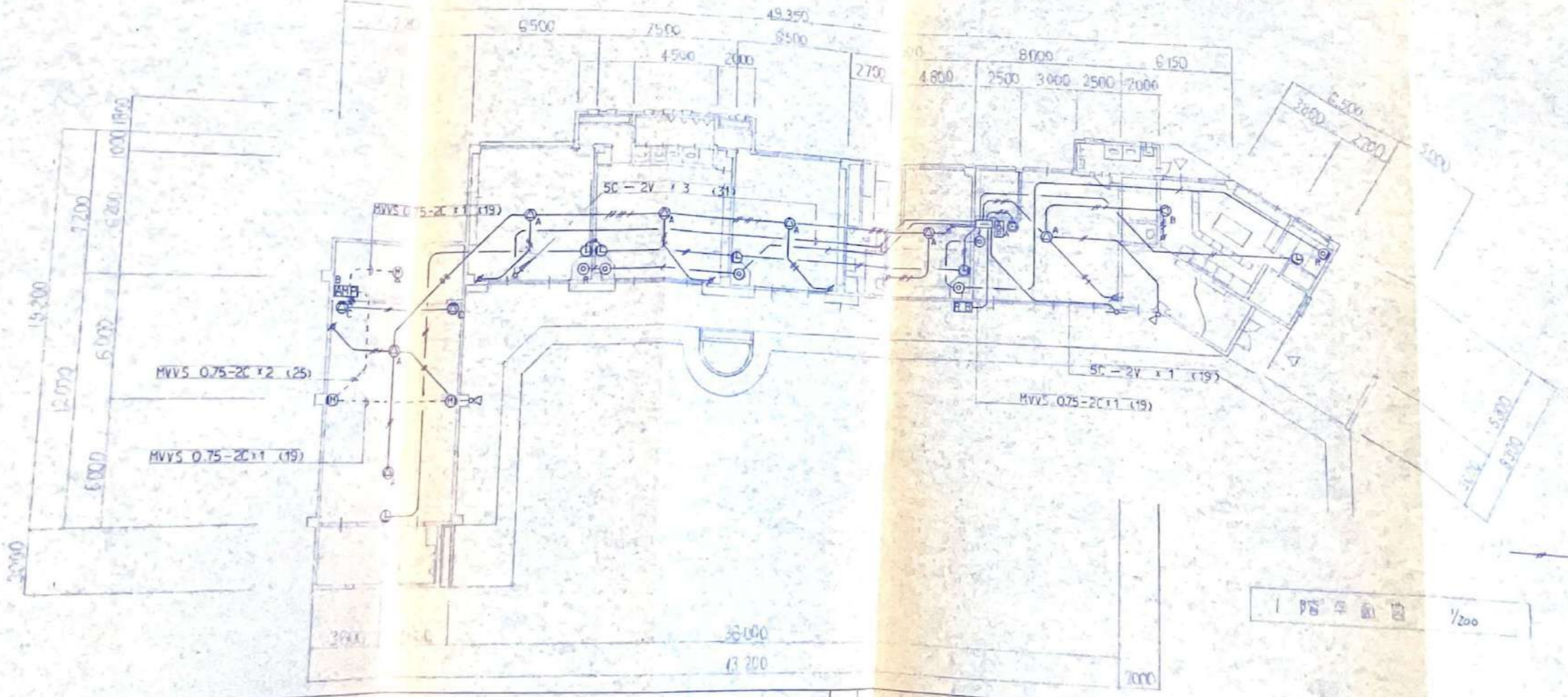
A1	FL 20w・1	B1	FL 20w・	S	B1 300mmφ天井形
A2	- 40w・1	B2	- 40w・	S2	400
A3	(カ-1付)	B3	(カ-1付)	F	F1 100mmφダクト付 F2 150
				(注) S: AC100V 調光器付 F: ダクトと接続ケーブル付 全線工事あり	
C	FCL 30w・1	D	IL 40w・1	P	ポールライト (HF 200w)
					
E	75w ハイビーム (吊長 600mm)	a	FL 20w・1 (レシーク-内蔵型) 上-1付		
					

盤結線図



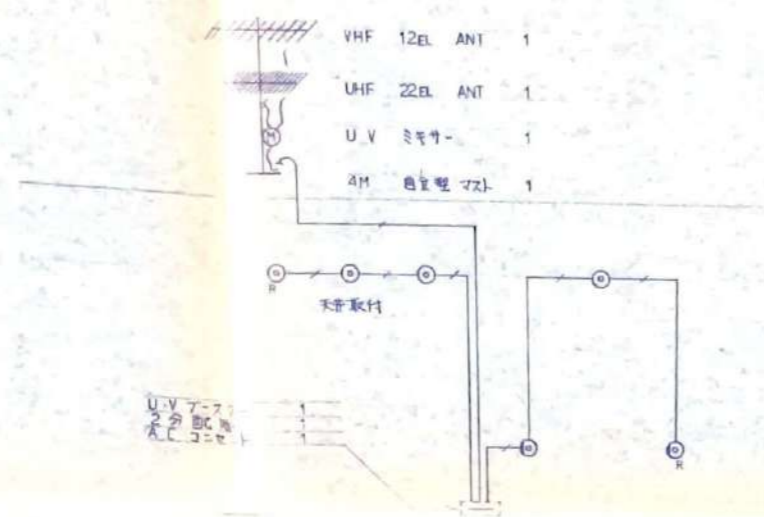


屋外伏居 5/1/200

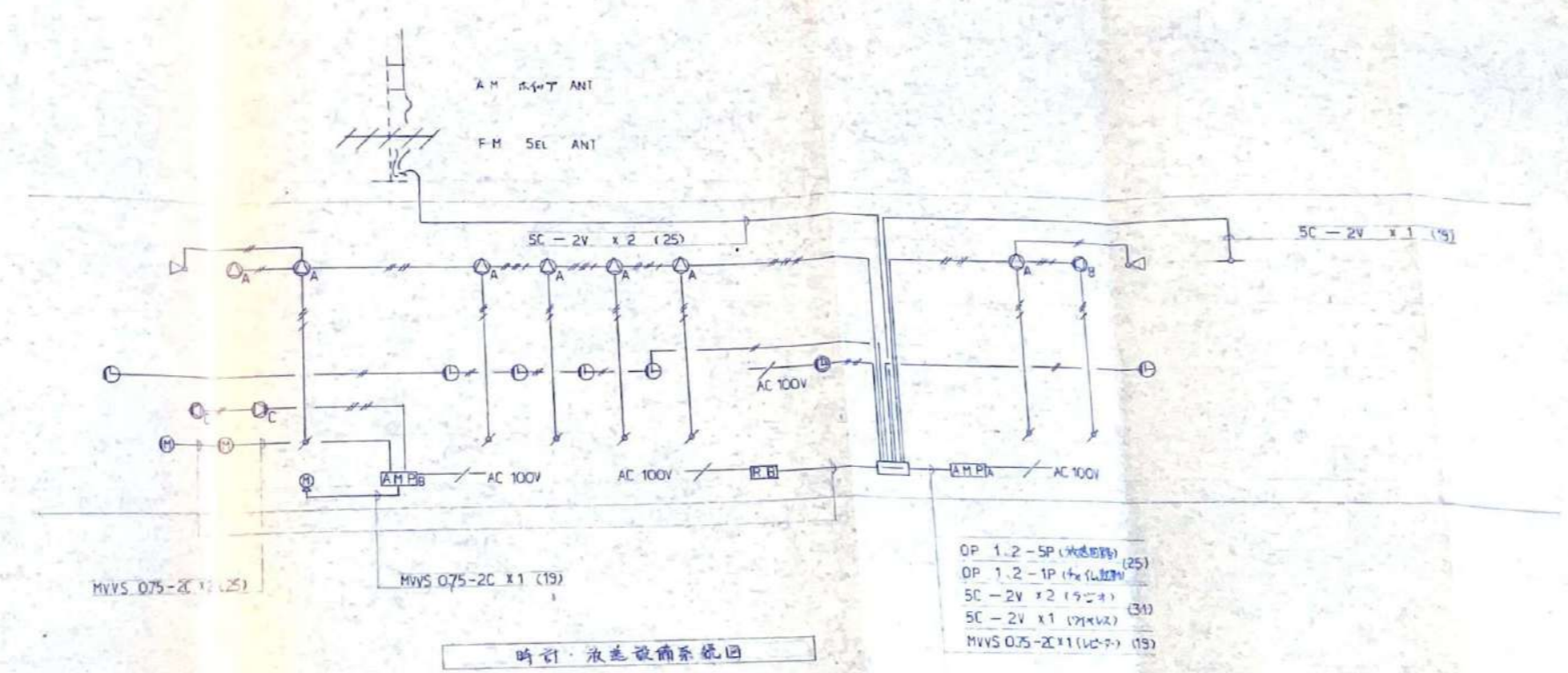


1階平面図 1/200

株式会社 サンウラボ設計	藤岡町御作保青園改築 工事設計図 	図面番号 8416 縮尺 1/200	図面番号 49 / 19 図名 1階平面図	株式会社 サンウラボ設計 藤岡町御作保青園改築 工事設計図 図面番号 8416 縮尺 1/200
-----------------	-------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---



テレビ放送設備系統図

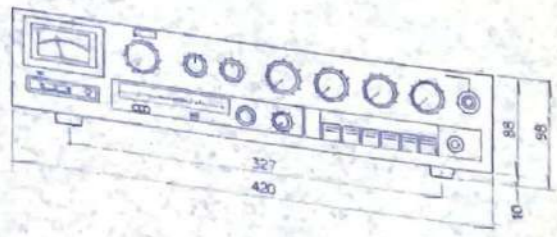


時計・放送設備系統図

- OP 1.2-5P (大地線) (25)
- OP 1.2-1P (大地線) (25)
- SC-2V x 2 (19)
- SC-2V x 1 (19)
- MVVS 0.75-2C x 1 (19)

図名 図号 設計者 校核者	図面 枚数 1/4	株式会社 サンウラボ設計
		株式会社 サンウラボ設計

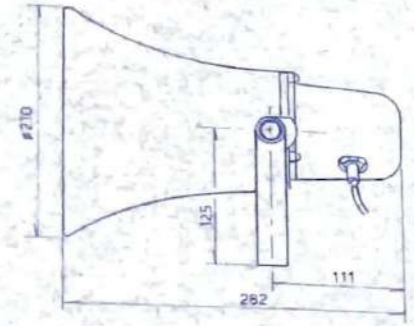
AMB 卓上アンプ



全て支給品とする

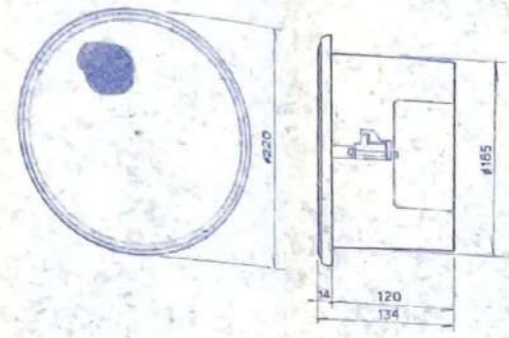
電源 AC 100V 50/60Hz
 定格出力 30W
 その他
 コードレス x1
 マイクホン x2
 延長コード 10m x2

△ トランペットスピーカー



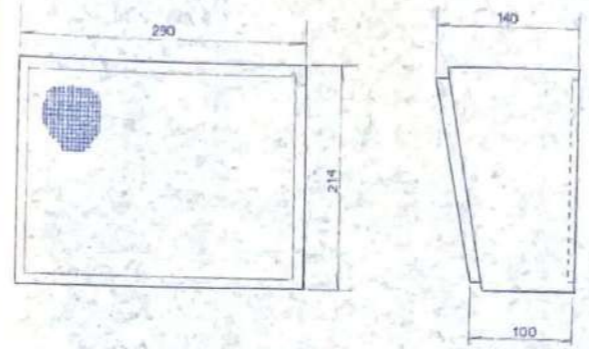
定格入力 10W
 インピーダンス 1kΩ 1.3kΩ 2kΩ 2.5kΩ
 周波数特性 300 ~ 7,000Hz
 出力音圧 104dB以上

⊙A 天井埋込スピーカー



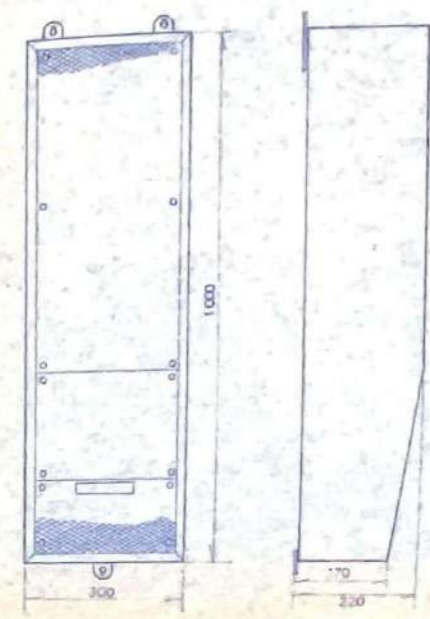
定格入力 3W
 インピーダンス 3kΩ 10kΩ
 周波数特性 150 ~ 12,000Hz
 出力音圧 104dB以上

⊙B 壁掛スピーカー



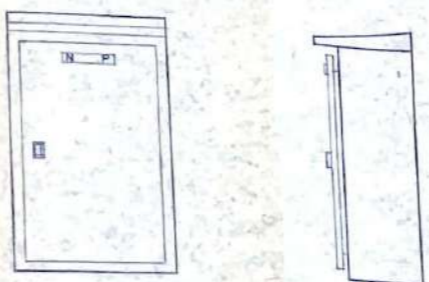
定格入力 3W
 インピーダンス 3kΩ 10kΩ
 周波数特性 150 ~ 12,000Hz
 出力音圧 104dB以上

⊙C 壁掛スピーカー (通風型)



定格入力 15W
 インピーダンス 670Ω (15W) 1kΩ (10W)
 周波数特性 150 ~ 8,000Hz
 出力音圧 104dB以上

⊙D 屋外レベーターボックス



部 レベーターコンセント x1
 A C コンセント x1

⊙E 親時計



支給品とする

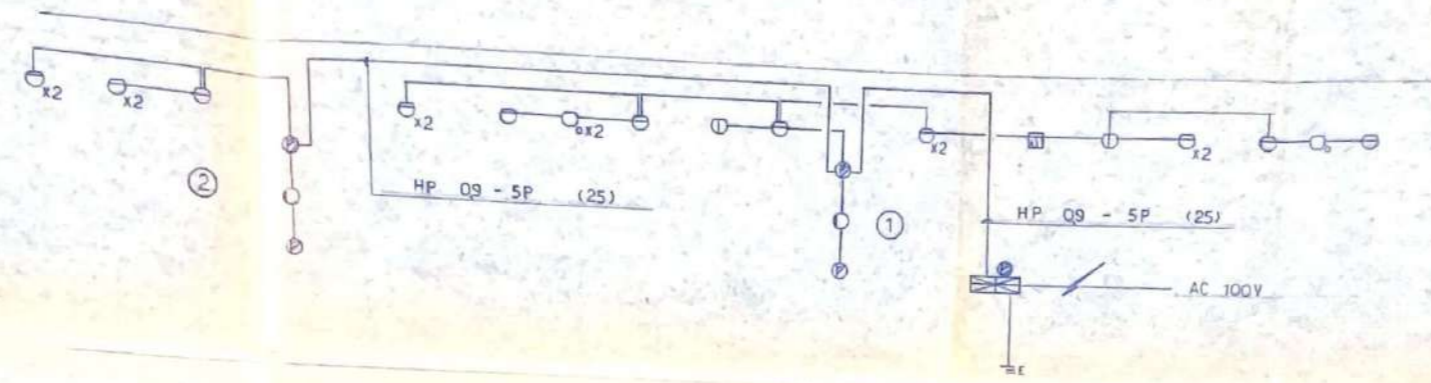
入力電源 AC 100V 50/60Hz
 精度 週差 ±0.7秒以内
 秒調整 0秒現物方式
 3針同期動数 1回換り最大 30個
 外部同期時間 1回換り約 30時間

⊙F 子時計



支給品とする

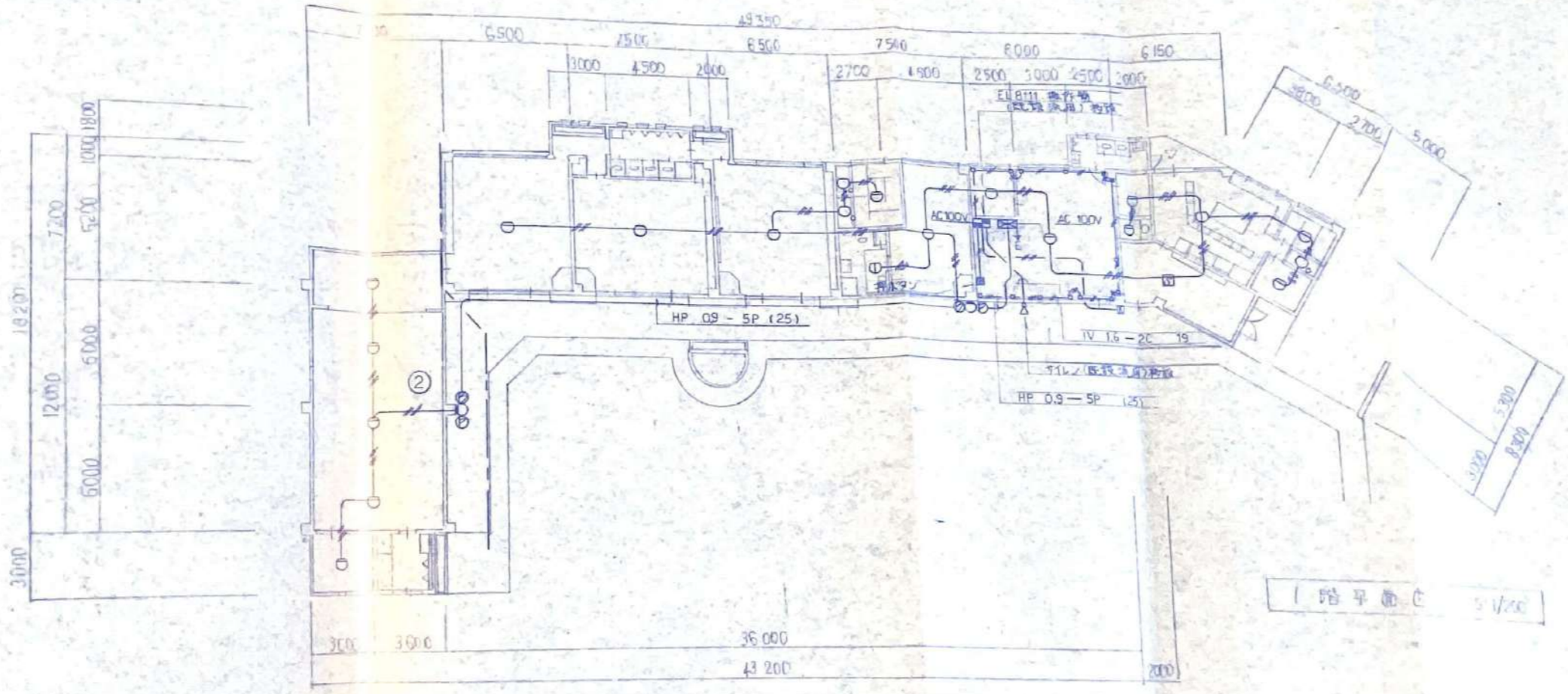
外 本鋼板フレーム
 文字板 アルミ 白色
 文字 黒色
 指針 アルミ 黒色



系統図

凡例

記号	名称	摘要
☒	P型 2線 3線 受信機	
⊕	P型 2線 手動受信機	
⊙	180 電圧	
○	表示灯	
⊖	点検式スポット型感知器	
①	定温式スポット型感知器	
⊙	定温式スポット型感知器	
⊖	開式感知器	
—	配管・配線	
- - -	警戒区域線	
⊕	警戒区域番号	



特記事項 備考	藤岡町御作育園改築 工事設計図		設計番号 2416	図面番号 49 / 42	株式会社 サンウラノ設計 <small>取締役 上野 博 副 取締役 上野 博 監 理 上野 博</small> <small>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1</small>
	設計者 		設計者 	設計者 	

器具表

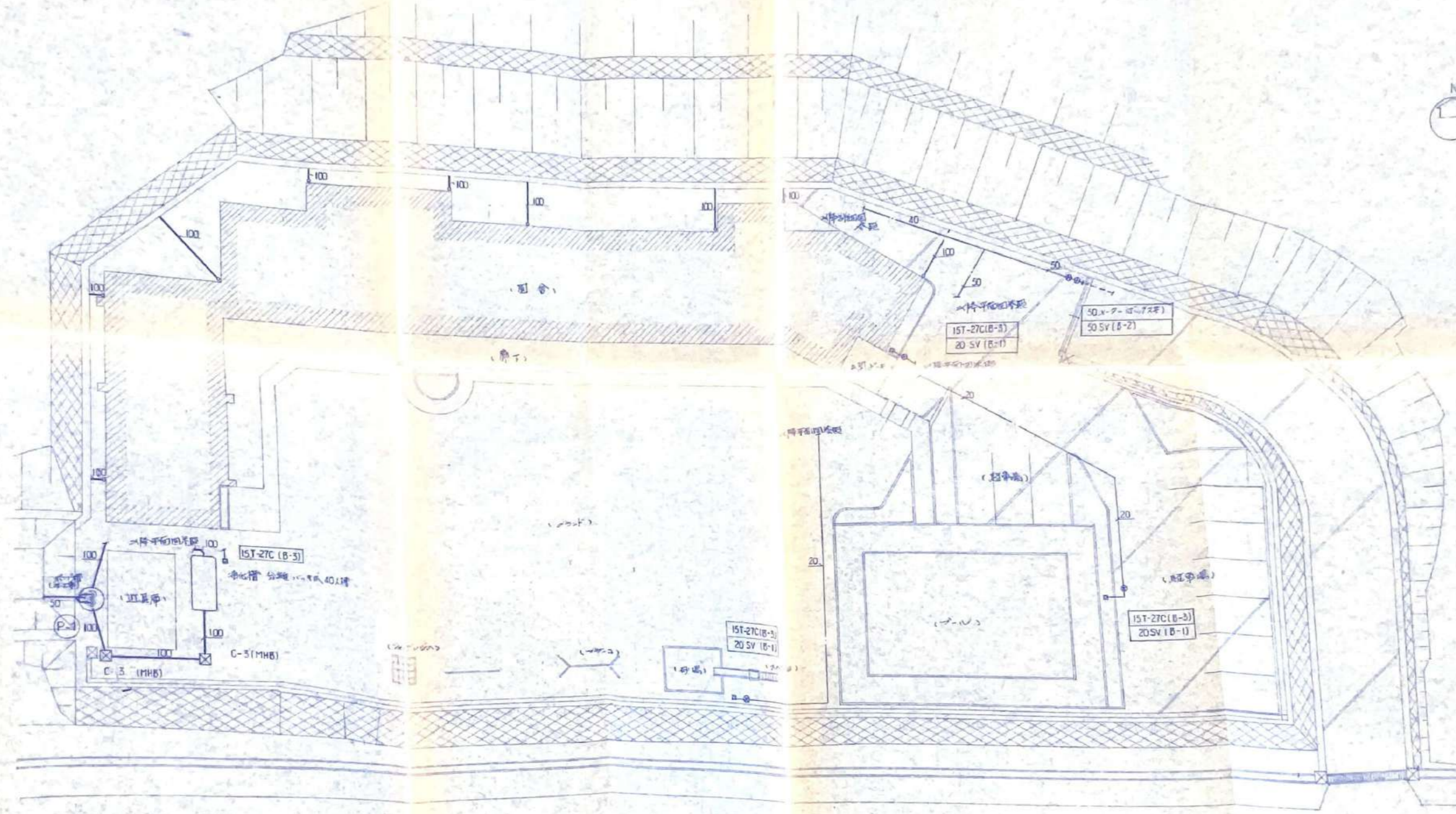
名称	品番	附属品仕様	数量
洗面器	C-750V	TV-150NC, T-82C32, TS-16RAY	9
小便器	U-307C	T-60P, T-62-16, T-64FWN	1
	U-53	T-60P, T-62-16, T-65A	8
手洗器	SK-33	TV-150NS, 15-TK-133AR, T-52S32R, TK-33WN100, T-53DSAY	1
手洗器	SK-22A	20T-23AE, TK-22, T-37SN, T-9RAY	2
洗面器	L-230	T-205, T-4A, T-6P, TS-126AS, T-9RAY, T-8CAY	4
手洗器	L-5B	T-205, T-4A, T-22P, TS-126AS, TA-25AY	1
化粧鏡	TS-119ASAY.3		9
洗面器	TK-20AG		1
目洗水栓	15T-130AR		3
石鹸水栓	15T-200S		1
	20T-200S		1
種水栓	15T-123B		1
散水栓	15T-27C	(B-3)	1
水石水栓	TS-126SNAY		12
			4
			9
瞬間湯沸器	PH-5老	T-4A, 専用スコップ付	1
	PIC-160B	中間コック, 20SV, 20GV 付	1
スコップ	専用	専用付	2
ガス混合装置	YP-005E	自動切替装置, ガスミクサー	2
LPG混合装置	50A (3 ^号 , 3 ^号)	自動切替装置, ガスミクサー	1
		24割鎖付 (基礎と埋築等)	1
トイレ水栓	3 槽式	FRP製 GFIII-65LPU5	1
浄化槽		分離式 40A槽 FRP製, BOD 30 ppm ポンプ槽 900 ^φ x 1800 ^{mm} 至MHB 600 ^φ	1

機器表

記号	名称	型式	仕様	消費電力	電圧	数量
CH-1	エアコン	床置き	頂上距離 6.480 ^{mm} (LPG) 遠風機 2段 遠風機 2段 2段 2段 2段	125 ^W 100	100 ^V	7
F-1	換気扇	電動式	300 ^φ x 1000 ^{mm} 大排, 防虫フィルター付 (外壁色に塗装)	44 ^W	100 ^V	1
F-2	天井換気扇	静音型	130 ^φ x 120 ^{mm} 70 ^{mm} x 70 ^{mm} x 70 ^{mm}	22 ^W		1
F-3			150 ^φ x 192 ^{mm} 70 ^{mm} x 70 ^{mm} x 70 ^{mm}	26 ^W		1
F-4		低騒音型	180 ^φ x 288 ^{mm} 70 ^{mm} x 70 ^{mm} x 70 ^{mm}	30 ^W		6
F-5			180 ^φ x 270 ^{mm} 70 ^{mm} x 70 ^{mm} x 70 ^{mm}	26 ^W		2
F-6			200 ^φ x 384/264 ^{mm} 70 ^{mm} x 70 ^{mm} x 70 ^{mm}	51 ^W 34 ^W		1
F-7			200 ^φ x 480 ^{mm} 70 ^{mm} x 70 ^{mm} x 70 ^{mm}			
F-8		大風量型	230 ^φ x 690/432 ^{mm} 70 ^{mm} x 70 ^{mm} x 70 ^{mm}	106 ^W 155 ^W		3
F-1	排水ポンプ	観音型	40 ^φ x 150 ^{mm} x 5 ^{mm} 排水ポンプ 2台 1組 40CV+2	250 ^W		1

工事内容

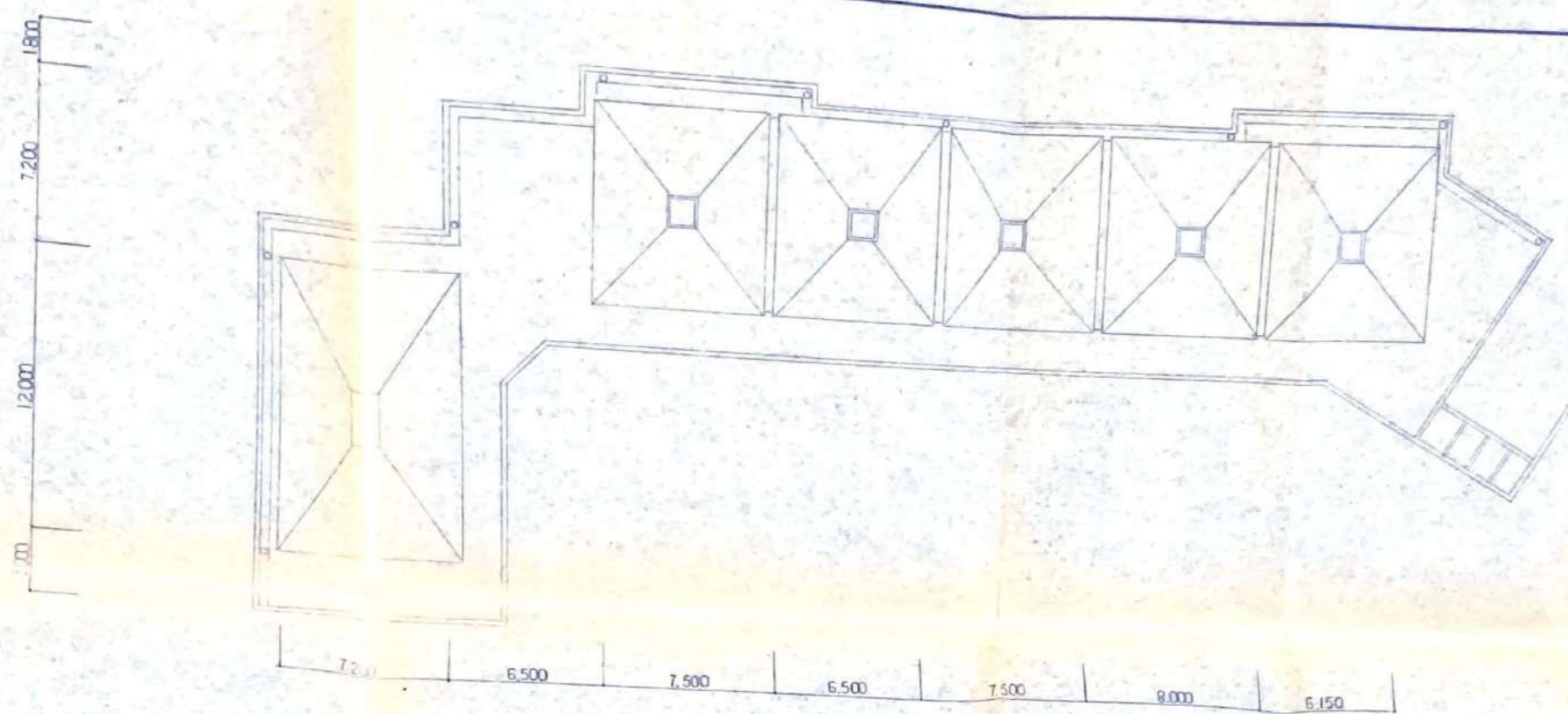
項目	必要	不要	備考	項目	必要	不要	備考
設備 ストップ箱	○	○		流し	○	○	
同上 構造体新築	○	○		同上 排水金物	○	○	
同上 防水処理	○	○		同上 排水管	○	○	
干留 ストップ箱	○	○		厨房換気	○	○	
天井 取付口	○	○		同上 排水管	○	○	
床 取付口	○	○					
足込 各層の開口新築	○	○		浄化槽埋設工事	○	○	
設備 器具埋設工事	○	○		同上 管組 (外注)	○	○	
換気扇							
同上 取付材	○	○		工 設備 従事者	○	○	
同上 ヴェーカ	○	○					



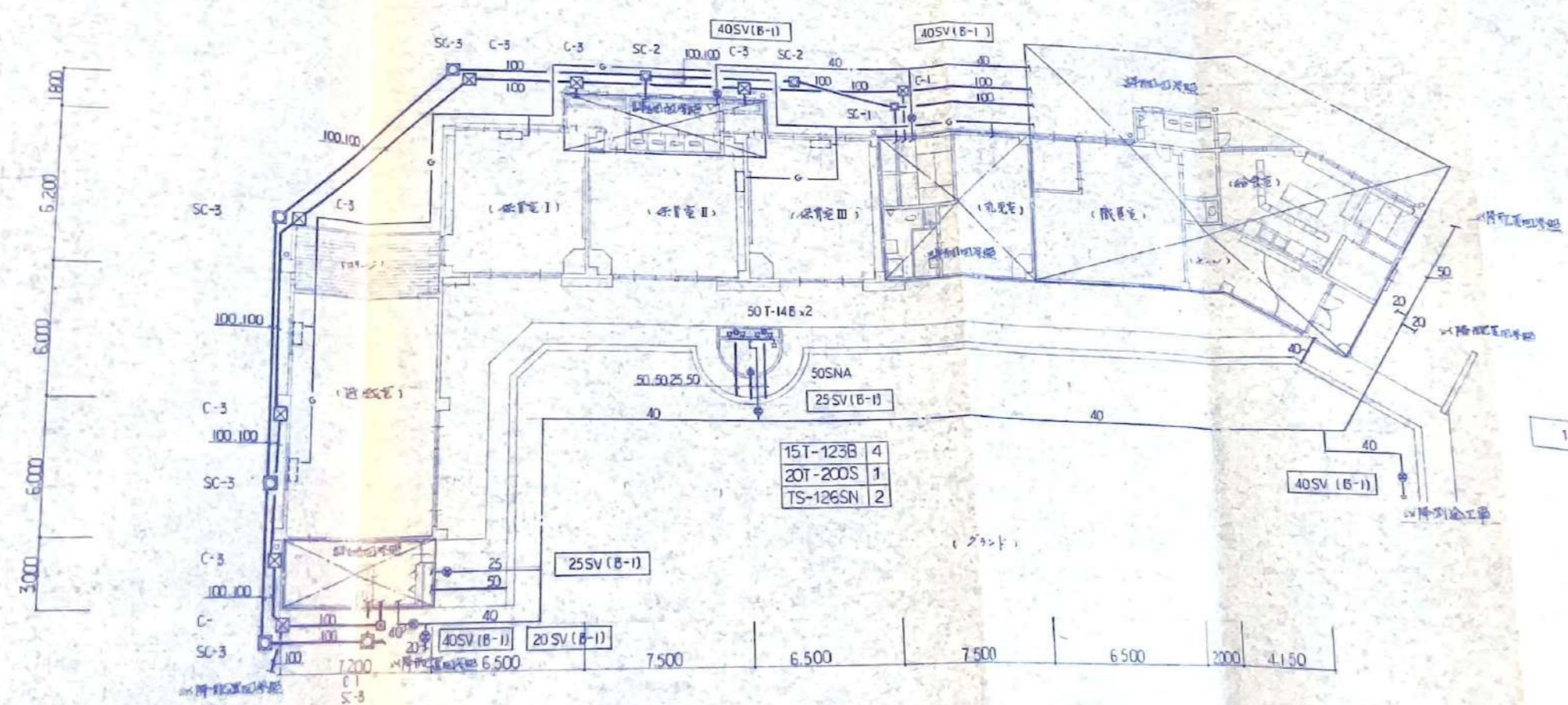
1/200

設計者	監理者	承認者

兵庫県御津町公園改築 工事設計図 図番 8416 縮尺 1/200	図面番号 49 / 45 内容 排水配置図	株式会社 サンウラボ設計 代表取締役社長 山本 隆 取締役 山本 隆 技師 山本 隆
--	--------------------------------	---



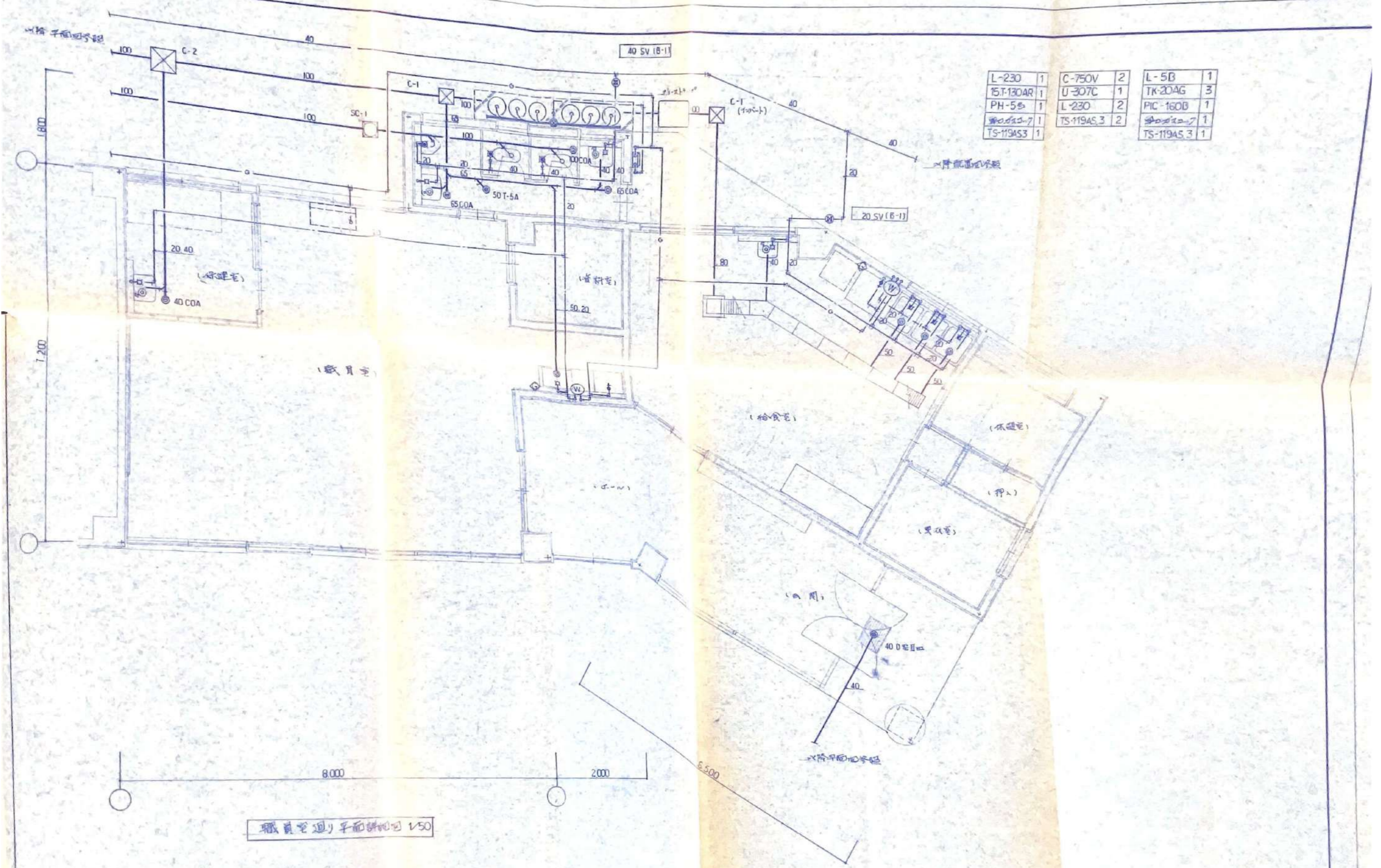
屋根平面図 1/200



1階平面図 1/200

注: 雨水は配管にて排出

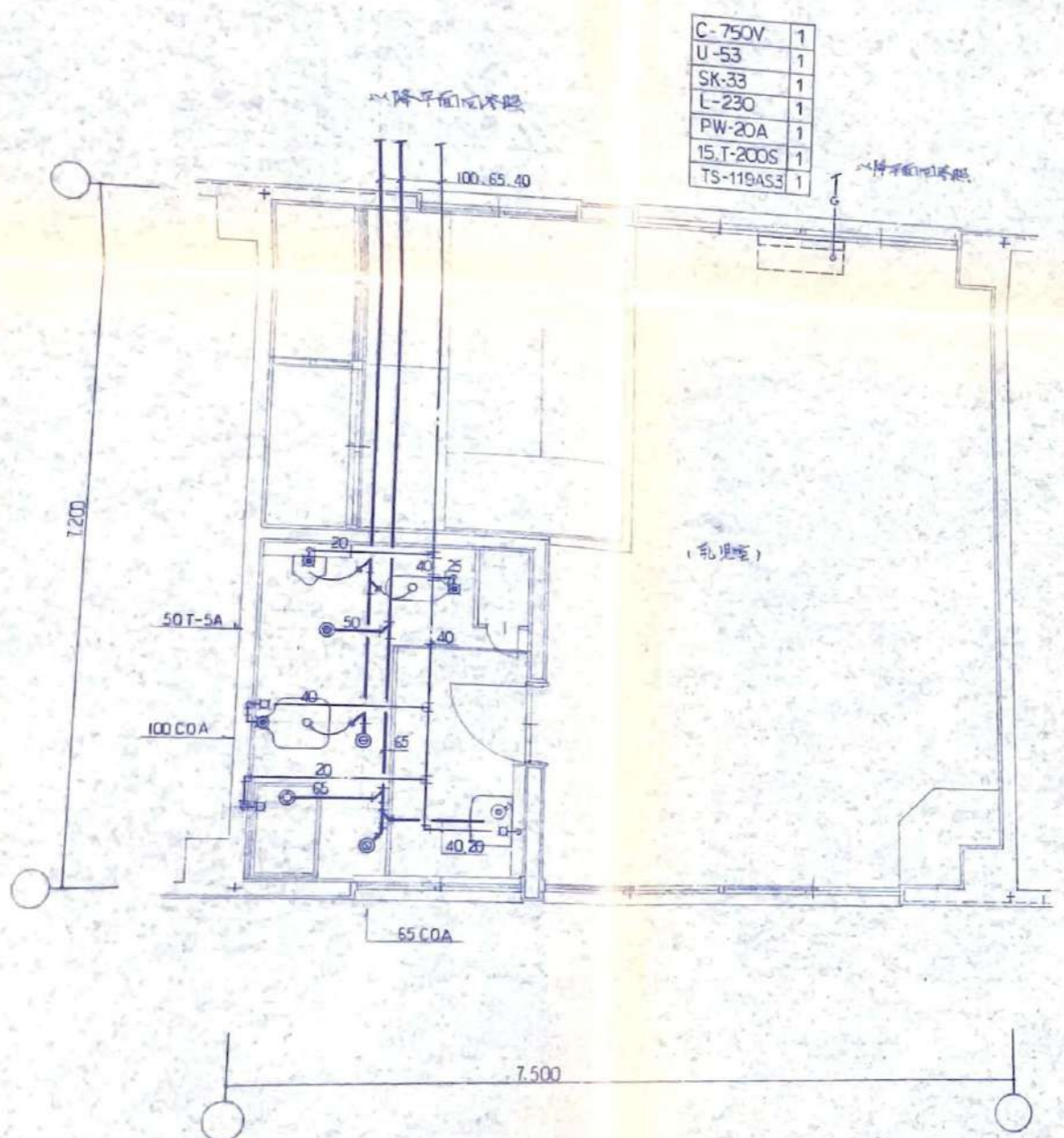
特記事項	疎風町南作保育園改築 工事設計図		設計番号 8416	図面番号 49 46	株式会社 サンウラノ設計
	担当者	1/200	国名 日本	住所 東京都中央区	



L-230	1	C-750V	2	L-5B	1
15T-130AR	1	U-307C	1	TK-20AG	3
PH-5	1	L-230	2	PIC-160B	1
※0.6A-7	1	TS-119AS.3	2	※0.6A-7	1
TS-119AS.3	1			TS-119AS.3	1

職員室廻り平面図 1/50

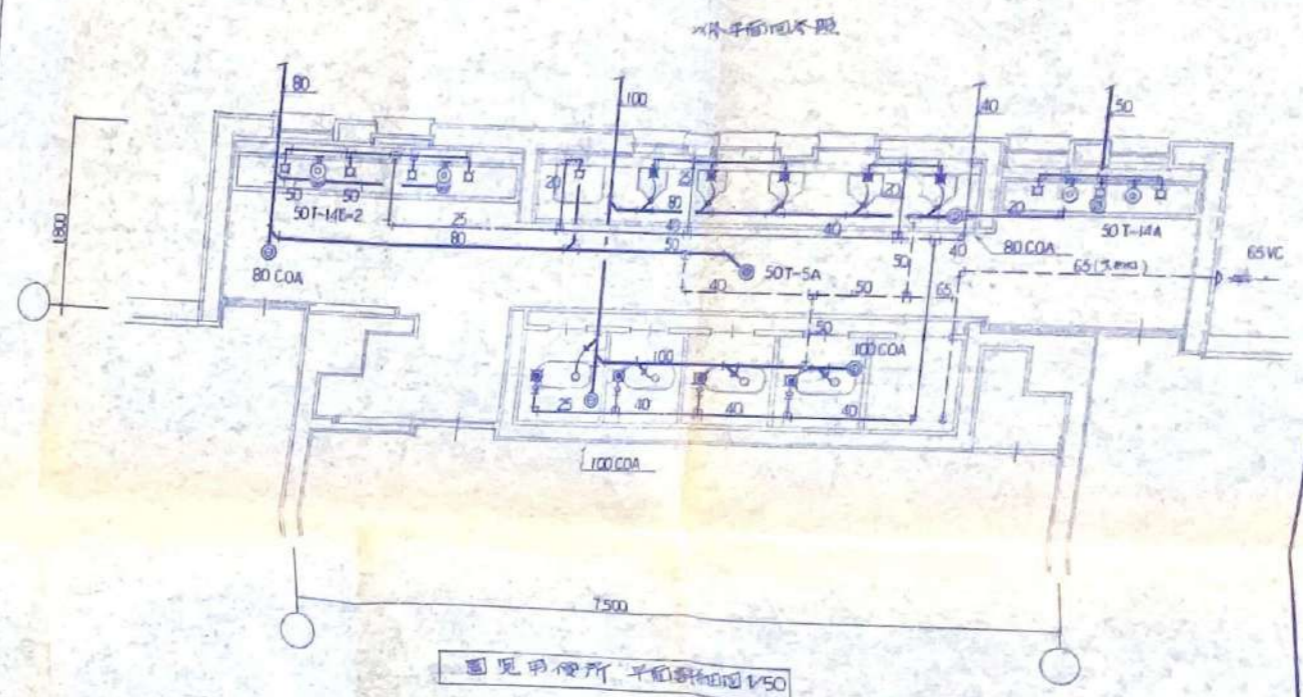
藤岡町役所保育園改築工事設計図		図面番号	8416	図面枚数	49 / 47	株式会社 サンウラノ設計
		縮尺	1/50	設計者	藤岡 誠	
				監理者	藤岡 誠	



C-750V	1
U-53	1
SK-33	1
L-230	1
PW-20A	1
15.T-200S	1
TS-119AS3	1

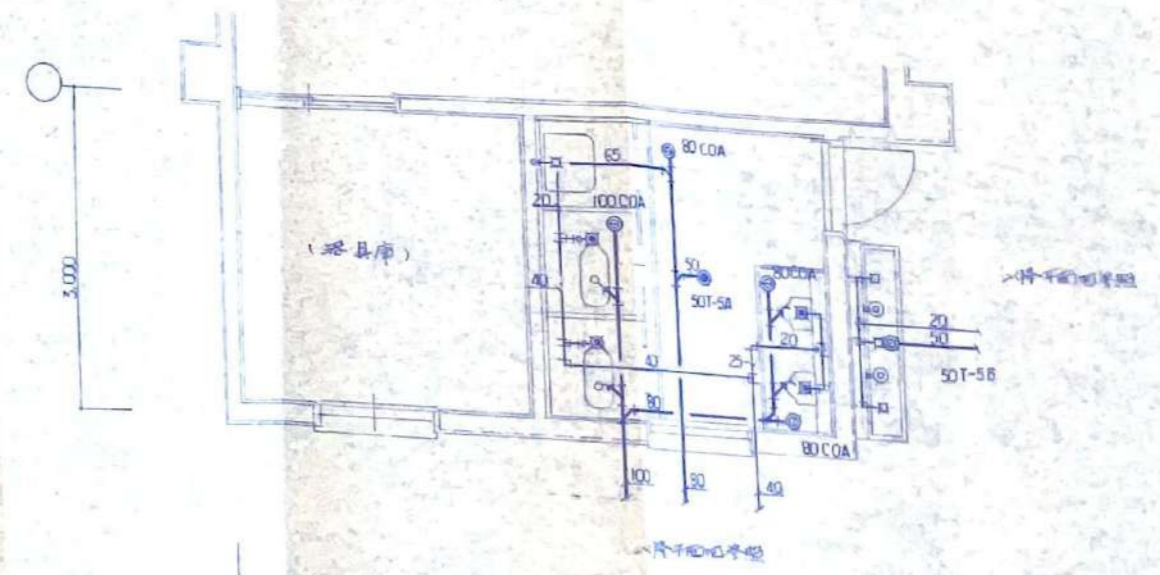
乳児室 平面詳細図 1/50

15T-123B	4	C-750V	4	15T-123B	3
TS-126SN	2	U-53	5	TS-126SN	2
TS-119AS3	1	SK-22A	1	TS-119AS3	1



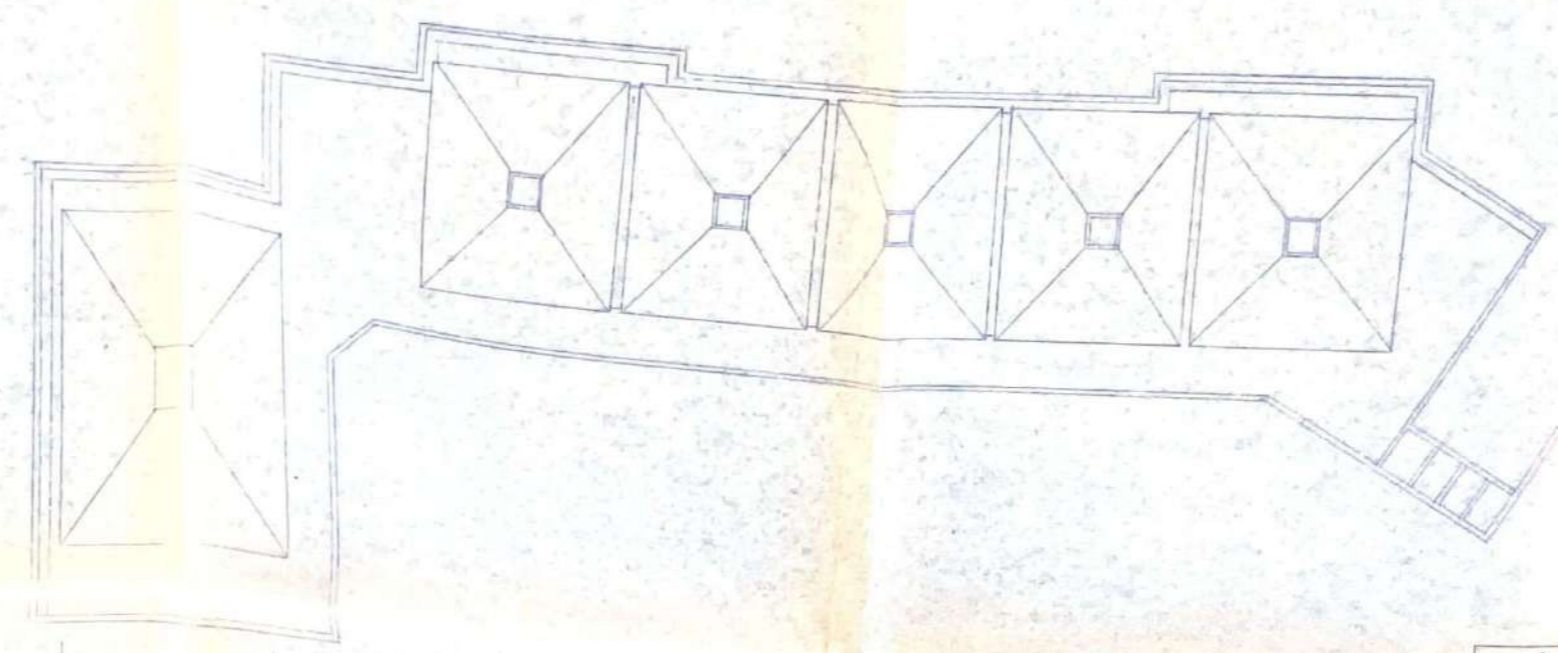
男用便所 平面詳細図 1/50

C-750V	2	15T-123B	3
U-53	2	TS-126SN	2
SK-22A	1	TS-119AS3	2
15T-123B	2		



遊戯室便所 平面詳細図 1/50

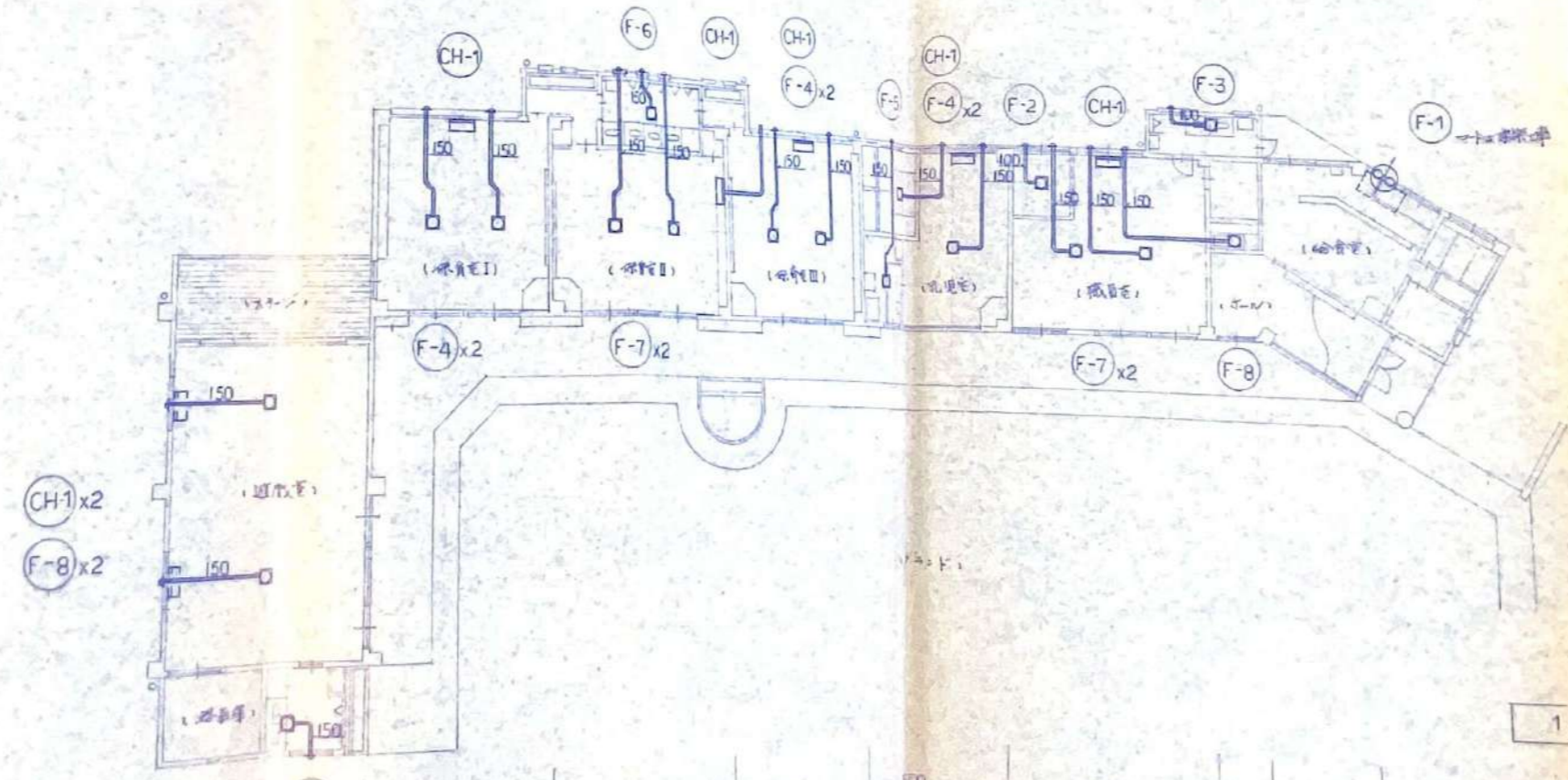
1800
7200
12000
1000



平面図 1/200

7200 6500 7500 6500 7500 8000 6150

1800
6200
6000
6000
3000

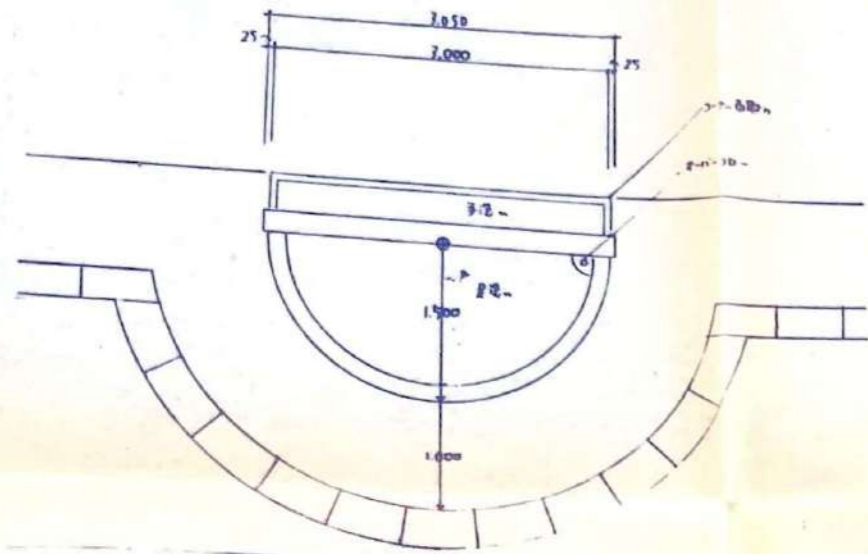


1 平面図 1/200

7200 6500 7500 6500 8000 6500 2000 4150

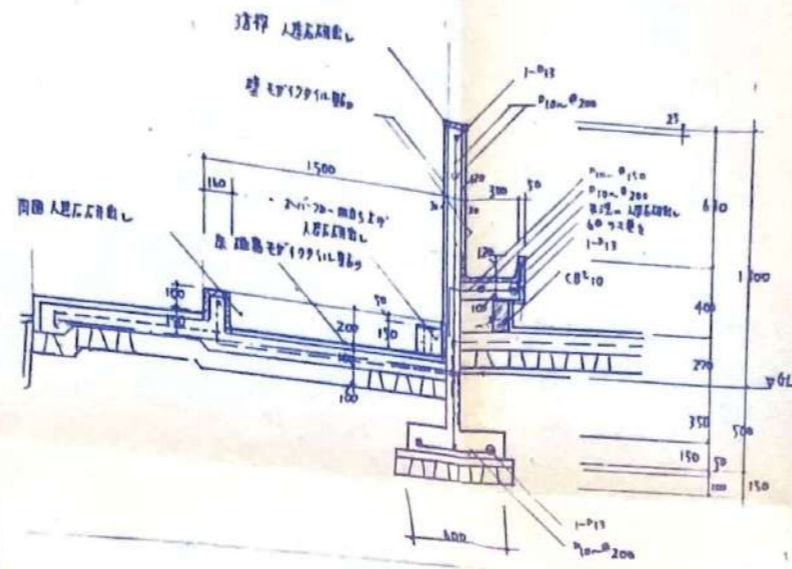
手洗川足流川平面図

1/50



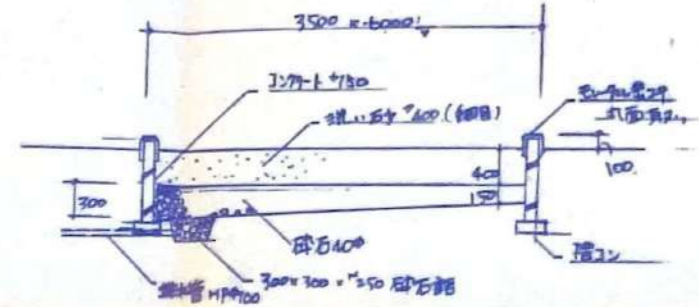
手洗川足流川断面図

1/50

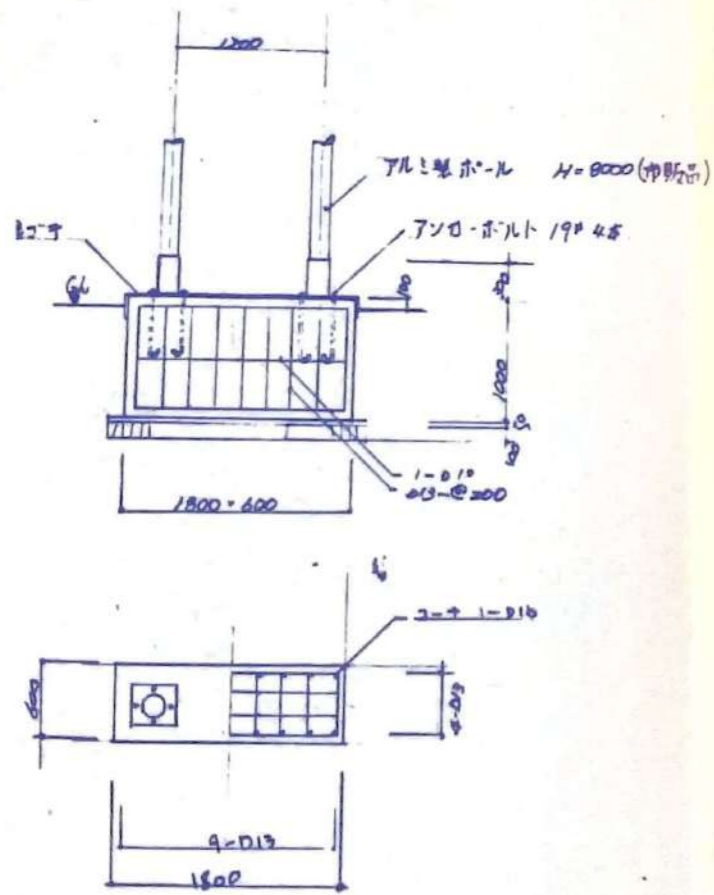


砂漏詳細図

1/50

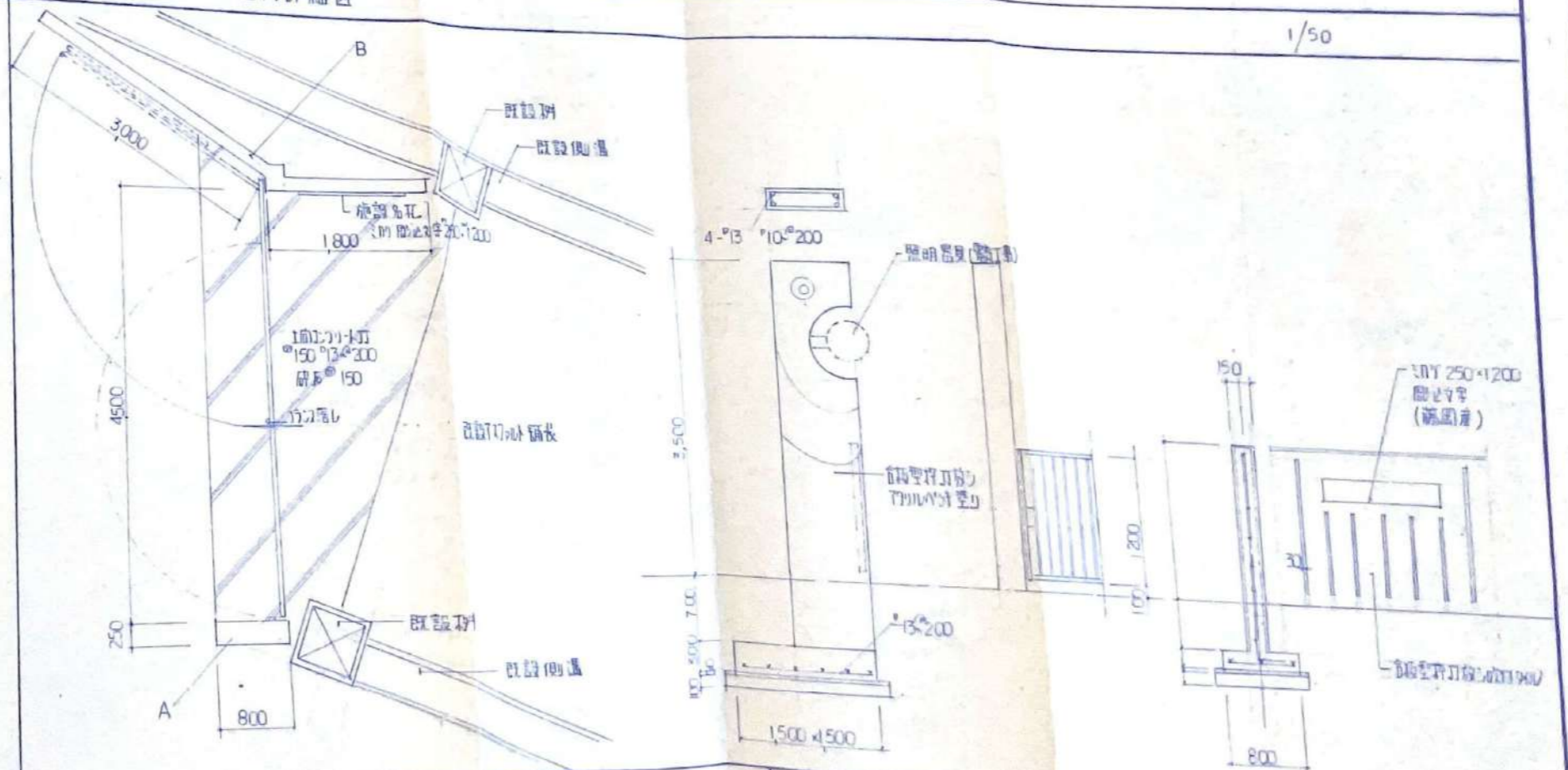


アクリルボウル詳細図



正門詳細図

1/50



藤田自治作保音園改築 工事設計図		設計番号 8416	図面番号 1/50	株式会社 サンウラノ設計
担当者 坪井		縮尺 図示1:53	図名 砂漏詳細図	
特記事項		一般建築士事務所 登録番号: 第2623号		代表取締役 藤野 勉